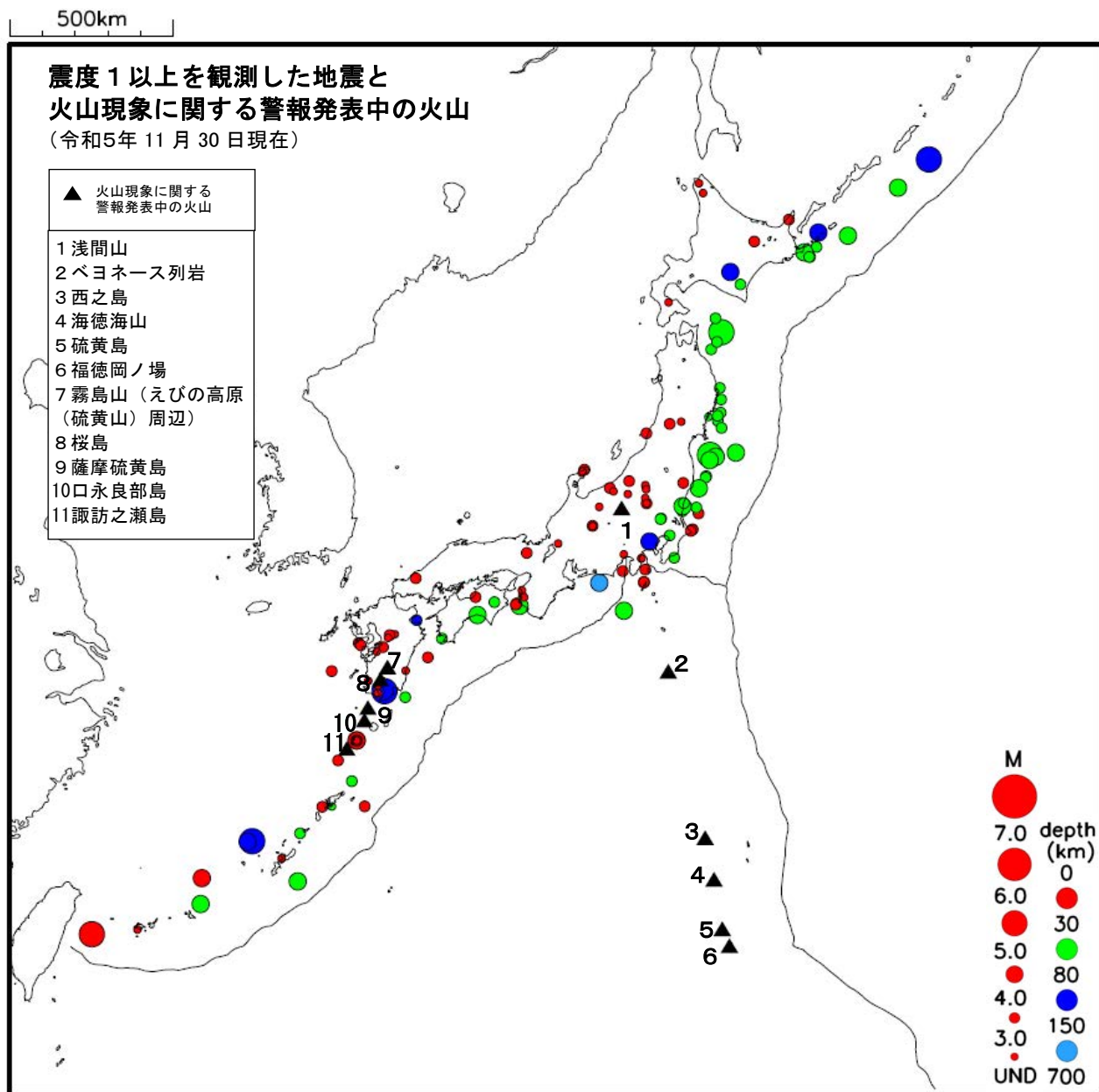


令和5年 11 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

November 2023



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和5年11月30日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和5年11月30日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目 次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	10
近畿・中国・四国地方の地震活動	12
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	19
● 南海トラフ周辺の地殻活動	20
● 日本の主な火山活動	23
北海道地方の火山活動	34
東北地方の火山活動	36
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	38
近畿・中国・四国地方の火山活動	42
九州地方の火山活動	43
沖縄地方の火山活動	47
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	48
● 世界の主な地震	50
● 世界の主な火山活動	51
● 特集 2023 年 11 月 4 日 ネパールの地震	52
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	54
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	72
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	73
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	74
5. 緊急地震速報の提供状況	75

● 日本及びその周辺での主な地震活動

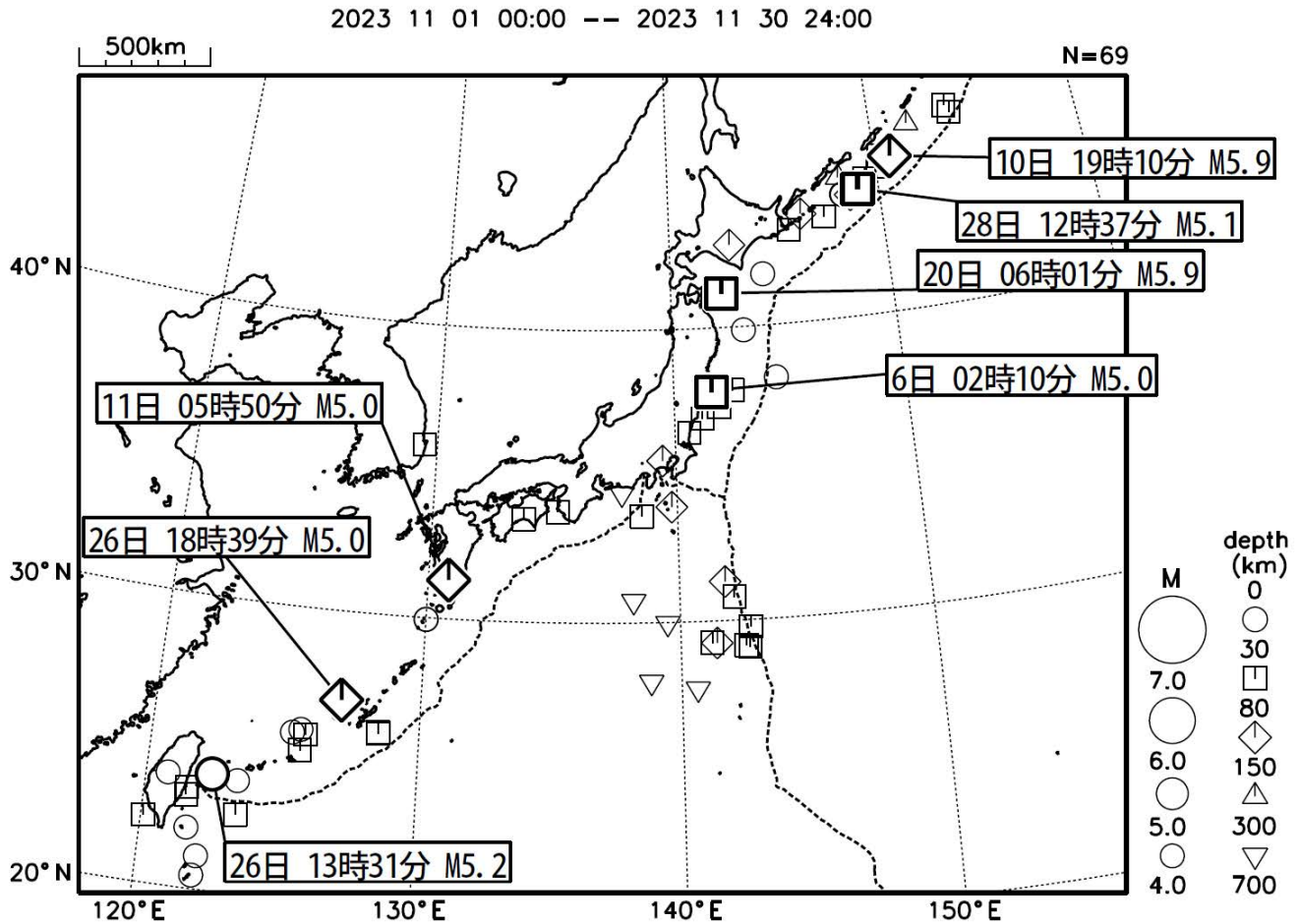


図1 令和5年11月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和5年（2023年）11月に日本国内で震度4以上を観測した地震は4回（10月は1回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は69回（10月は198回）であった（図1）。

11月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。11月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（10月は震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震は3回であった）。

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年11月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	11 1 7 34	紀伊水道	4.9	-	・ ・ ・ ・	3：和歌山県 湯浅町青木＊ みなべ町土井 など2県12地点	13
2	11 6 2 10	福島県沖	5.0	4.8	・ ・ S ・	4：宮城県 石巻市桃生町＊	4、7
3	11 11 5 50	鹿児島湾（注7）	5.0	5.3	・ ・ S ・	4：鹿児島県 大崎町仮宿＊ 曾於市大隅町中之内＊	4、17
4	11 11 22 2	トカラ列島近海	4.3	-	・ ・ S ・	4：鹿児島県 鹿児島十島村中之島徳之尾 4月1日から続く口之島・中之島付近の地震活動の中で発生した地震 11月に震度1以上を観測する地震が21回 （震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）	4、15、16
5	11 20 6 1	青森県東方沖	5.9	5.9	・ ・ S ・	4：青森県 八戸市湊町 八戸市内丸＊ など1県6地点	4、8
6		石川県能登地方の地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の地震活動の中で発生した地震 2023年11月中に震度1以上を観測する地震が5回（震度2：1回、震度1：4回） （注8）	11

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度3、④海域 M5.0 以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注7）情報発表で用いた震央地名は「鹿児島県大隅地方」である。
- （注8）能登半島沖で発生した地震2回を含む。

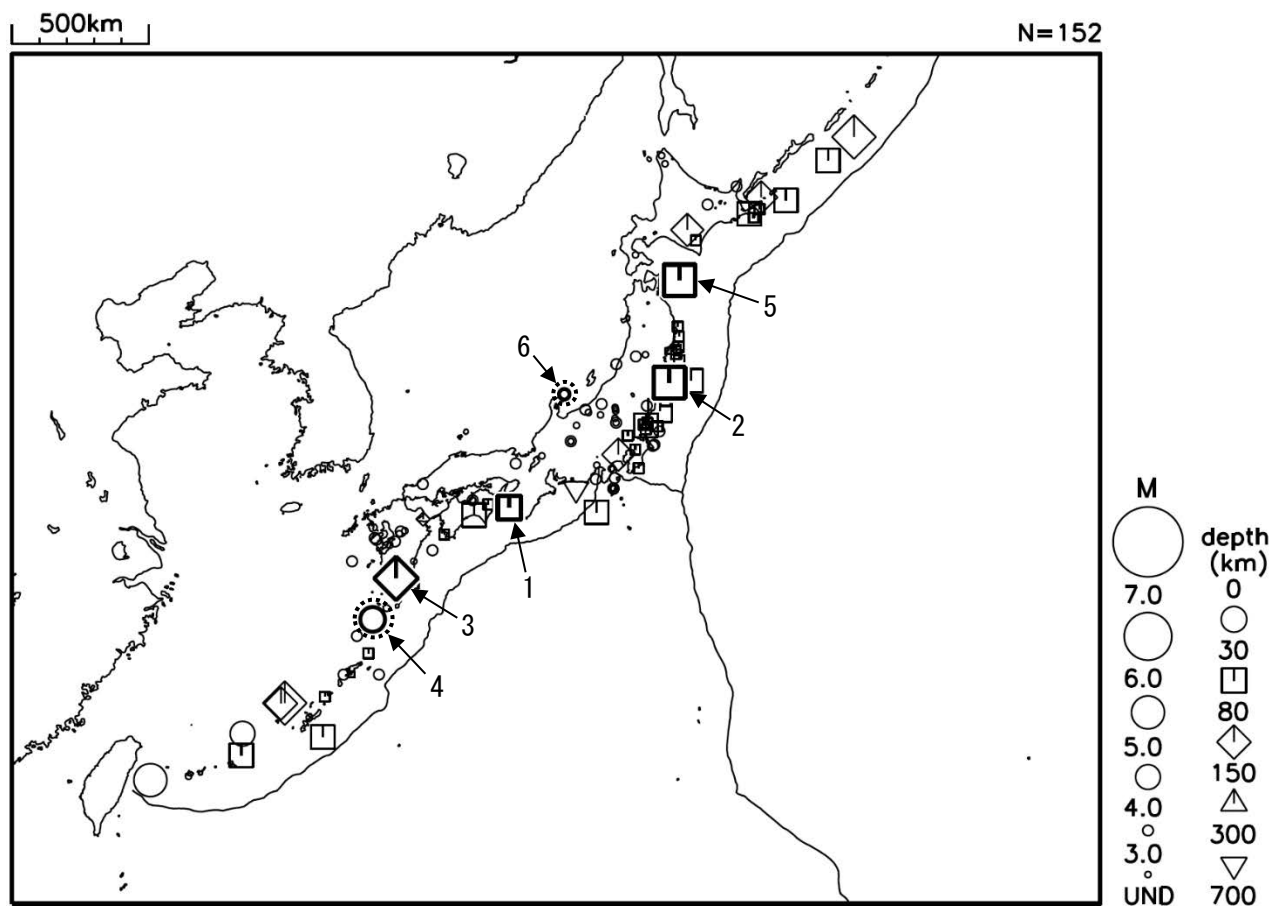


図2 令和5年11月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

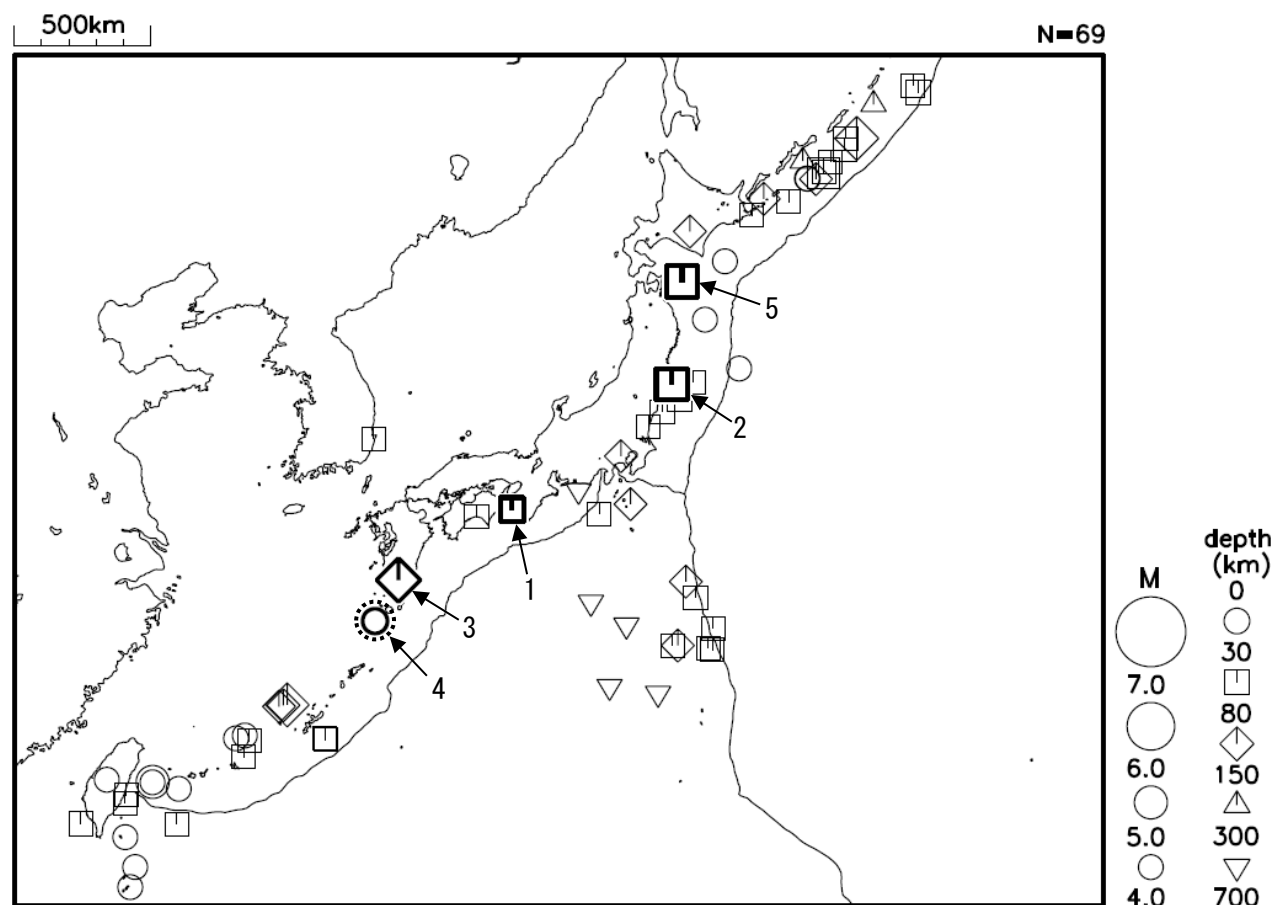
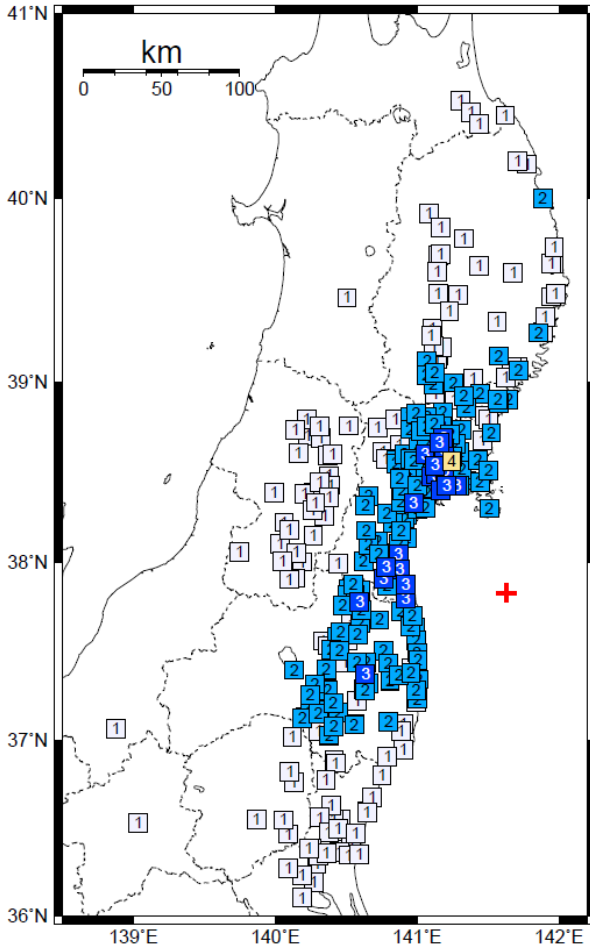
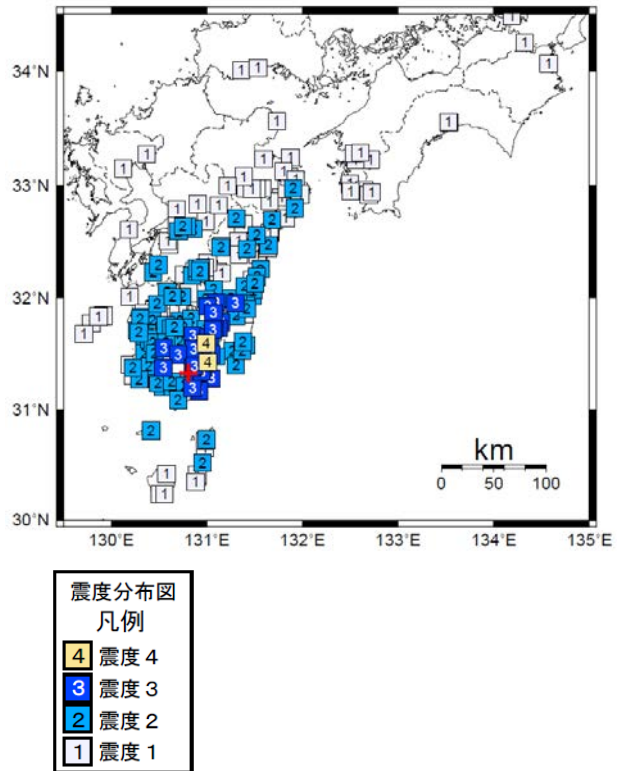


図3 令和5年11月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

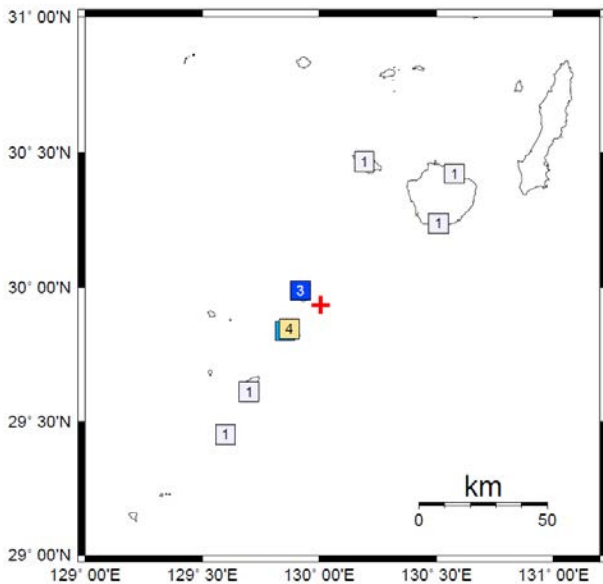
2 11月6日02時10分 福島県沖
(M5.0、深さ56km、最大震度4)



3 11月11日05時50分 鹿児島湾
(M5.0、深さ104km、最大震度4)



4 11月11日22時02分 トカラ列島近海
(M4.3、最大震度4)



5 11月20日06時01分 青森県東方沖
(M5.9、深さ52km、最大震度4)

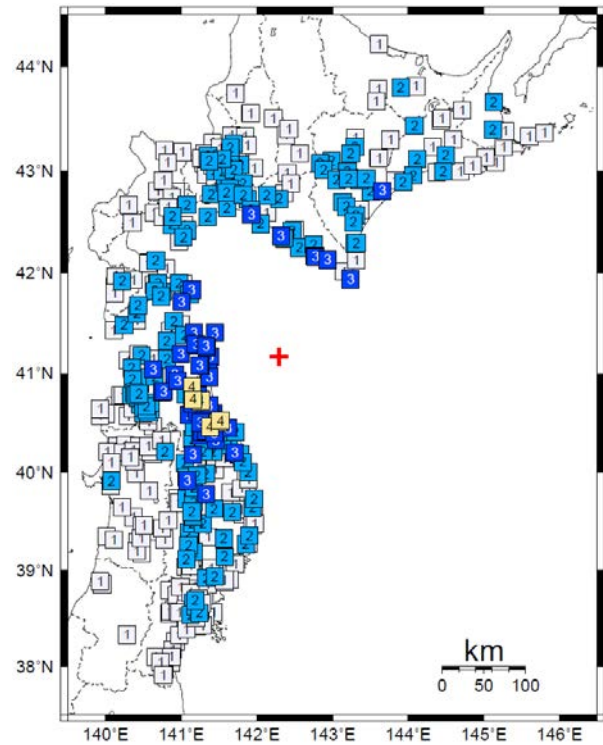


図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

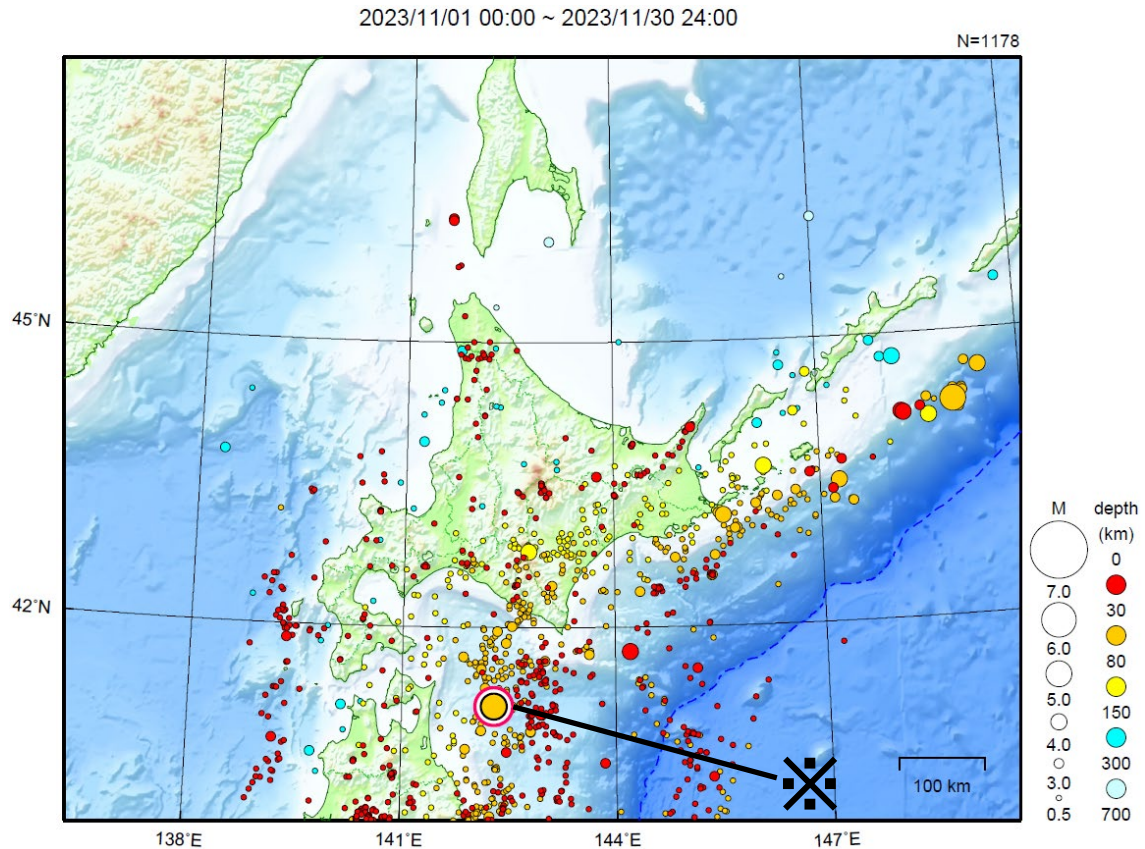


図5 北海道地方の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

11月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（10月は18回）であった。
11月中、特に目立った活動はなかった。

※ 東北地方の地震活動を参照（p. 4、6、8
参照）

○東北地方の地震活動

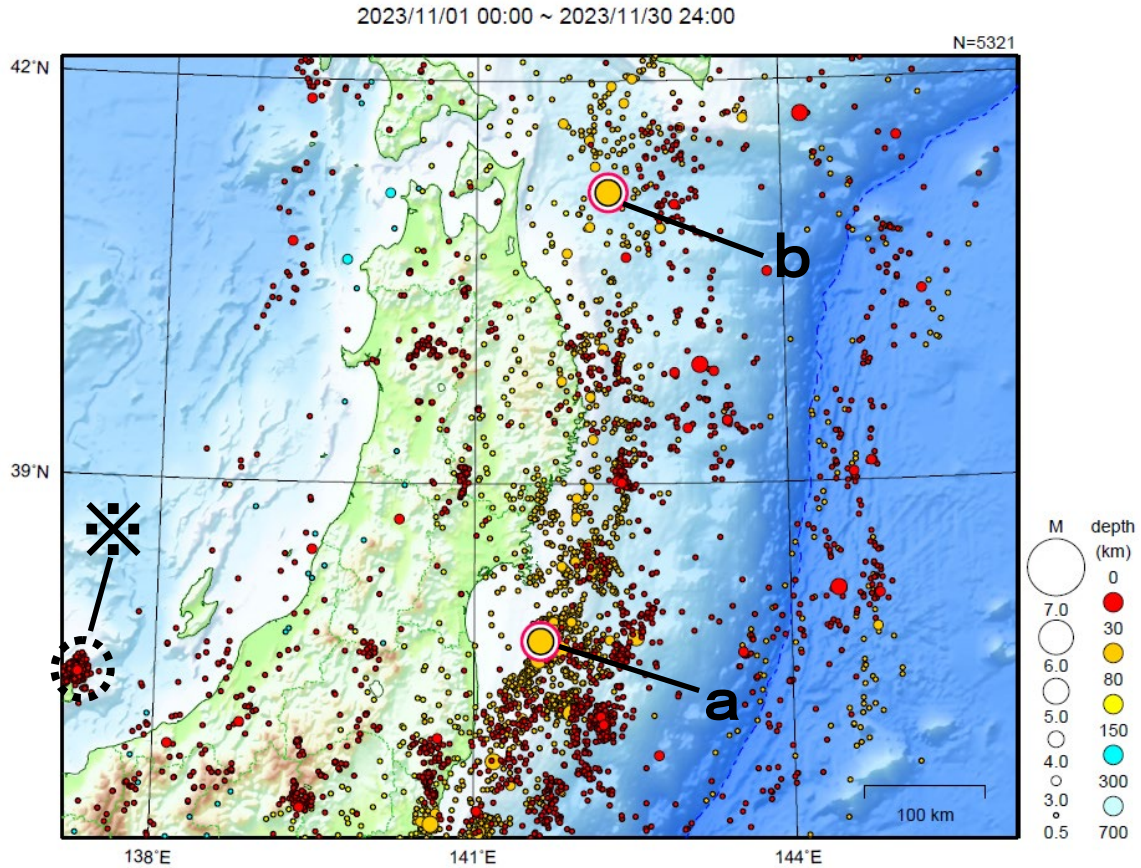


図6 東北地方の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

[概況]

11月に東北地方で震度1以上を観測した地震は29回（10月は32回）であった。
11月中の主な活動は次のとおりである

- a 6日02時10分に福島県沖の深さ56kmでM5.0の地震が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した（p.4、7参照）。
- b 20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmでM5.9の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道及び東北地方で震度3～1を観測した（p.4、8参照）。

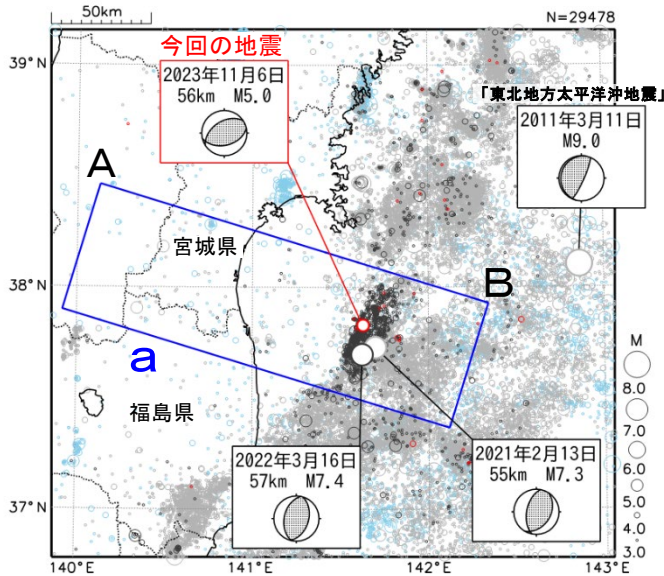
※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p.10、11参照）。

11月6日 福島県沖の地震

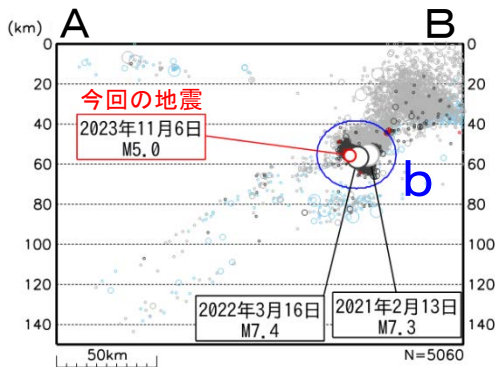
震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2023年11月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



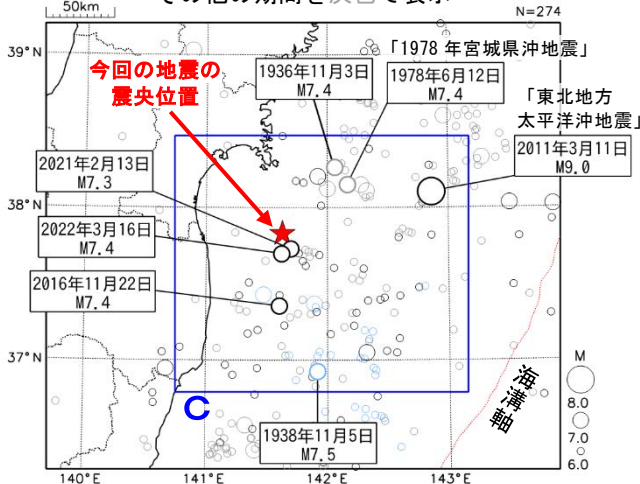
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

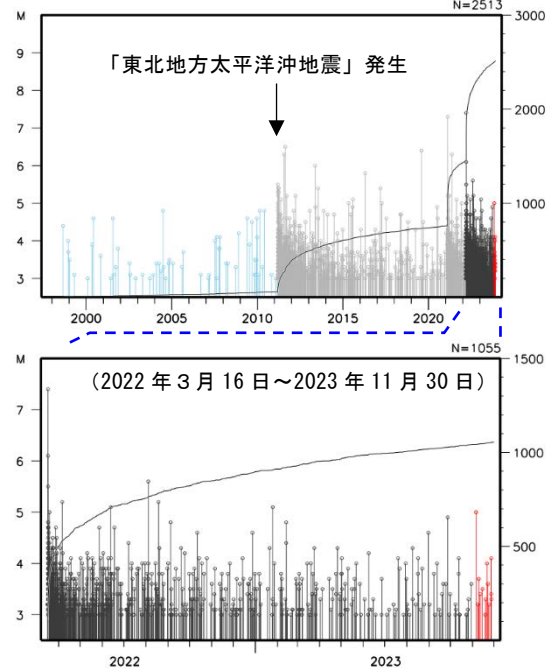
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
その他の期間を**灰色**で表示



2023年11月6日02時10分に福島県沖の深さ56kmで $M 5.0$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震源付近（領域b）では、2021年2月13日に $M 7.3$ の地震（最大震度6強）、2022年3月16日に $M 7.4$ の地震（最大震度6強）が発生し、以降、これらの地震の発生以前に比べて地震回数の多い状態が継続している。

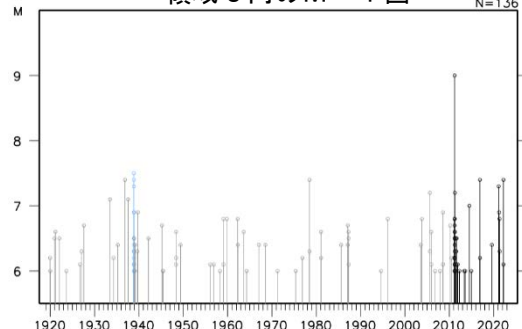
1997年10月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は $M 5.0$ 以上の地震は発生していなかったが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前から $M 7.0$ 以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分には $M 7.5$ の地震（最大震度5）が発生し、宮城県花湊で113cm（全振幅）の津波を観測した。

領域c内のM-T図

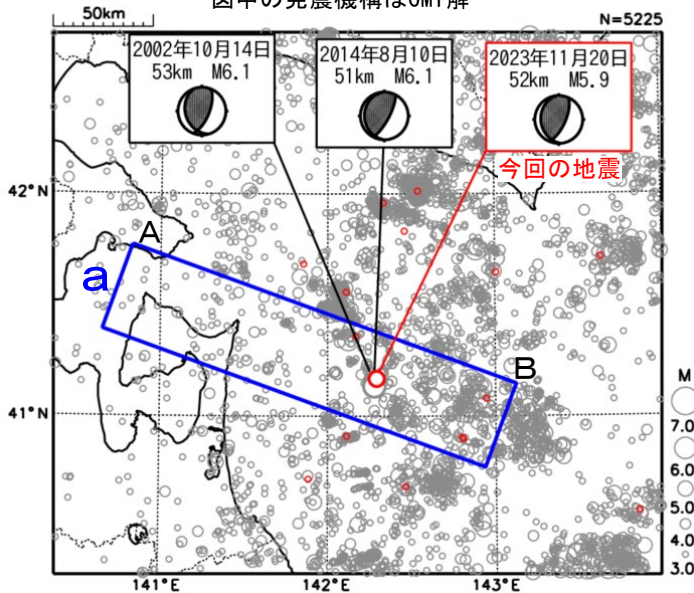


11月20日 青森県東方沖の地震

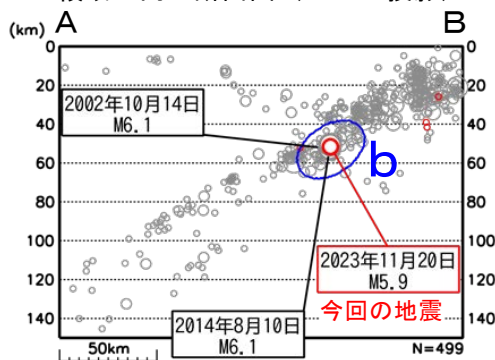
震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2023年11月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

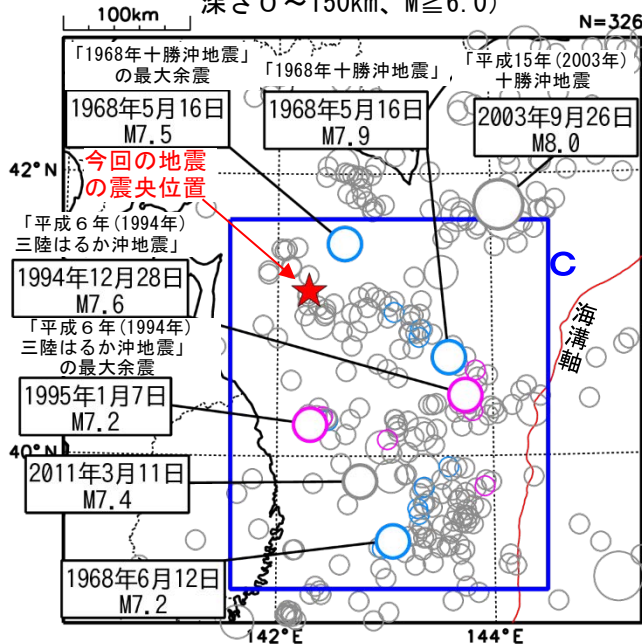


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

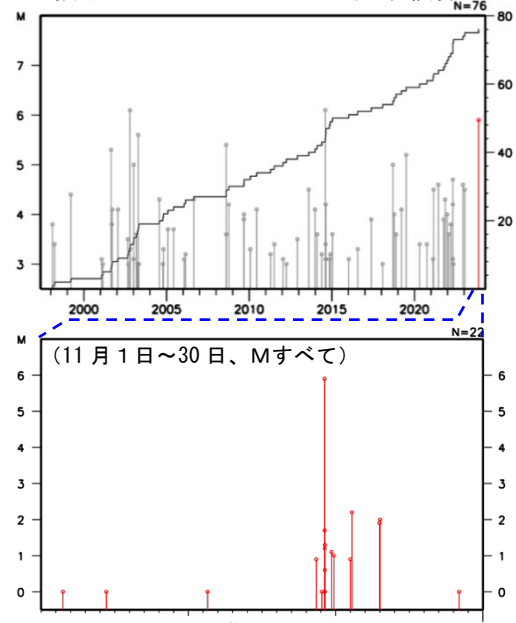


2023年11月20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmで $M 5.9$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2014年8月10日に $M 6.1$ の地震 (最大震度5弱) が発生するなど、 $M 6$ 程度の地震が時々発生している。

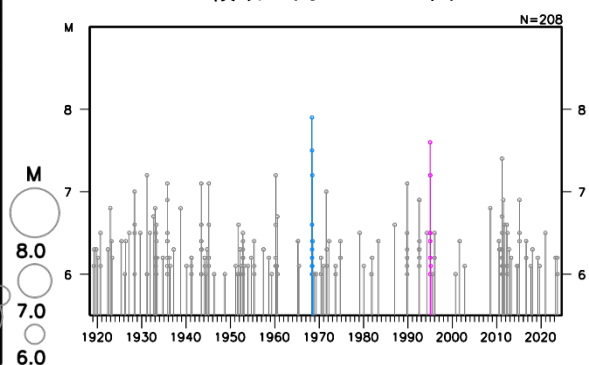
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、「1968年十勝沖地震」 ($M 7.9$ 、最大震度5)、「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」 ($M 7.6$ 、最大震度6) など $M 7$ を超える地震が度々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



- : 1968年5月16日～1968年7月31日
- : 1994年12月28日～1995年2月28日
- : 上記以外の期間

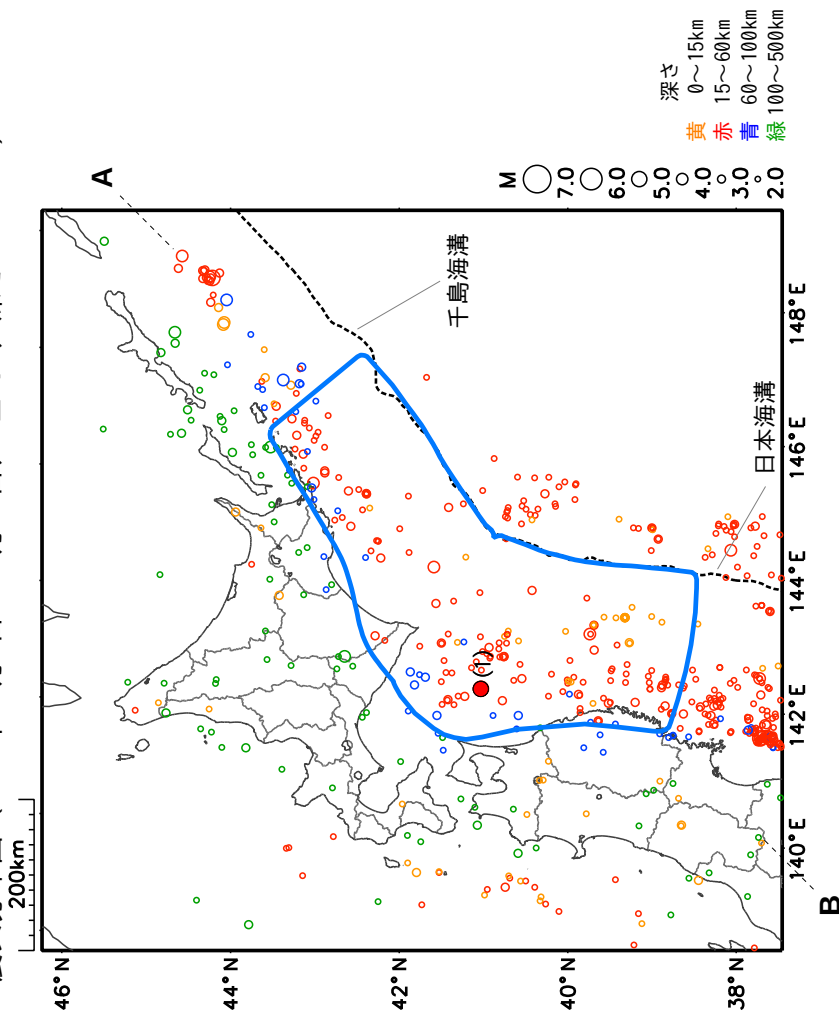
領域c内のM-T図



最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2023年11月1日～11月30日

震央分布図（2023年11月1日～11月30日、M $\geq$ 2.0、深さ0～500km）



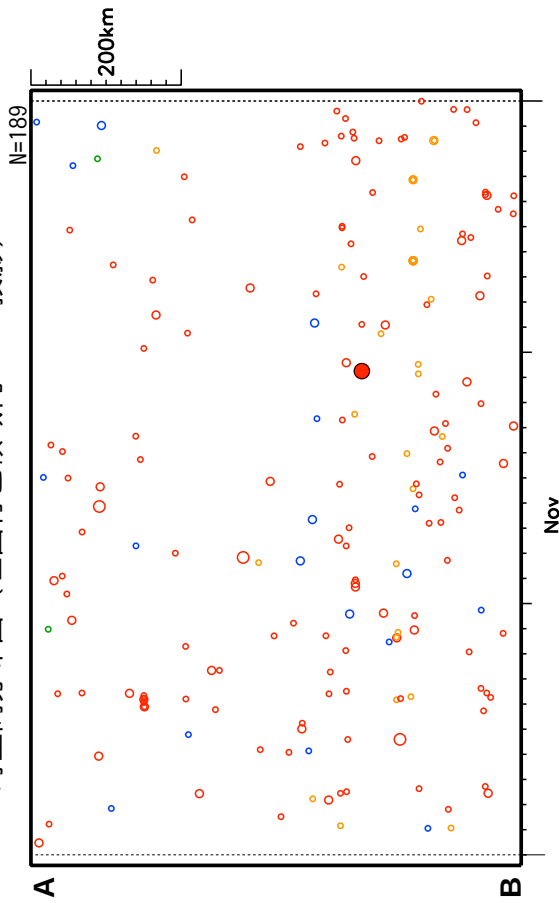
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

【主な地震活動】

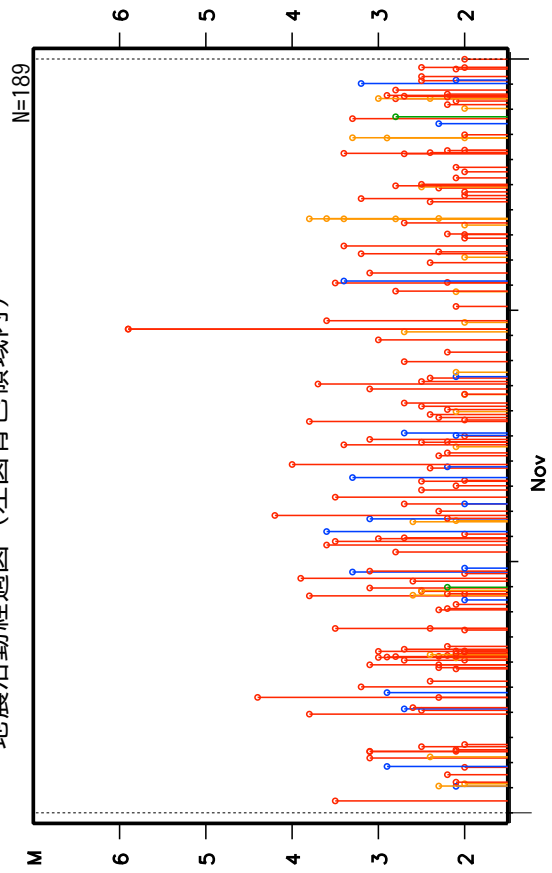
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

●(1) 11月20日 06時01分 M5.9 最大震度4 青森県東方沖

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



○関東・中部地方の地震活動

2023/11/01 00:00 ~ 2023/11/30 24:00

N=6595

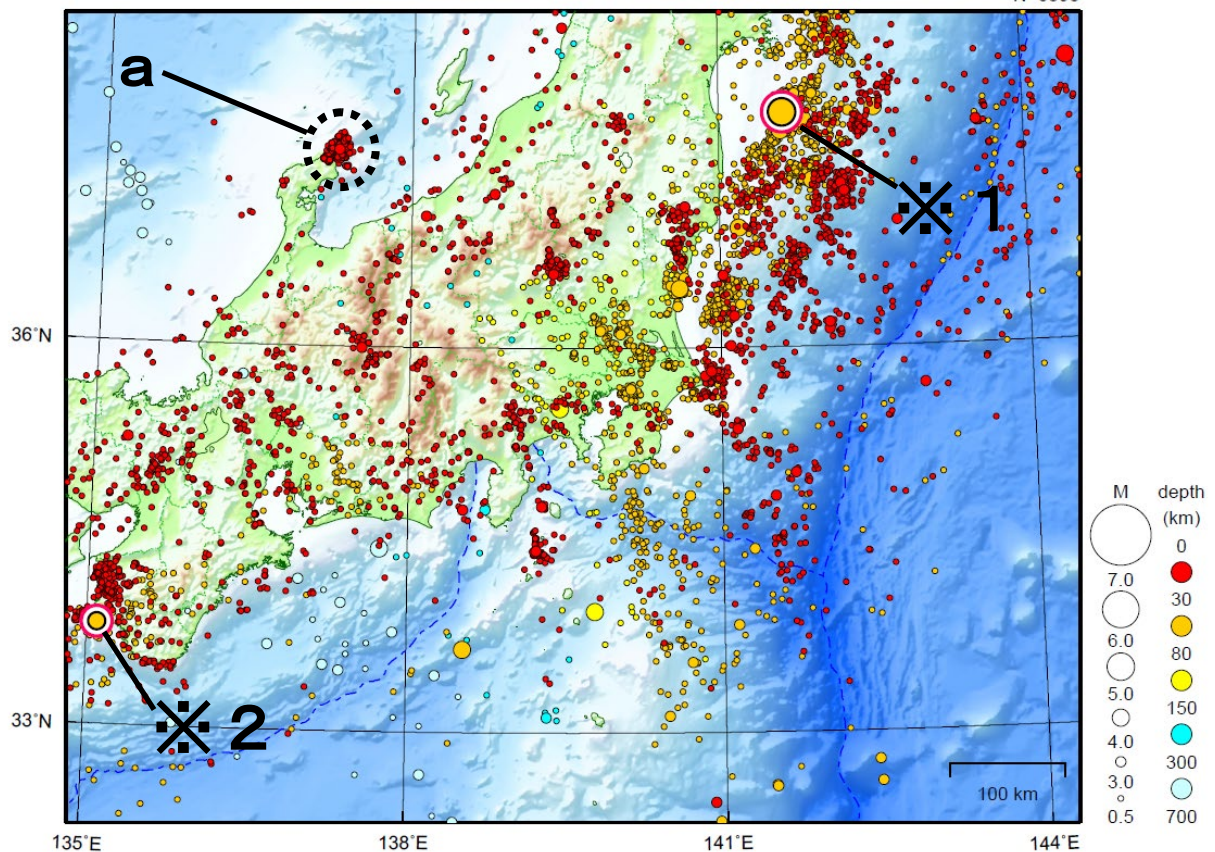


図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を

[概況]

11 月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度 1 以上を観測した地震は 51 回（10 月は 59 回）であった。11 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 石川県能登地方では、11 月中に震度 1 以上を観測した地震が 5 回（震度 2：1 回、震度 1：4 回、能登半島沖で発生した地震 2 回を含む）発生した。このうち最大規模の地震は、10 日 14 時 31 分に能登半島沖の深さ 11km で発生した M3.1 の地震で、石川県珠洲市で震度 2～1 を観測した（p. 11 参照）。

※1 東北地方の地震活動を参照（p. 6、7 参照）。

※2 近畿・中国・四国地方の地震活動を参照（p. 12、13 参照）。

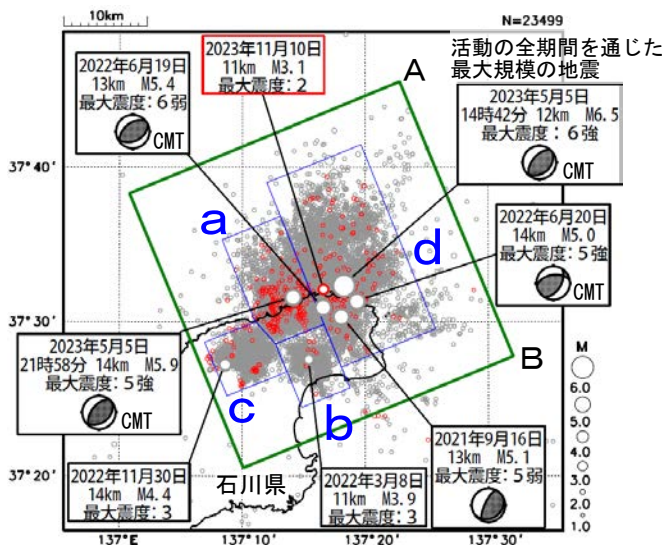
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

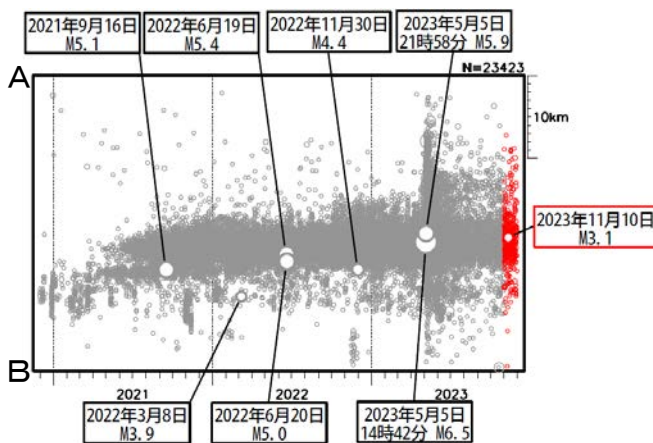
(2020年12月1日～2023年11月30日、
深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023年11月の地震を**赤色**で表示

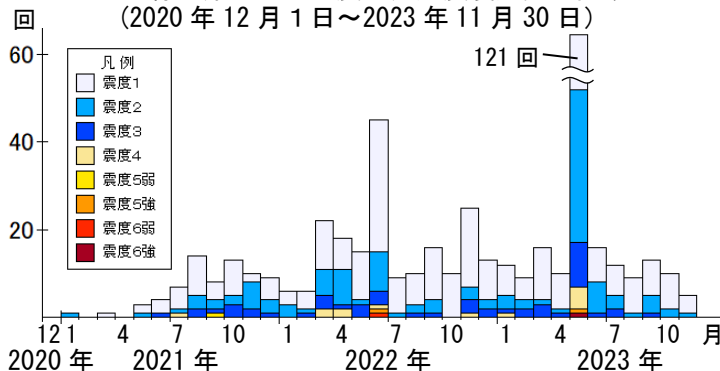
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年11月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年11月30日)



期間別・震度別の地震発生回数表

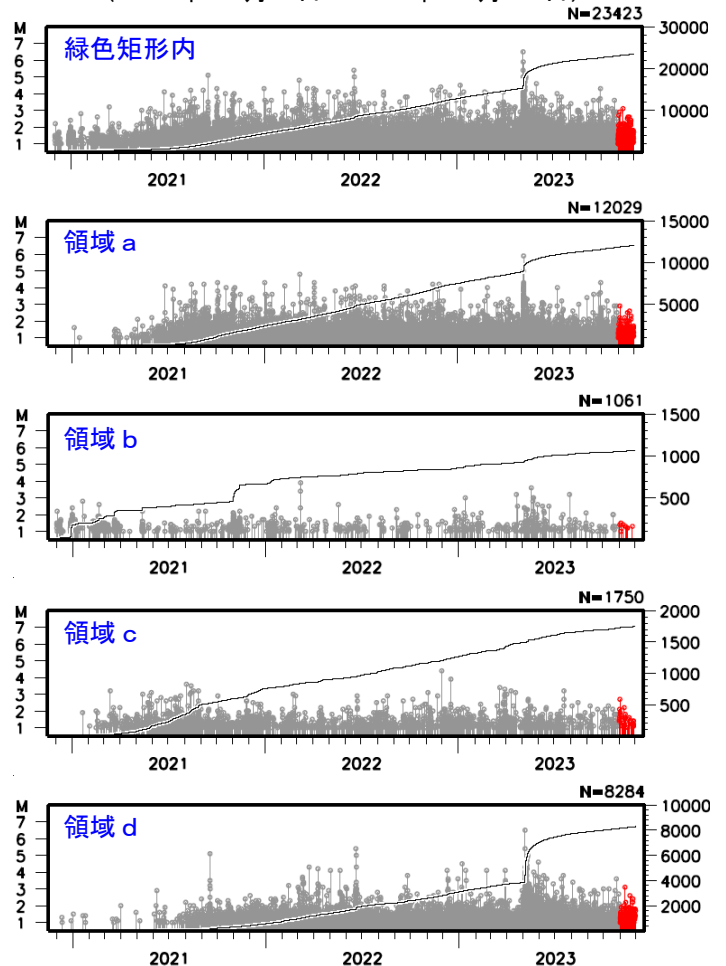
期間	最大震度別回数								
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	計
2020年12月1日 ～2023年10月31日	309	117	49	13	1	2	1	1	493
2023年11月1日～30日	4	1	0	0	0	0	0	0	5
計	313	118	49	13	1	2	1	1	498

石川県能登地方 (震央分布図の緑色矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年11月中も活発な状態が続いている。2023年11月中の最大規模の地震は、10日に発生したM3.1の地震 (最大震度2) である。なお、活動の全期間を通じた最大規模の地震は、2023年5月5日14時42分に発生したM6.5の地震 (最大震度6強) である。

2023年5月5日にM6.5の地震 (最大震度6強) が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少している。

緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年11月30日)



○近畿・中国・四国地方の地震活動

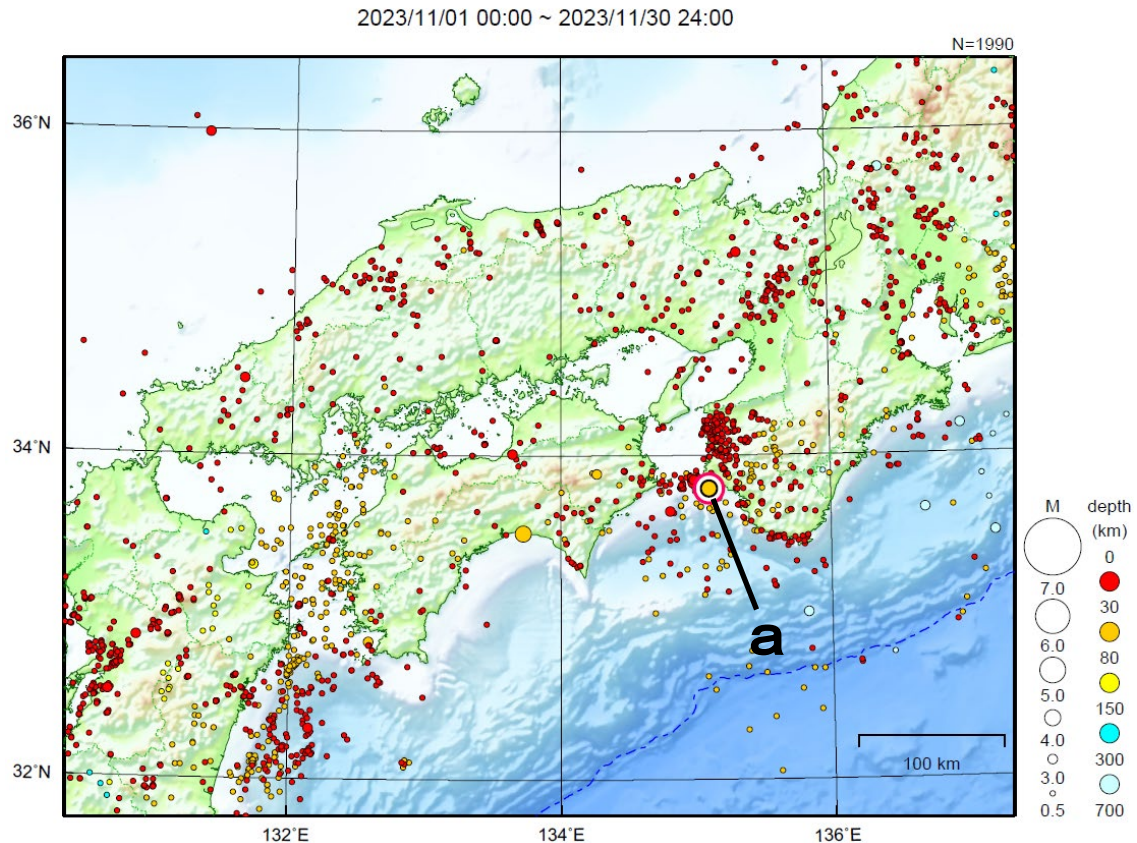


図 8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023 年 11 月 1 日～11 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

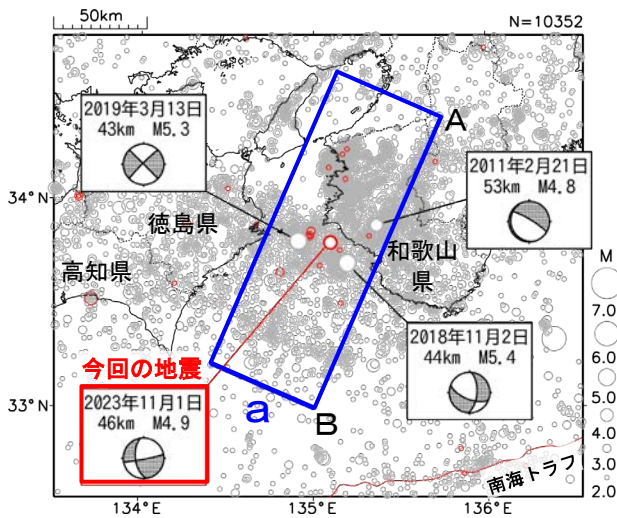
11 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 17 回（10 月は 20 回）であった。
11 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 1 日 07 時 34 分に紀伊水道の深さ 46km で $M4.9$ の地震が発生し、和歌山県及び徳島県で震度 3 を観測したほか、東海地方から中国・四国地方にかけて震度 2 ～ 1 を観測した（p. 13 参照）。

11月1日 紀伊水道の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～80km、 $M \geq 2.0$)
2023年11月の地震を赤色で表示



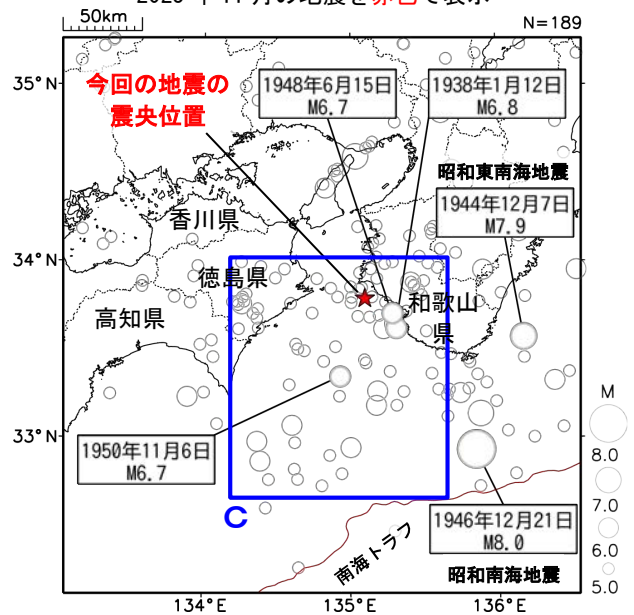
2023年11月1日07時34分に紀伊水道の深さ46kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、M5.0以上の地震も発生している。

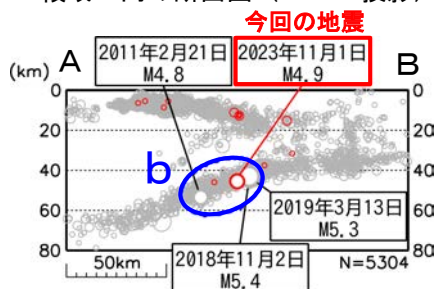
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺からその南側の南海トラフにかけての領域（領域c）では、1960年頃にかけてM6.0以上の地震が多数発生している。それらの地震のうち、規模が大きなのは、昭和東南海・南海地震前後に発生しており、例えば1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じている（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

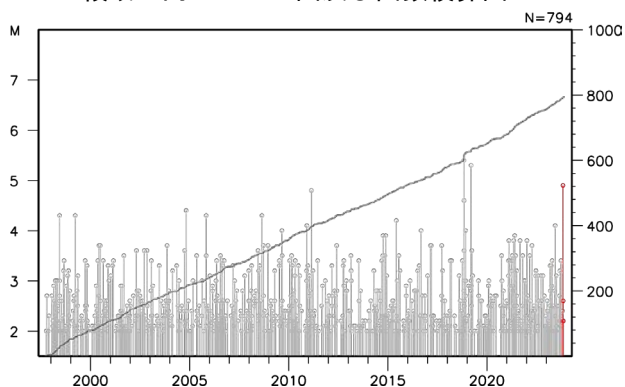
(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2023年11月の地震を赤色で表示



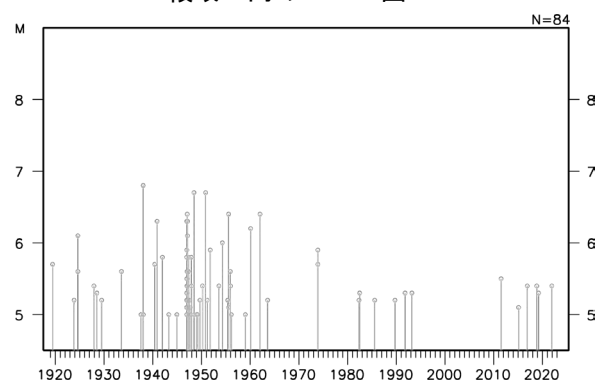
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



領域c内のM－T図



○九州地方の地震活動

2023/11/01 00:00 ~ 2023/11/30 24:00

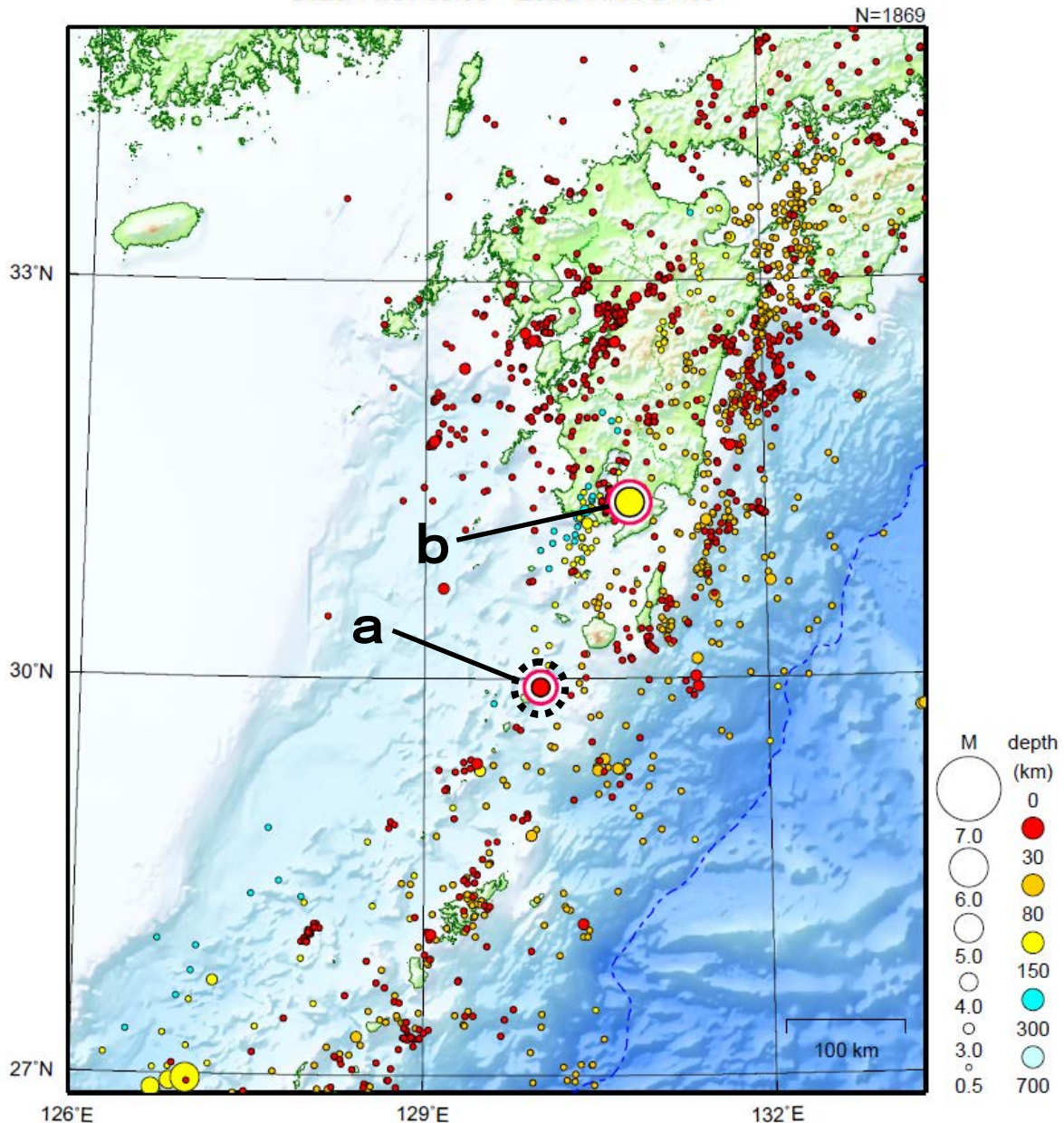


図9 九州地方の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

11月に九州地方で震度1以上を観測した地震は45回（10月は12回）であった。

11月中の主な活動は次のとおりである。

- a トカラ列島近海（口之島・中之島付近）では4月1日から地震活動が続いている。11月11日22時02分にはM4.3の地震が発生し、鹿児島県十島村（中之島）で震度4を観測したほか、鹿児島県屋久島町及び十島村で震度3～1を観測した。トカラ列島近海（口之島・中之島付近）では、11月中に震度1以上を観測した地震が21回（震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）発生した（p.15、16参照）。
- b 11日05時50分に鹿児島湾の深さ104kmでM5.0の地震が発生し、鹿児島県曾於市及び大崎町で震度4を観測したほか、九州地方及び中国・四国地方で震度3～1を観測した（p.17参照）。
情報発表に用いた震央地名は〔鹿児島県大隅地方〕である。

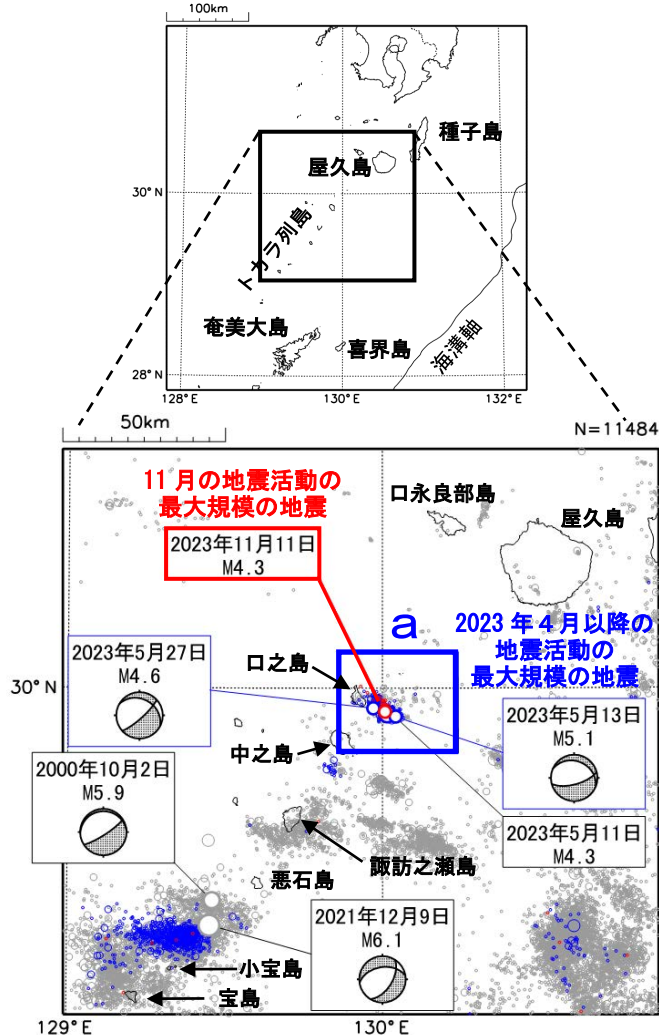
トカラ列島近海の地震活動（口之島・中之島付近）

震央分布図

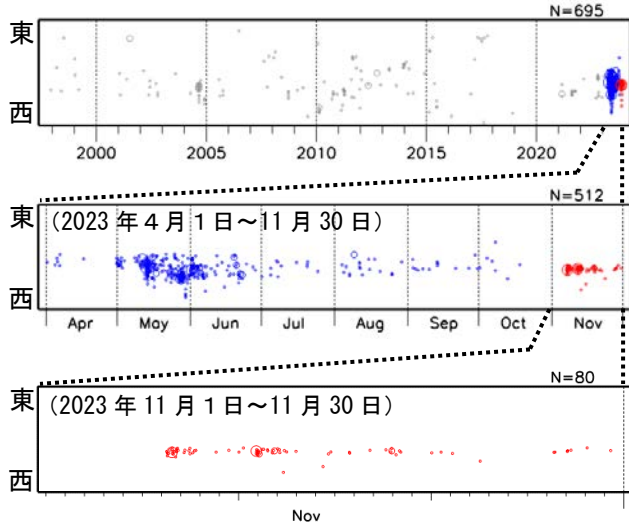
（1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ ）

2023年4月～10月の地震を青色○、
2023年11月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構はCMT解



領域a内の時空間分布図（東西投影）



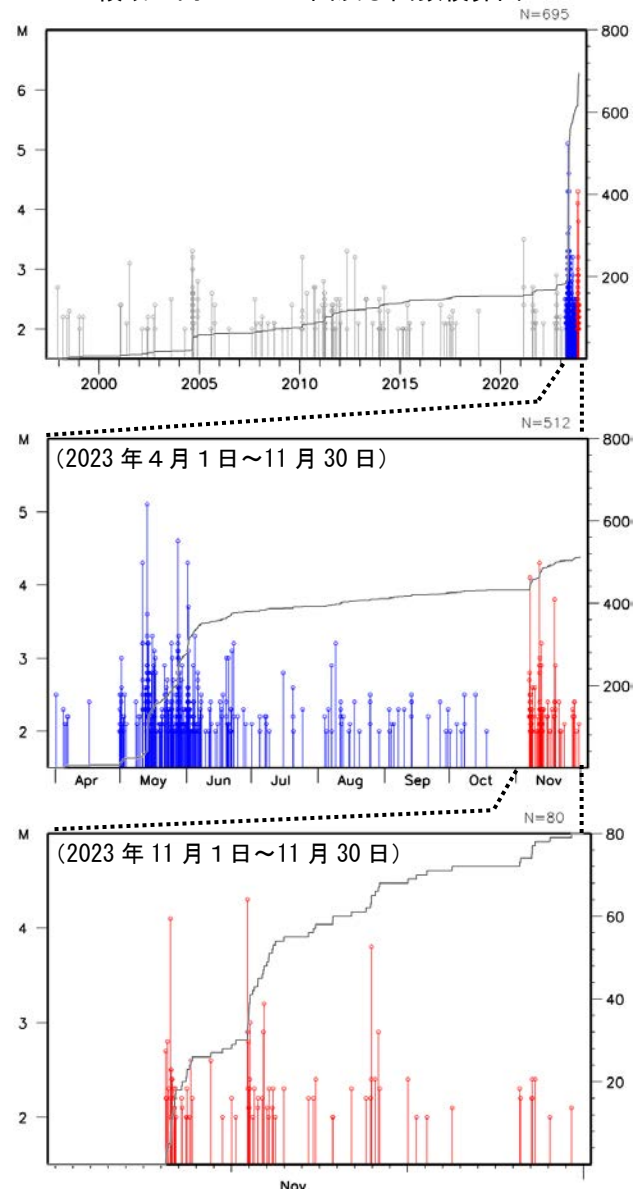
2023年11月11日22時02分にトカラ列島近海（口之島・中之島付近）で $M4.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、陸のプレート内で発生した。

今回の地震の震央付近（領域a）では、2023年4月1日頃からややまとまった地震活動があり、5月11日以降、地震活動が活発となった。6月中旬頃から発生する地震の規模が徐々に小さくなり、地震の発生数も減少していたが、11月7日頃から地震活動がやや活発となった。

4月1日から11月30日までに震度1以上を観測した地震は、172回（震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：9回、震度2：38回、震度1：120回）発生した。このうち、11月に震度1以上を観測した地震は、21回（震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）発生した。

1997年10月以降の活動をみると、領域aでは時々まとまった活動があるが、 $M4.0$ 以上の地震は発生していなかった。

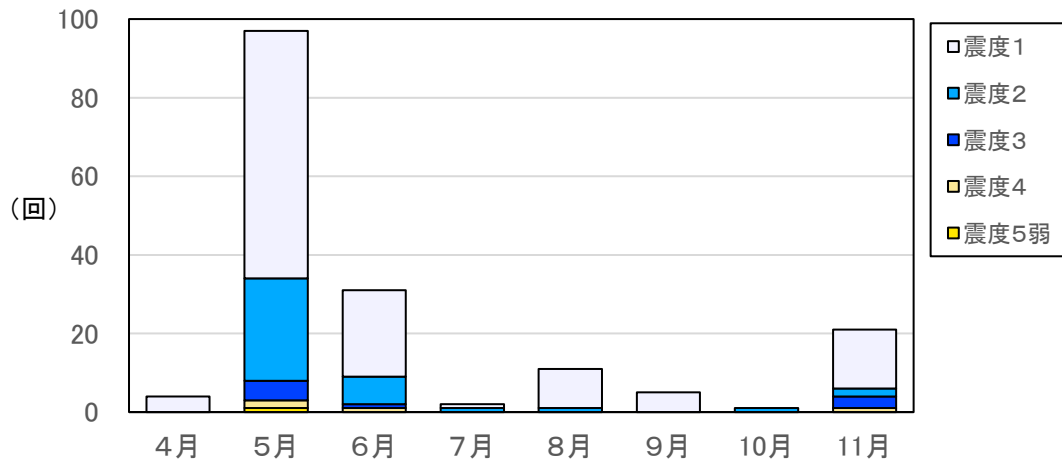
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内における震度1以上の月別最大震度別地震回数表（2023年4月～11月）

月	最大震度別回数					震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	合計	累計
4月	4	0	0	0	0	4	4
5月	63	26	5	2	1	97	101
6月	22	7	1	1	0	31	132
7月	1	1	0	0	0	2	134
8月	10	1	0	0	0	11	145
9月	5	0	0	0	0	5	150
10月	0	1	0	0	0	1	151
11月	15	2	3	1	0	21	172
合計	120	38	9	4	1	172	

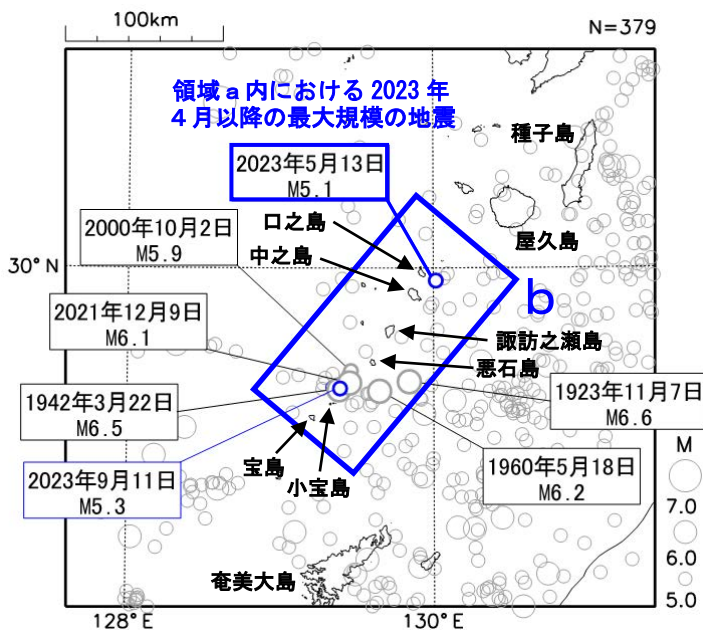
領域a内における震度1以上の月別最大震度別地震回数図（2023年4月～11月）



震央分布図

（1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）

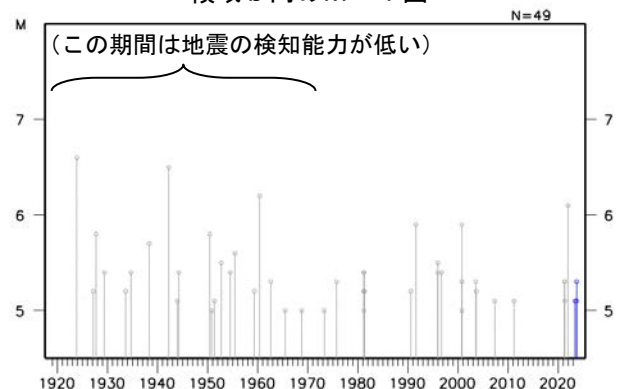
2023年4月以降の地震を青色○で表示
領域a内における2023年4月以降の最大規模の地震と
2023年9月11日のM5.3の地震と
2000年10月2日のM5.9の地震と
領域b内のM6.0以上の地震に吹き出しを付加



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

2021年12月には地震活動が活発となり震度1以上を観測した地震が308回発生した。このうち、最大規模の地震は、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）で、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。また、2023年9月にも地震活動が活発となり震度1以上を観測した地震が346回発生した。さらに、2000年10月2日にはM5.9の地震（最大震度5強）が発生するなど、地震活動が活発となった。この地震活動により、水道管破損1箇所などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域b内のM-T図



11月11日 鹿児島湾の地震

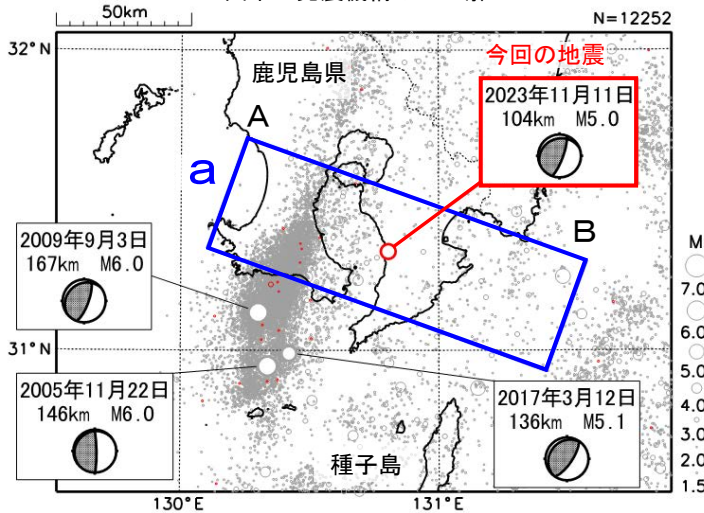
情報発表に用いた震央地名は「鹿児島県大隅地方」である。

震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ40～200km、 $M \geq 1.5$)

2023年11月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構はCMT解

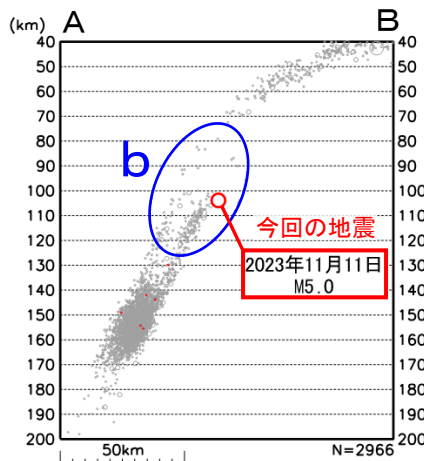


2023年11月11日05時50分に鹿児島湾の深さ104kmで $M 5.0$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

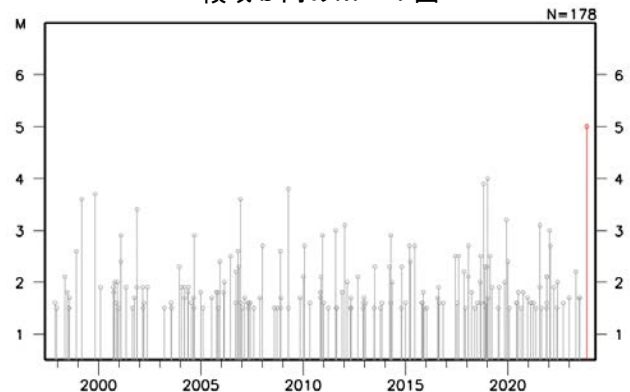
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4$ 程度の地震は6回発生しているが、 $M 5.0$ 以上の地震は発生していなかった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が5回発生している。1978年5月23日には $M 6.4$ の地震（最大震度4）が発生した。

領域a内の断面図（A－B投影）



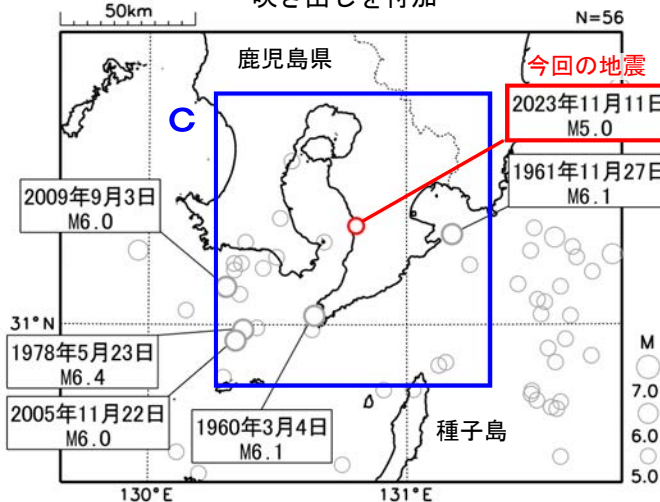
領域b内のM－T図



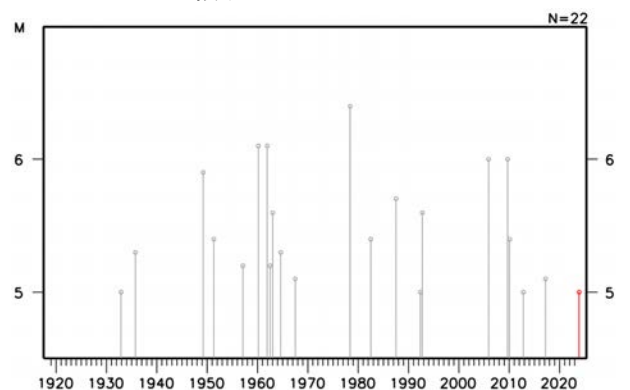
震央分布図

(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ40～200km、 $M \geq 5.0$)

今回の地震と領域c内の $M 6.0$ 以上の地震に
吹き出しを付加



領域c内のM－T図



○沖縄地方の地震活動

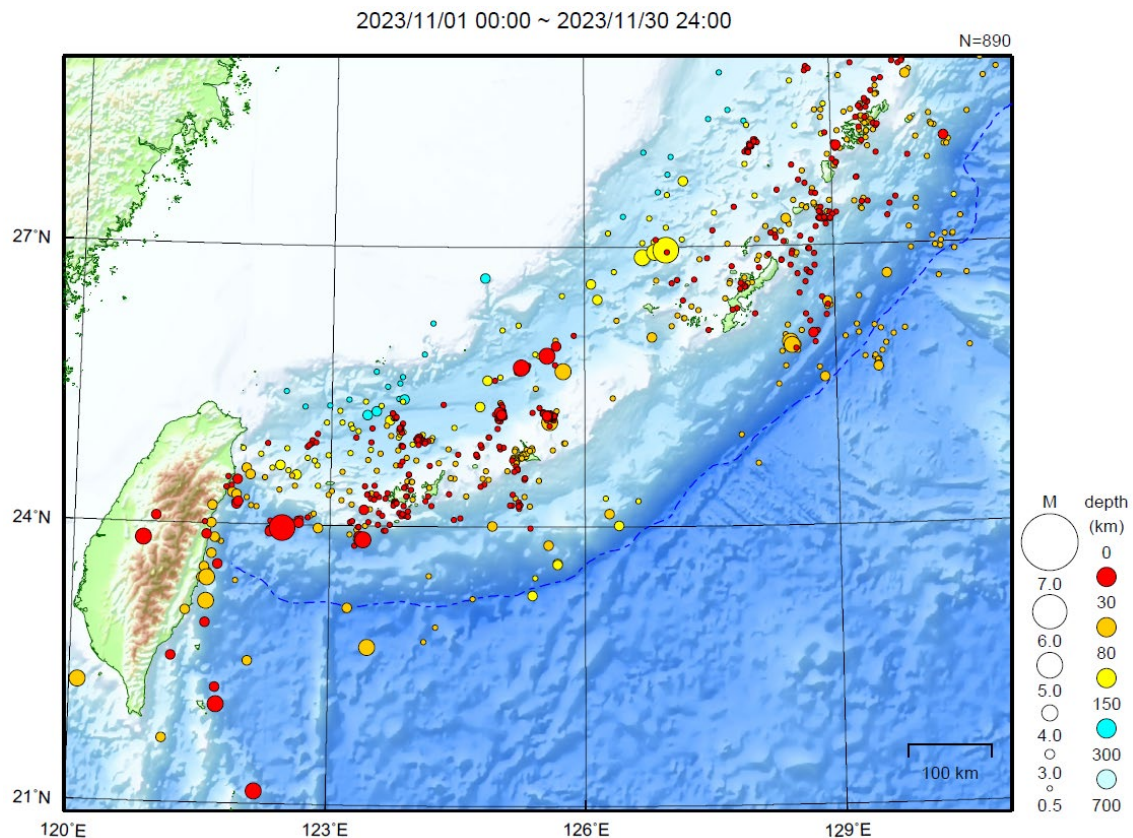


図10 沖縄地方の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

11月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は8回（10月は16回）であった。

11月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

2023/11/01 00:00 ~ 2023/11/30 24:00

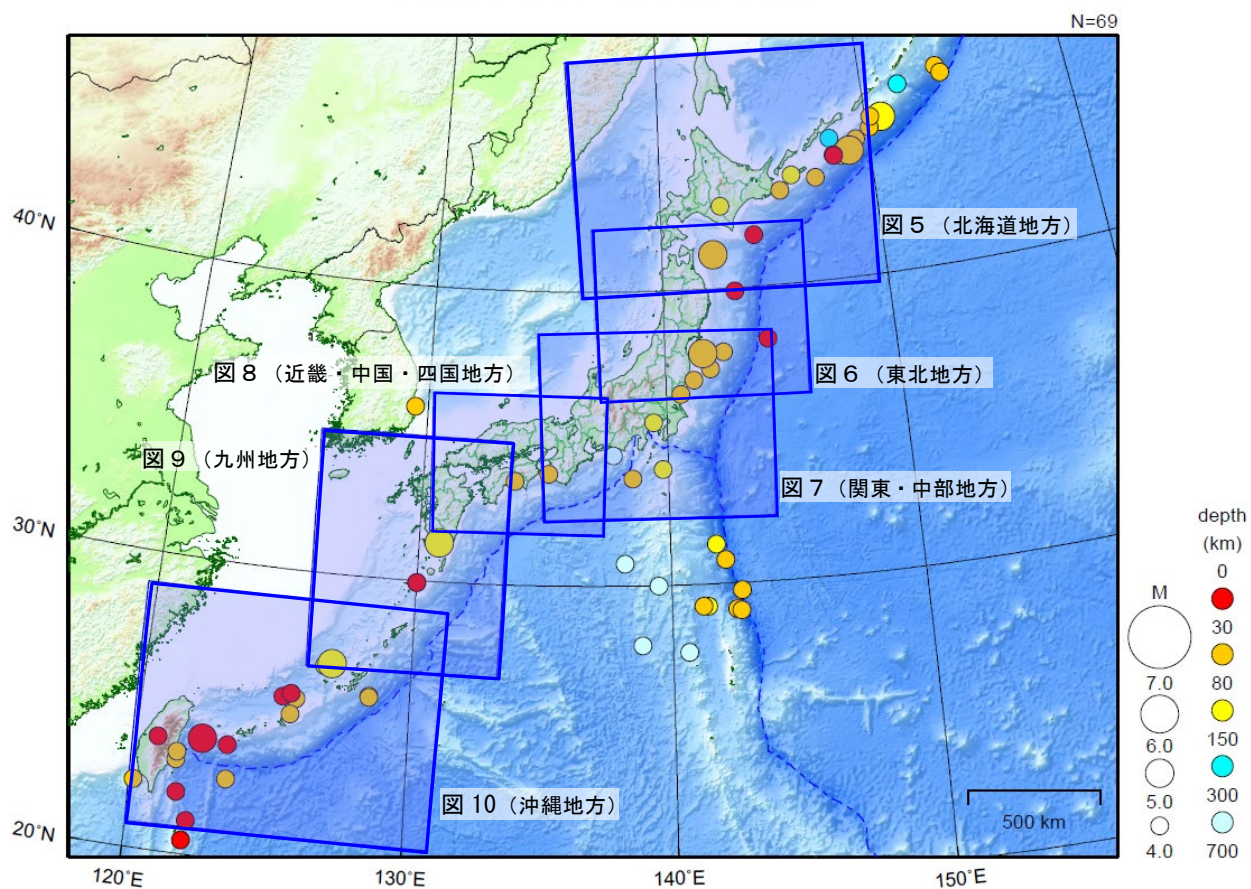


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年11月1日～11月30日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

〔概況〕

11月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震はなかった（10月は5回）。

11月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第74回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第452回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和5年12月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.22に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80％であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）四国東部：11月1日から12日

（2）四国西部：11月30日から継続中

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS S観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2023年初頭から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近では停滞しているように見えます。

（長期的な地殻変動）

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2023年初頭からの九州南部の地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び日向灘南部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、日向灘南部周辺の長期的ゆっくりすべりは、最近では停滞しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平

常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

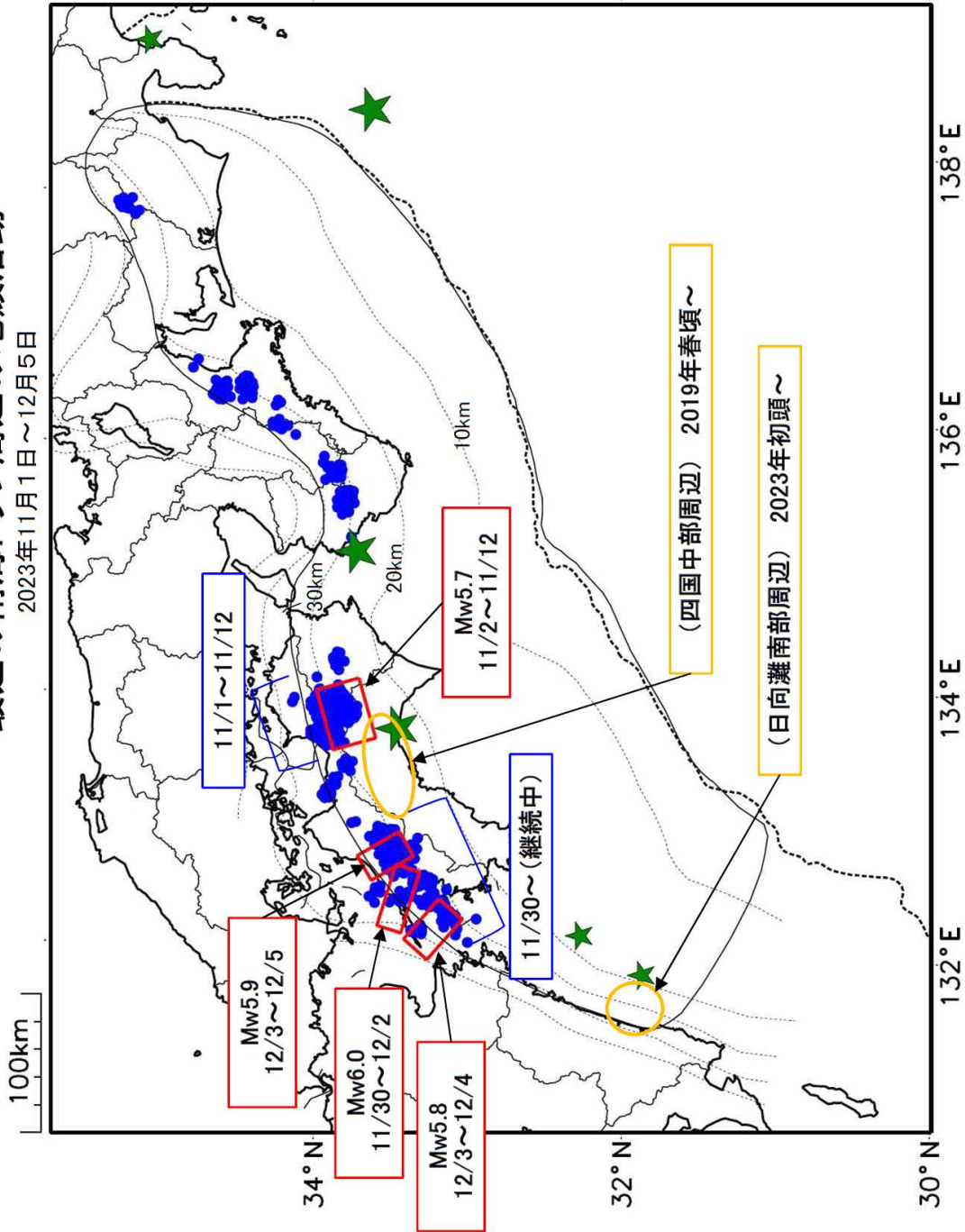
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年11月1日～12月5日



緑(★)
 通常の地震(最大震度
 3以上もしくはM3.5以上)
 青(●)
 深部低周波地震(微動)
 赤(□)
 短期的ゆっくりすべり
 黄(○)
 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
 Hirose et al.(2008), Baba
 et al.(2002)によるフィリ
 ン海プレート上面の深さを
 示す。

※M5.0以上の地震に吹き
 出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【四国東部、四国西部】気象庁の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年11月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和5年12月8日14時現在）。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、12月6日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和5年12月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海徳海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、俱多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、挾捉焼山、挾捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

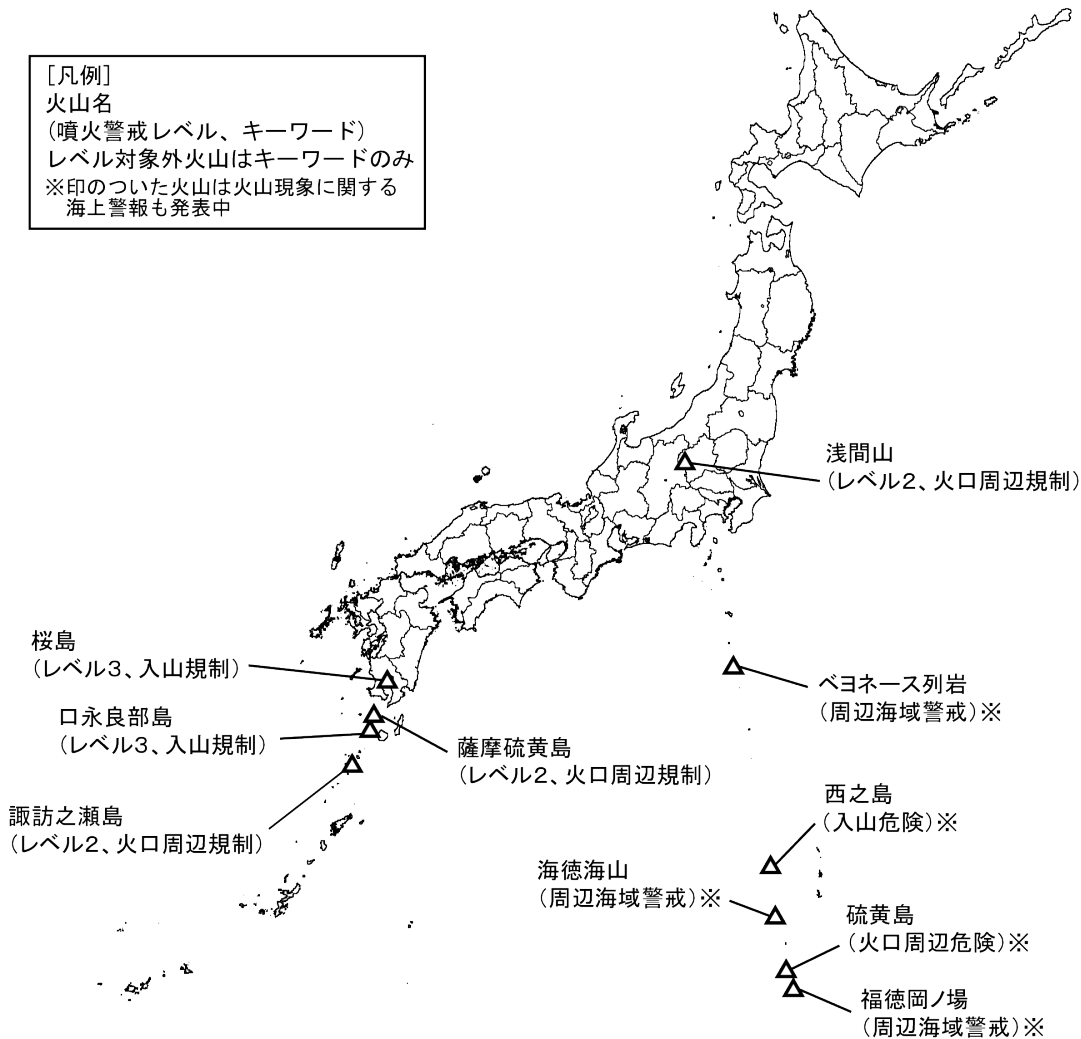


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（11月1日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は11月頃より停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量も次第に減少しています。以上のように、火山活動に低下傾向が認められますが、過去には短期間で再活発化した事例もありますので、引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、これまでもしばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続している

と考えられます。

山頂火口から概ね 1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023 年 1 月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

10 月 21 日から翁浜沖で噴火が断続的に発生しています。また、18 日に島北東部の海岸でごく小規模な噴火が発生しました。

GNSS 連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動は活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域も含め、噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021 年 8 月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021 年 8 月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕←12 月 6 日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ。

えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動の活発化を示すデータの変化はみられていません。GNSS 連続観測では硫黄山近傍の基線において、2023 年 5 月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、11 月頃から停滞しています。また、硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性微動は 7 月 8 日以降観測されていません。

これらのことから、硫黄山では 12 月 6 日 11 時 00 分（期間外）に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側 500m の噴気地帯から概ね 100m の範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が 11 回発生し、このうち爆発は 4 回でした。噴煙は最高で火口縁上 1,800 m まで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 8 合目（南岳山頂火口から約 500m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域の GNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震は11月下旬から増加し、やや多い状態となっています。

火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

口永良部島では、火山活動は高まった状態で経過しており、新岳及び古岳の火口周辺において噴火が発生する可能性があります。

古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震は、10月下旬から11月上旬にかけて増加し、振幅も大きくなりました。その後、火山性地震は減少しましたが、概ね多い状態で経過しました。新岳火口付近で発生している火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動が観測されています。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,200mまで上がり雲に入りました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約300mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

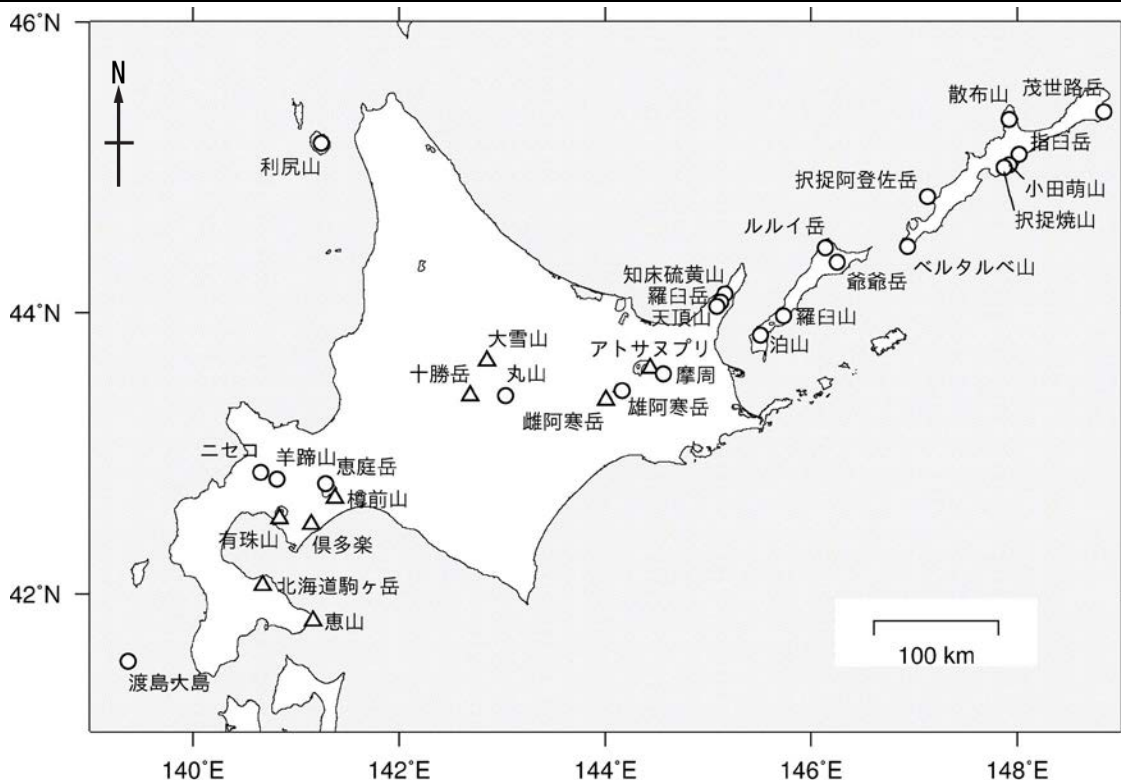
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年11月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2021 年頃から山体浅部の収縮を示すと考えられる地殻変動が続いており、62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多い状態です。また、2023 年2月以降、火口浅部の地震の一時増加や火山性微動、これらと同期した傾斜変動が時々観測されています。これらのことから、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年11月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で認められていた 2020 年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022 年終わり頃から鈍化しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に留意してください。

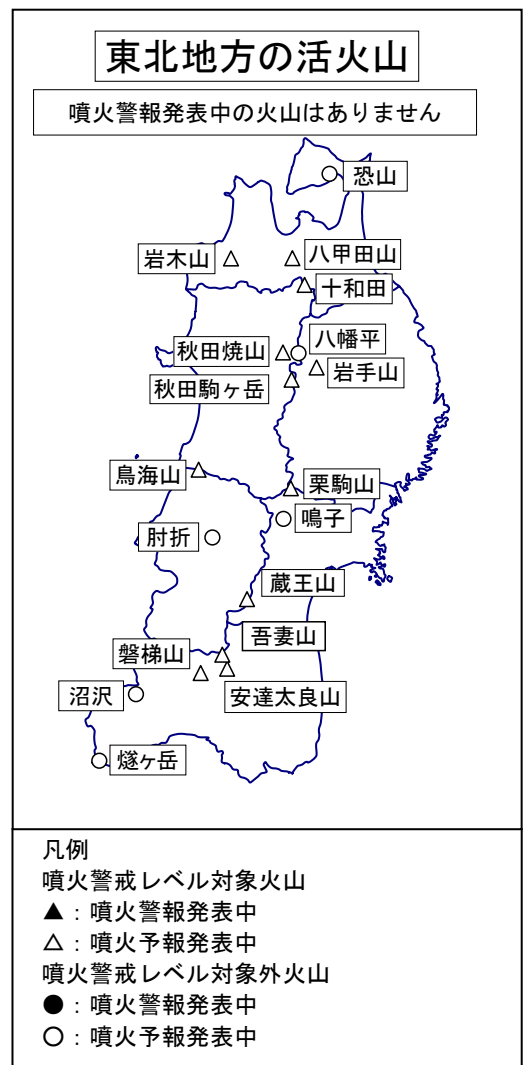
岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち ^{めだけ} 女岳 付近では 2015 年頃にかけて地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、地震活動や熱活



動がやや高まった状態で経過していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要です。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は今期間少ない状態で経過しており、また大穴火口浅部の緩やかな膨張を示唆する変化は収縮傾向に転じていますが、大穴火口周辺浅部の温度上昇を示唆する変化等は引き続きみられています。浅部の熱水活動はやや活発な状態が続いていますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

大穴火口周辺では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

火山性地震は2022年10月以前に比べて多い状態で経過しています。GNSS連続観測で認められていた2022年後半からの山体膨張を示すわずかな変化は2023年6月頃からやや鈍化していますが、今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

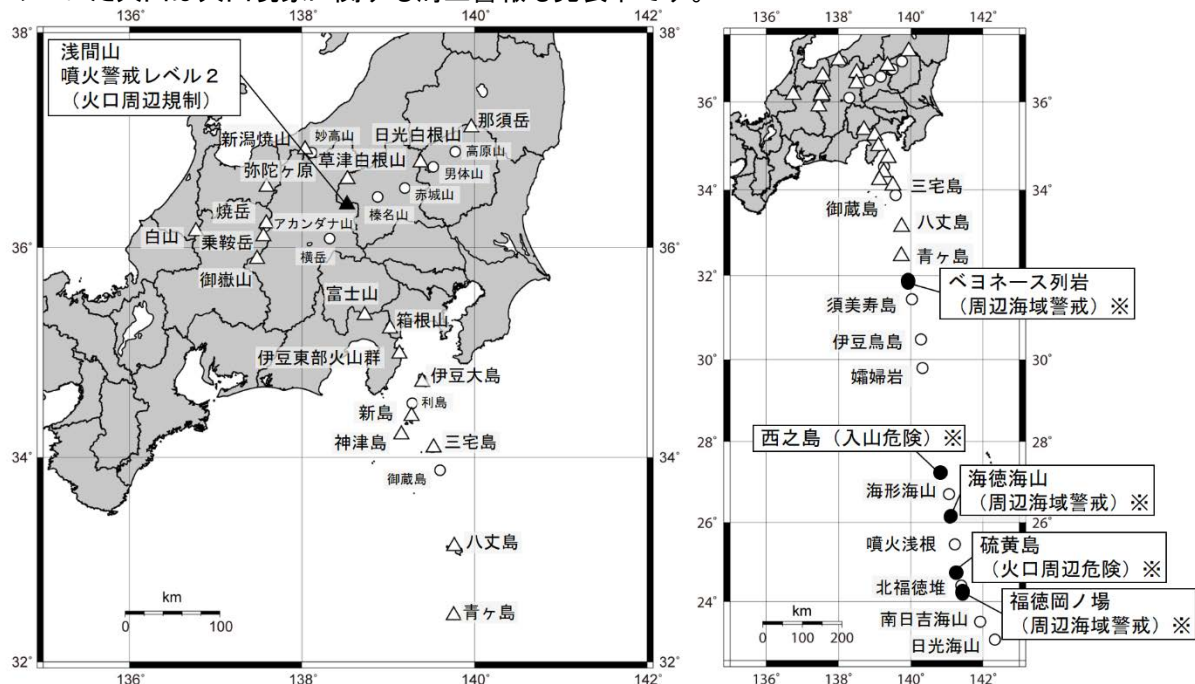
管内月間火山概況（令和5年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新湯焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例	
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は11月頃より停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量も次第に減少しています。以上のように、火山活動に低下傾向が認められますが、過去には短期間で再活発化した事例もありますので、引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新湯焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気の状態に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も長期的に鈍化しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しました。7月頃からGNSSの一部の基線で伸びの変化がみられていましたが、9月頃から鈍化しています。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からはほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2023年に入り停滞していますが、引き続き地下のマグマの蓄積は進んでいると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性があります。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では今年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、これまでもしばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

10月21日から翁浜沖で噴火が断続的に発生しています。また、18日に島北東部の海岸でごく小規模な噴火が発生しました。

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動は活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域も含め、噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

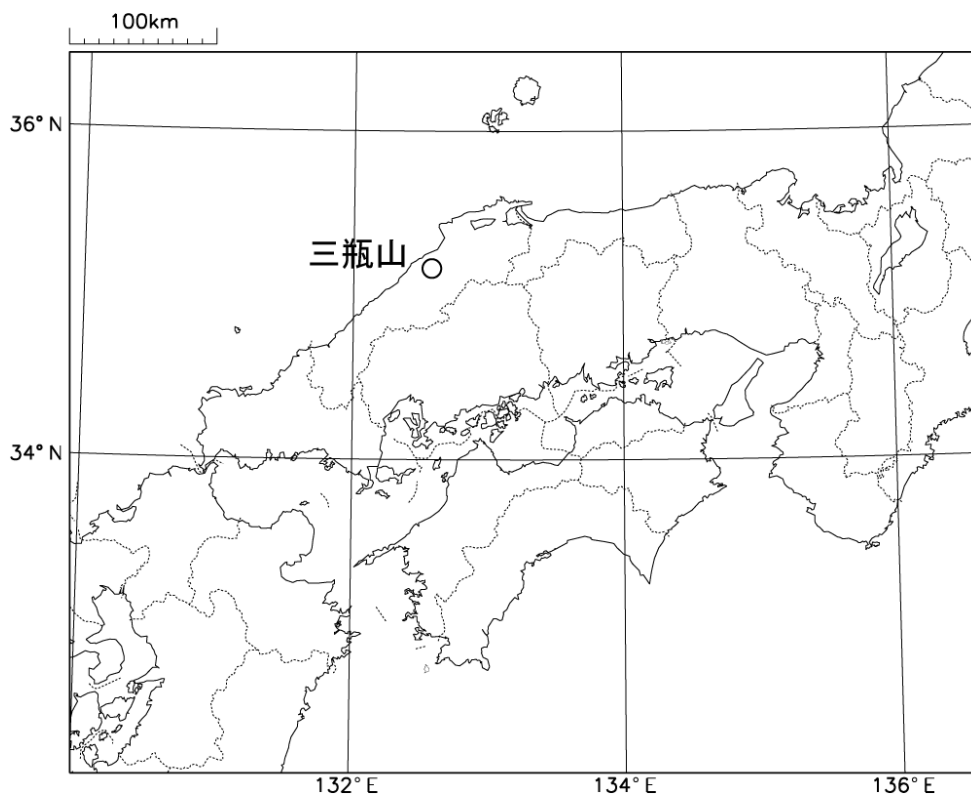
管内月間火山概況（令和5年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

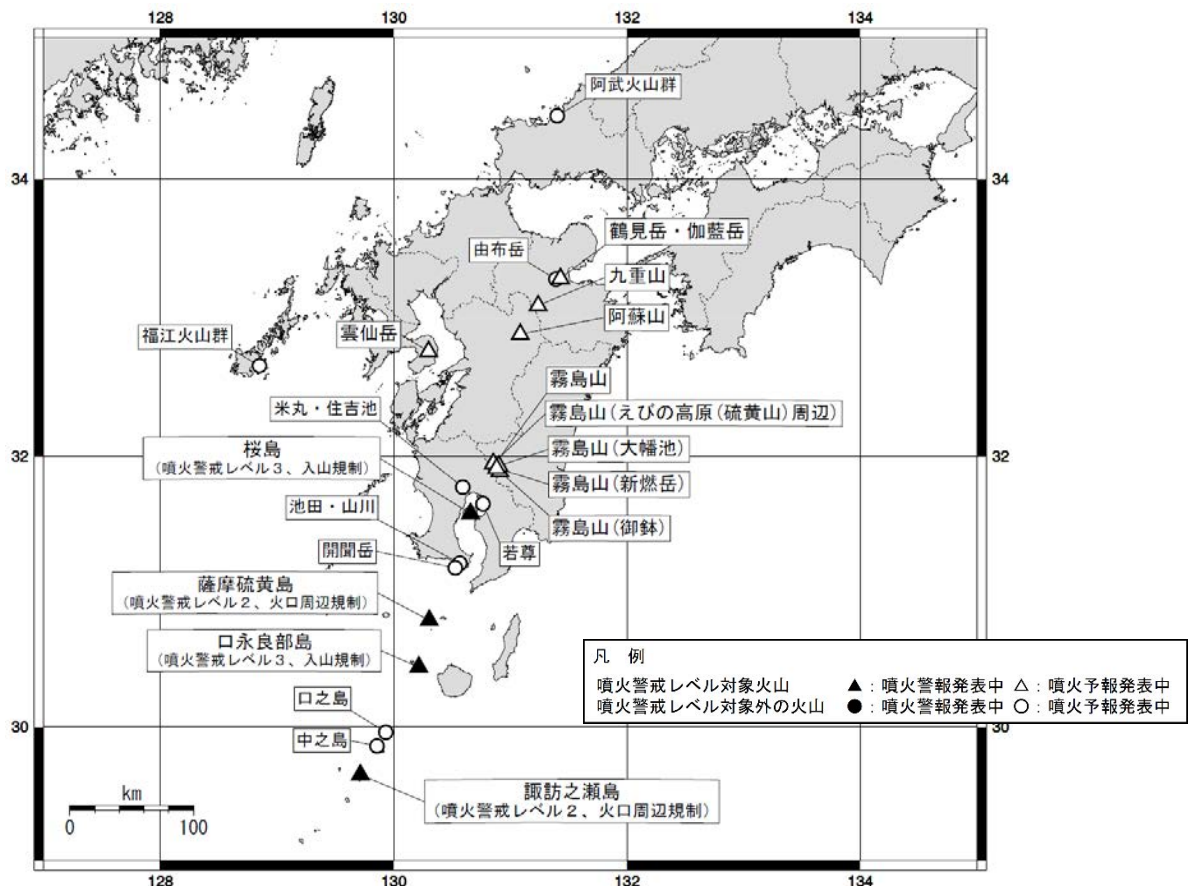
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年11月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年11月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（11月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、12月6日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は概ね小さい状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は4月以降少ない状態となっています。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2023年1月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←12月6日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動の活発化を示すデータの変化はみられていません。GNSS 連続観測では硫黄山近傍の基線において、2023年5月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、11月頃から停滞しています。また、硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。火山性微動は7月8日以降観測されていません。

これらのことから、硫黄山では12月6日11時00分（期間外）に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

霧島山（大幡池）きりしまやま おおはたいけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、10月下旬から11月上旬にかけて火口直下を震源とする火山性地震がやや多い状態となりましたが、その後は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023年4月以降は停滞しています。

火山活動が一時的にやや高まりましたが、現時点ではさらに高まる傾向は認められません。活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火²⁾が11回発生し、このうち爆発³⁾は4回でした。噴煙は最高で火口縁上1,800mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で8合目（南岳山頂火口から約500m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震は11月下旬から増加し、やや多い状態となっています。

火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島では、火山活動は高まった状態で経過しており、新岳及び古岳の火口周辺において噴火が発生する可能性があります。

古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震は、10月下旬から11月上旬にかけて増加し、振幅も大きくなりました。その後、火山性地震は減少しましたが、概ね多い状態で経過しました。新岳火口付近で発生している火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しました。

GNSS 連続観測では、2023 年6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動が観測されています。

新岳火口及び古岳火口から概ね2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上 1,200mまで上がり雲に入りました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約300mまで飛散しました。

GNSS 連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。また、島の西側で発生していると推定される火山性地震は少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

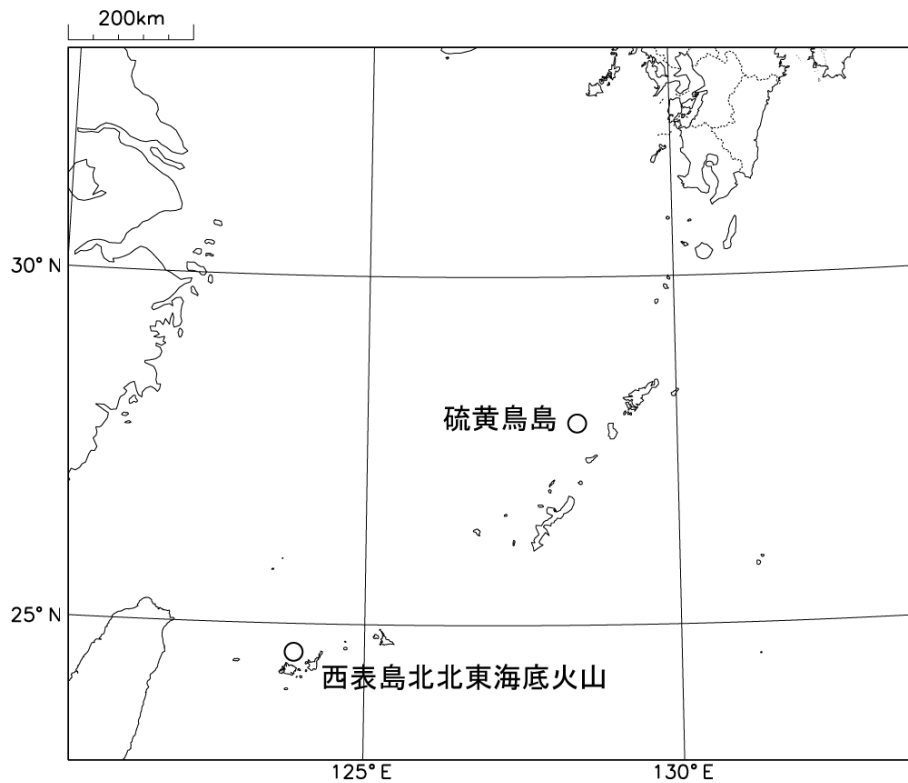
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和5年11月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第113～120号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、15日には非常に多い状態。上空からの観測の状況。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな基線の伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第62～69号	3日、6日、10日 16時00分 13日 16時10分 17日、20日、24日、27日 16時00分	古岳及び新岳の噴煙の状況。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態。 古岳付近の浅いところで火山性地震が多い状態、振幅の大きい地震も時々発生。新岳付近の火山性地震は減少し少ない状態。GNSS連続観測では、6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動。(10月)31～1日、14～16日の現地調査、24日の上空からの両火口の観測の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第79～86号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過。山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が、一部観測点では9月頃から鈍化がみられ、11月に入り停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は3月下旬以降、以前より多い状態から、次第に減少。
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第27～30号	6日、13日、20日、27日 16時00分	GNSSの硫黄山近傍の基線で、5月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが継続。 硫黄山の南側の噴気地帯では活発な噴気活動が継続。西側500m付近では、弱い噴気を観測。 20～21日の現地調査の現地調査の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第45～48号	6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第75～78号	6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分	噴火活動が継続。大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山（新燃岳）	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第11～16号	1日～6日 16時00分	火口直下の浅いところで火山性地震が、10月下旬に増加し、火山活動がやや高まった状態で、10日間の回数は10/24～11/2(15h)で245回、11月に入り減少。11/1の現地調査で、新燃岳火口付近、新燃岳西側斜面割れ目付近の噴気の状況等に特段の変化はなし。他の観測データには特段の変化はなし。

注1）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2）浅間山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島におい

ては、噴火警報を発表している間、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

● 世界の主な地震

令和5年（2023年）11月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

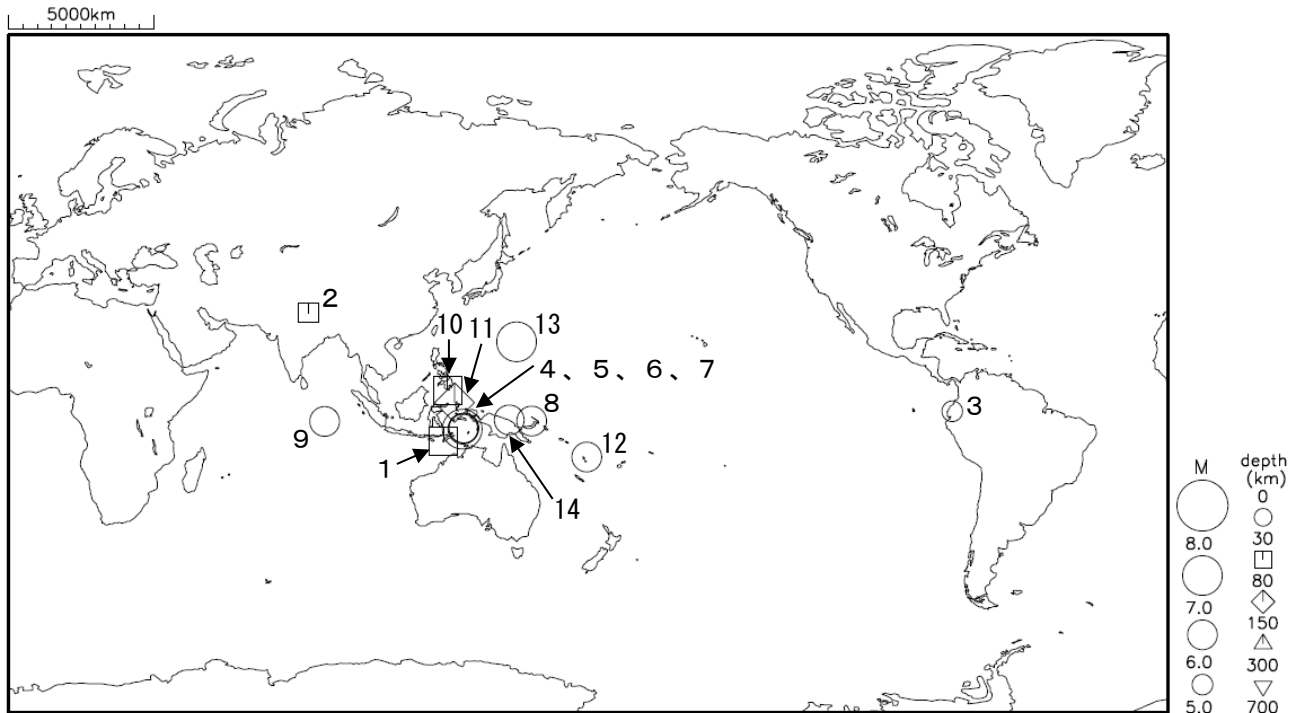


図1 令和5年（2023年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	11月02日06時04分	S10° 02.0′	E123° 45.5′	40			6.1	ティモール島			
2	11月04日03時02分	N28° 51.1′	E 82° 09.7′	33			(5.8)	ネパール	死者154人など		
3	11月07日12時33分	N 0° 53.3′	W 79° 15.7′	28			5.0	エクアドル沿岸	負傷者1人など		
4	11月08日13時52分	S 6° 26.2′	E129° 44.9′	10			6.7	バンダ海			
5	11月08日13時53分	S 6° 25.1′	E129° 32.8′	10			7.1	バンダ海			○
6	11月08日22時02分	S 6° 08.7′	E129° 54.8′	10			6.7	バンダ海			
7	11月11日05時45分	S 6° 06.6′	E130° 03.5′	13			6.1	バンダ海			
8	11月13日16時43分	S 3° 55.2′	E150° 58.2′	10			6.1	バブアニューギニア、ニューアイルランド			
9	11月14日16時00分	S 4° 02.3′	E 87° 04.9′	10			6.1	南インド洋			
10	11月17日17時14分	N 5° 34.9′	E125° 01.3′	64			6.7	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者9人、負傷者15人など	○	○
11	11月22日11時48分	N 1° 47.9′	E127° 09.9′	102			6.0	インドネシア、ハルマヘラ			
12	11月22日13時47分	S14° 59.0′	E167° 58.2′	13			6.7	バヌアツ諸島	津波観測0.06m（マレクラ）	○	○
13	11月24日18時04分	N20° 24.0′	E146° 18.5′	ごく浅い		7.5	(6.9)	マリアナ諸島		○	
14	11月28日06時46分	S 3° 34.2′	E144° 02.4′	8			6.5	バブアニューギニア、ニューギニア北岸		○	

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2023年12月4日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年12月4日現在）、国内は総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA；National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2023年12月4日現在）。

● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）11月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和5年（2023年）11月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●特集 2023年11月4日 ネパールの地震

（1）概要及び最近の地震活動（注1）

2023年11月4日03時02分（日本時間、以下同じ）にネパールの深さ33kmでMw5.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震により、死者154人、負傷者934人などの被害が生じた（2023年11月27日現在）。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM5.0以上の地震が時々発生しており、1980年7月29日にはMw6.5の地震が発生し、死者100人などの被害が生じた。

今回の地震の震央周辺は、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突している地域で、大きな被害を伴う地震が度々発生している地域である。今回の地震の震央の東南東約250kmでは、2015年4月25日にMw7.9の地震が発生し、この地震により死者8,776人などの被害が生じた。

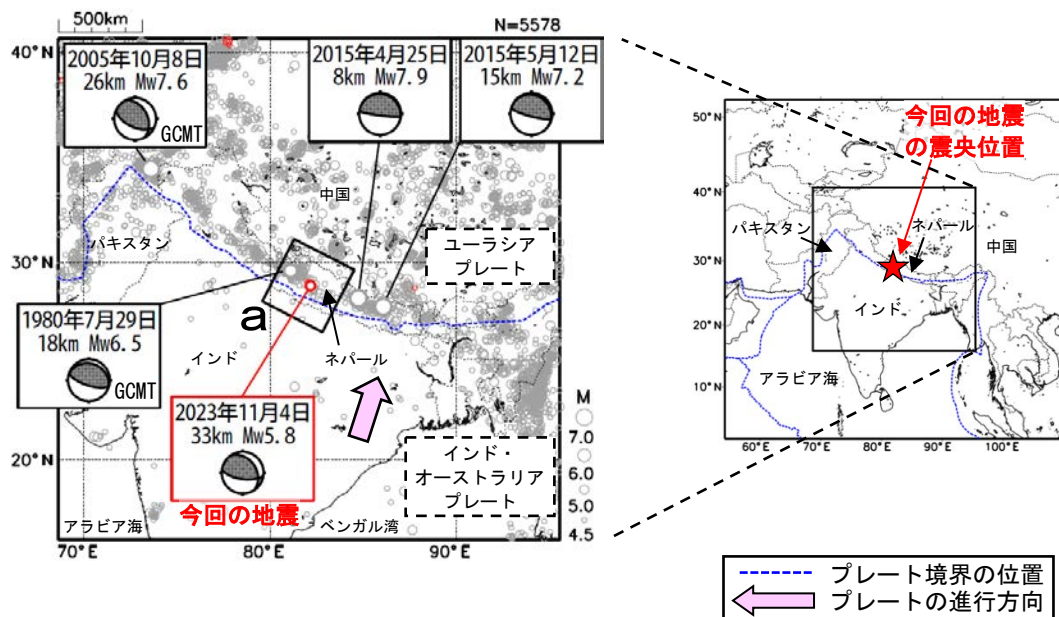


図1-1 震央分布図（1980年1月1日～2023年11月30日、深さ0～100km、M_w≥4.5）
2023年11月の地震を赤色で表示

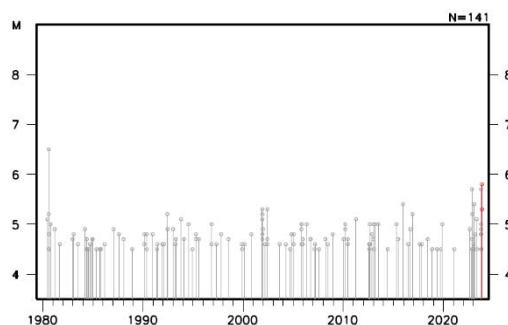


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

（注1）震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による（2023年12月6日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、今回の地震、2015年4月25日の地震及び2015年5月12日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震はOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年11月27日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird (2003)*1より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

（2）発震機構（注2）

今回の地震の震央周辺（図1-1の領域aと同じ範囲）の発震機構の分布をみると、概ね北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型の地震が多く発生している（図2）。

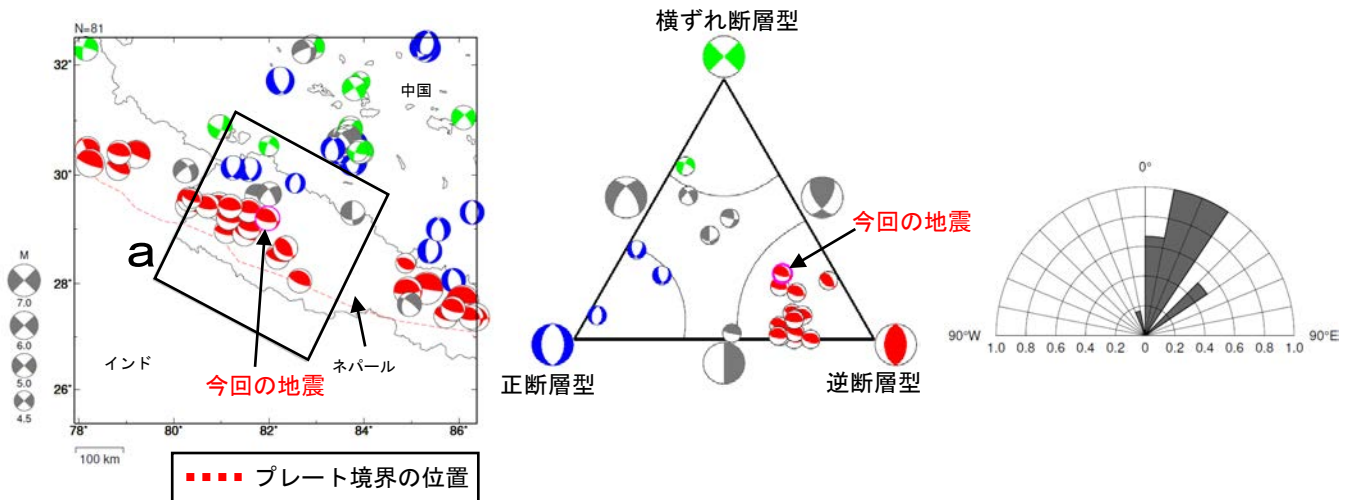


図2 発震機構分布図（左）、領域a内の発震機構の型の分布（中）及び発震機構の圧力軸の方位分布（右）
（1980年1月1日～2023年11月30日、深さ0～100km、Mすべて）

逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich（2001）による分類）。

（3）過去に発生した主な地震（注3）

1904年以降の活動をみると、今回の地震の周辺（領域b）では、M7クラスの地震が時々発生しており、大きな被害を伴っている。1934年1月15日にはM8.0の地震が発生し、死者10,700人などの被害が生じた。また、2015年4月25日にはMw7.9の地震が発生し、死者8,776人などの被害が生じた。

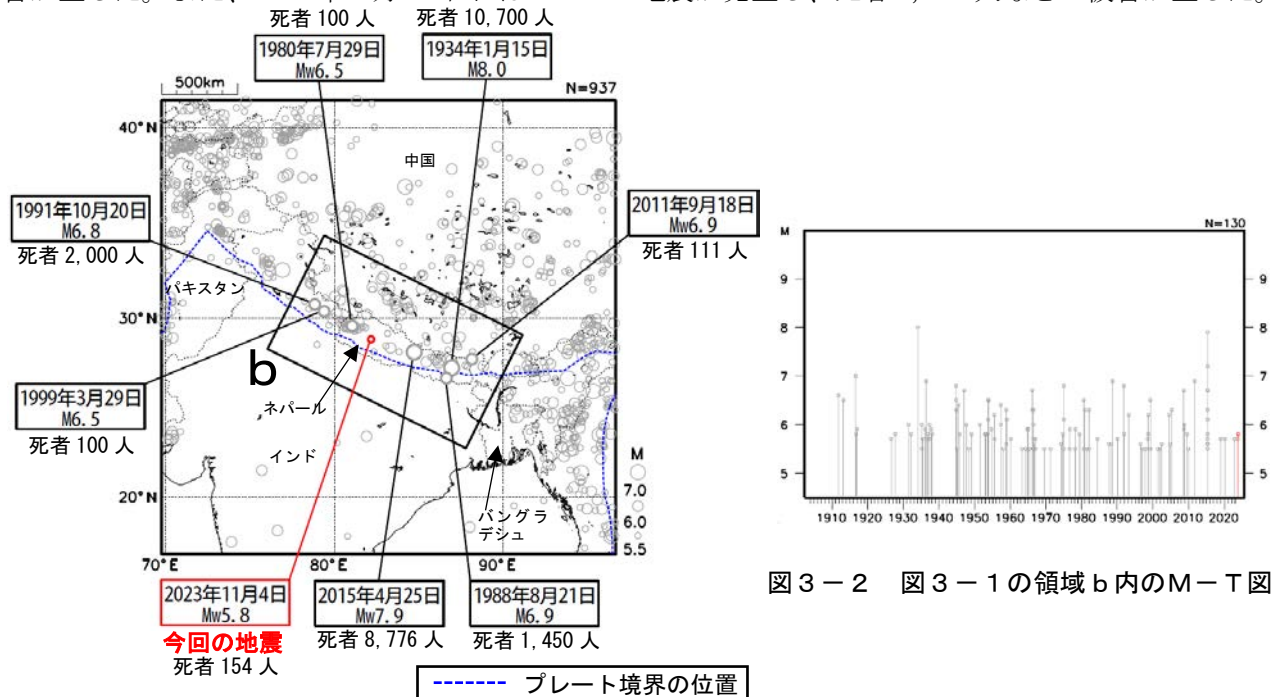


図3-2 図3-1の領域b内のM-T図

図3-1 震央分布図（1904年1月1日～2023年11月30日、深さ0～100km、M≥5.5）
2023年11月の地震を赤色で表示
死者100人以上の地震に吹き出しを付加

（注2）震源要素及び発震機構は、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird（2003）*1より引用。

（注3）震源要素は、2019年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 10（1904-2019）、2020年以降は米国地質調査所（USGS）による（2023年12月6日現在）。ただし、吹き出しのある地震のMwは、今回の地震、2011年9月18日の地震及び2015年4月25日の地震は気象庁、1980年7月29日の地震はGlobal CMTによる。被害は、今回の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年11月27日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）*1より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年11月中に震度1以上を観測した地震は152回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯 度	経 度	深 さ	規 模
1	1 03 08	茨城県南部 茨城県	36° 08.8' N	139° 51.5' E	50km	M: 3.8
		2 筑西市舟生=2.3 坂東市馬立*=1.9 結城市中央町*=1.5 1 五霞町小福田*=1.4 坂東市山*=1.4 筑西市二本成*=1.4 坂東市役所*=1.3 笠間市笠間*=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 土浦市常名=1.3 桜川市羽田*=1.2 笠間市石井*=1.2 境町旭町*=1.2 桜川市真壁*=1.2 水戸市内原町*=1.1 下妻市本城町 (旧) *=1.0 下妻市鬼怒*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 筑西市門井*=0.9 茨城古河市下大野*=0.9 石岡市柿岡=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.8 茨城古河市長谷町*=0.8 つくば市研究学園*=0.7 つくば市小莖*=0.7 常総市新石下*=0.7 城里町石塚*=0.7 小美玉市小川*=0.7 坂東市岩井=0.7 かすみがうら市大和田*=0.7 笠間市下郷*=0.7 守谷市大柏*=0.6 水戸市千波町*=0.6 取手市寺田*=0.6 笠間市中央*=0.6 水戸市金町=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 日立市助川小学校*=0.6 石岡市八郷*=0.5 つくば市天王台*=0.5 石岡市石岡*=0.5 土浦市田中*=0.5 石岡市若宮*=0.5 行方市玉造*=0.5 栃木県 2 下野市笹原*=2.1 佐野市高砂町*=2.1 佐野市葛生東*=1.7 佐野市中町*=1.6 壬生町壬生甲*=1.5 下野市田中*=1.5 宇都宮市明保野町=1.5 栃木市岩舟町静*=1.5 1 足利市大正町*=1.4 栃木市藤岡町藤岡*=1.4 小山市神鳥谷*=1.3 小山市中央町*=1.3 日光市足尾町通洞*=1.2 栃木市西方町本城*=1.2 佐野市田沼町*=1.2 鹿沼市晃望台*=1.2 栃木市旭町=1.1 野木町丸林*=1.1 宇都宮市中里町*=1.0 益子町益子=0.9 日光市鬼怒川温泉大原*=0.9 上三川町しらさぎ*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 芳賀町祖母井*=0.8 栃木市大平町富田*=0.8 栃木市都賀町家中*=0.7 鹿沼市口栗野*=0.6 真岡市石島*=0.6 下野市大松山*=0.5 日光市瀬川=0.5 群馬県 2 大泉町日の出*=1.9 桐生市元宿町*=1.6 邑楽町中野*=1.5 板倉町板倉=1.5 1 館林市上三林町*=1.4 太田市西本町*=1.3 桐生市新里町*=1.2 千代田町赤岩*=1.2 群馬明和町新里*=1.1 伊勢崎市東町*=1.1 前橋市粕川町*=1.0 伊勢崎市西久保町*=1.0 みどり市大間々町*=0.9 太田市浜町*=0.9 太田市大原町*=0.9 館林市城町*=0.9 渋川市赤城町*=0.8 沼田市下久屋町*=0.7 藤岡市鬼石*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 みどり市東町*=0.7 桐生市黒保根町*=0.7 沼田市西倉内町=0.6 片品村鎌田*=0.6 前橋市富士見町*=0.6 桐生市錦町=0.6 みどり市笠懸町*=0.5 高崎市吉井町吉井川*=0.5 渋川市吹屋*=0.5 神流町生利*=0.5 埼玉県 2 久喜市下早見=2.2 加須市騎西*=2.1 加須市大利根*=1.9 東松山市松葉町*=1.8 熊谷市江南*=1.7 宮代町笠原*=1.6 加須市北川辺*=1.5 滑川町福田*=1.5 埼玉美里町木部*=1.5 北本市本町*=1.5 長瀬町野上下郷*=1.5 1 嵐山町杉山*=1.4 春日部市粕壁*=1.4 熊谷市桜町=1.3 久喜市青葉*=1.3 久喜市栗橋*=1.3 熊谷市宮町*=1.2 本庄市児玉町=1.2 鴻巣市川里*=1.2 深谷市川本*=1.2 春日部市金崎*=1.2 白岡市千駄野*=1.2 東松山市市ノ川*=1.1 久喜市鷺宮*=1.1 熊谷市妻沼*=1.1 行田市本丸*=1.1 加須市三俣*=1.1 上尾市本町*=1.1 桶川市泉*=1.1 越生町越生*=1.1 秩父市近戸町*=1.1 行田市南河原*=1.0 ときがわ町桃木*=1.0 熊谷市大里*=1.0 坂戸市千代田*=1.0 深谷市仲町*=1.0 小川町大塚*=0.9 久喜市菖蒲*=0.9 皆野町皆野*=0.9 鴻巣市中央*=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.8 さいたま北区宮原*=0.8 さいたま見沼区堀崎*=0.8 埼玉神川町植竹*=0.7 ときがわ町玉川*=0.7 川口市中青木分室*=0.7 羽生市東*=0.7 蓮田市黒浜*=0.7 幸手市東*=0.7 伊奈町中央*=0.7 さいたま大宮区大門*=0.7 長瀬町本野上*=0.7 深谷市普濟寺*=0.6 川島町下八ツ林*=0.6 さいたま西区指扇*=0.6 鳩山町大豆戸=0.6 毛呂山町中央*=0.5 深谷市花園*=0.5 春日部市谷原新田*=0.5 千葉県 東京都 1 野田市鶴奉*=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.6 野田市東宝珠花*=0.5 白井市復*=0.5 1 東京文京区大塚*=0.6 東京千代田区大手町=0.5				
2	1 07 22	橘湾 長崎県	32° 36.3' N	129° 53.1' E	13km	M: 3.0
		1 長崎市元町*=1.0 長崎市布巻町*=0.8				
3	1 07 34	紀伊水道 和歌山県	33° 47.6' N	135° 05.9' E	46km	M: 4.9
		3 湯浅町青木*=3.2 田辺市中辺路町近露=3.2 田辺市中屋敷町*=3.2 白浜町日置*=3.0 みなべ町芝*=2.9 みなべ町土井=2.8 上富田町朝来*=2.8 白浜町消防本部=2.5 2 有田市箕島=2.4 御坊市湯川*=2.4 田辺市龍神村西*=2.3 田辺市中辺路町栗栖川*=2.3 有田市初島町*=2.2 田辺市鮎川*=2.1 和歌山広川町広*=2.1 御坊市齒=2.0 すさみ町周参見*=2.0 由良町里*=2.0 日高川町土生*=2.0 紀美野町下佐々*=2.0 日高川町高津尾*=1.9 有田川町清水*=1.9 那智勝浦町天満*=1.9 古座川町高池=1.9 田辺市本宮町本宮*=1.9 有田川町中井原*=1.8 太地町太地暖海公園*=1.8 日高川町川原河*=1.8 和歌山市一番丁*=1.7 海南市下津*=1.7 かつらぎ町花園梁瀬*=1.7 有田川町下津野*=1.7 太地町役場*=1.6 新宮市熊野川町日足*=1.6 串本町串本*=1.5 和歌山美浜町和田*=1.5 和歌山日高町高家*=1.5 橋本市高野口町名倉*=1.5 和歌山市男野芝丁=1.5 1 紀の川市桃山町元*=1.4 かつらぎ町丁ノ町*=1.3 和歌山印南町印南*=1.3 岩出市西野*=1.3				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		徳島県	新宮市新宮*=1.3 新宮市磐盾*=1.3 串本町潮岬=1.3 橋本市東家*=1.2 高野町高野山中学校=1.2 高野町役場*=1.1 紀の川市粉河=1.1 紀の川市那賀総合センター*=1.0 紀の川市貴志川町神戸*=1.0 紀の川市西大井*=1.0 九度山町九度山*=1.0 紀美野町神野市場*=0.9 北山村大沼*=0.9 海南市南赤坂*=0.7			
		三重県	3 美波町西の地*=2.7 那賀町延野*=2.6 阿南市那賀川町*=2.5 阿南市山口町*=2.5 2 美波町奥河内*=2.4 徳島市大和町=2.3 徳島市津田町*=2.3 石井町高川原*=2.3 阿南市富岡町=2.3 鳴門市鳴門町*=2.2 牟岐町中村*=2.2 那賀町和食*=2.2 鳴門市撫養町（旧2）=2.2 小松島市横須町*=2.1 松茂町広島*=2.0 北島町中村*=2.0 那賀町横石=2.0 那賀町上那賀*=2.0 徳島市新蔵町*=2.0 海陽町奥浦*=2.0 吉野川市川島町*=1.9 海陽町大里*=1.9 吉野川市鴨島町=1.9 美馬市木屋平*=1.8 藍住町奥野*=1.7 那賀町木沢*=1.7 上勝町旭*=1.7 那賀町木頭和無田*=1.6 吉野川市山川町*=1.6 阿波市市場町*=1.6 1 美馬市穴吹町*=1.4 つるぎ町貞光*=1.4 阿南市羽ノ浦町*=1.4 阿波市吉野町*=1.3 徳島三好市西祖谷山村*=1.3 海陽町穴喰浦*=1.3 勝浦町久国*=1.2 神山村神領*=1.2 板野町大寺*=1.2 美馬市美馬町*=1.2 阿波市阿波町*=1.1 美馬市脇野*=1.1 つるぎ町半田*=1.0 阿波市土成町*=1.0 徳島三好市山城町（旧）*=0.9 佐那河内村下*=0.8 上板町七條*=0.8 吉野川市美郷*=0.6 美馬市穴吹ふれスポ公園=0.6 徳島三好市池田町サラダ=0.5 徳島三好市東祖谷*=0.5			
		大阪府	2 熊野市紀和町板屋*=2.2 三重紀北町相賀*=1.9 紀宝町神内*=1.6 熊野市有馬町*=1.6 尾鷲市南陽町=1.5 1 三重御浜町阿田和*=1.4 紀宝町鵜殿*=1.3 尾鷲市中央町*=1.2 尾鷲市南浦*=1.2 熊野市井戸町*=1.1 三重紀北町東長島*=1.0 津市香良洲町*=0.9 伊勢市二見町茶屋*=0.9 名張市鴻之台*=0.8 伊賀市平田*=0.7 伊勢市岩淵*=0.7 伊賀市島ヶ原*=0.7 伊賀市小田町*=0.6 津市安濃町東観音寺*=0.6 伊勢市御園町長屋*=0.6 志摩市浜島町浜島*=0.6 三重大紀町錦*=0.6 津市島崎町=0.5 南伊勢町神前浦*=0.5 伊賀市四十九町*=0.5			
		兵庫県	2 泉南市男里*=1.6 岸和田市畑町*=1.5 1 泉南市消防本部*=1.3 阪南市尾崎町*=1.3 大阪岬町深日*=1.3 能勢町森上*=1.3 泉大津市東雲町*=1.3 忠岡町忠岡東*=1.2 泉佐野市りんくう往来*=1.2 泉佐野市市場*=1.2 岸和田市岸城町=1.1 関西国際空港=1.1 大阪和泉市府中町*=1.1 熊取町野田*=1.0 田尻町嘉祥寺*=1.0 岸和田市役所*=1.0 大阪堺市南区桃山台*=1.0 河内長野市役所*=0.9 大阪堺市堺区市役所*=0.9 貝塚市畠中*=0.8 富田林市高辺台*=0.8 大阪淀川区木川東*=0.7 大阪住之江区御崎*=0.7 富田林市本町=0.7 大東市新町*=0.7 大阪堺市中区深井清水町=0.7 大阪堺市西区鳳東町*=0.7 大阪北区茶屋町*=0.6 八尾市本町*=0.6 千早赤阪村水分*=0.6 松原市阿保*=0.6 大阪東住吉区杭全*=0.6 大阪狭山市狭山*=0.6 大阪福島区福島*=0.5 大阪東淀川区北江口*=0.5 豊中市曾根南町*=0.5 河内長野市清見台*=0.5 大阪堺市美原区黒山*=0.5 2 淡路市久留麻*=2.1 明石市中崎=2.0 淡路市志筑*=2.0 明石市相生*=1.9 南あわじ市湊*=1.8 神戸長田区神楽町*=1.8 南あわじ市福良=1.8 神戸須磨区若草町*=1.7 淡路市富島=1.7 神戸兵庫区上沢通*=1.6 南あわじ市広田*=1.6 神戸兵庫区烏原町*=1.6 淡路市郡家*=1.5 豊岡市城崎町*=1.5 洲本市物部=1.5			
		奈良県	1 豊岡市中央町*=1.4 神戸垂水区王居殿*=1.4 豊岡市桜町=1.3 多可町加美区*=1.3 姫路市豊富*=1.3 南あわじ市北阿万*=1.3 南あわじ市市*=1.3 加古川市志方町*=1.2 神戸西区竹の台*=1.2 三木市福井*=1.1 丹波市柏原町*=1.1 多可町中区*=1.1 姫路市香寺町中屋*=1.1 洲本市山手*=1.1 神戸中央区脇浜=1.1 西宮市平本*=1.1 加古川市加古川町=1.1 芦屋市精道町*=1.0 朝来市和田山町枚田=1.0 兵庫稲美町国岡*=1.0 丹波市春日町*=1.0 朝来市和田山町柳原*=1.0 朝来市山東町*=1.0 神戸北区南五葉*=1.0 豊岡市日高町*=0.9 加西市北条町*=0.9 洲本市五色町都志*=0.9 播磨町東本荘*=0.9 西宮市宮前町=0.8 淡路市岩屋*=0.8 小野市王子町*=0.8 加東市天神*=0.8 三田市下里*=0.8 多可町八千代区*=0.7 加東市社=0.7 姫路市安田*=0.7 宝塚市東洋町*=0.7 三木市細川町=0.7 たつの市御津町*=0.7 赤穂市加里屋*=0.6 淡路市長澤=0.6 高砂市荒井町（旧3）*=0.6 養父市広谷*=0.6 丹波市青垣町*=0.6 神戸灘区八幡町*=0.6 神戸北区藤原台南町*=0.6 福崎町南田原*=0.5 2 天川村洞川=1.6 十津川村小原*=1.6			
		高知県	1 御所市役所*=1.4 吉野町上市*=1.4 宇陀市大宇陀迫間*=1.4 五條市岡口*=1.3 天川村沢谷*=1.2 大淀町桧垣本=1.2 野迫川村北股*=1.1 下北山村寺垣内*=1.1 高取町観覚寺*=1.1 明日香村橋*=1.1 桜井市初瀬=1.0 上北山村河合*=1.0 葛城市柿本*=1.0 田原本町役場*=0.9 桜井市栗殿*=0.9 奈良川上村迫*=0.9 広陵町南郷*=0.8 黒滝村寺戸*=0.8 五條市大塔町辻堂*=0.8 斑鳩町法隆寺西*=0.8 安堵町東安堵*=0.8 香芝市本町*=0.7 三宅町伴堂*=0.7 大和郡山口市北郡山町*=0.7 天理市川原城町*=0.7 東吉野村小川*=0.6 宇陀市榛原下井足*=0.6 樫原市八木町*=0.6 奈良川西町結崎*=0.6 奈良市二条大路南*=0.5 大和高田市野口*=0.5 河合町池部*=0.5 2 高知香南市夜須町坪井*=2.2 田野町役場*=1.8 芸西村和食*=1.8 室戸市浮津*=1.7 東洋町生見*=1.7 高知香南市赤岡支所*=1.7 安芸市西浜=1.6 安芸市矢ノ丸*=1.6 高知市丸ノ内*=1.6			
		静岡県	1 室戸市室戸岬町=1.4 奈半利町役場*=1.4 安田町安田*=1.4 北川村野友*=1.4 高知市本町=1.4 馬路村馬路*=1.3 土佐町土居*=1.3 南国市オオソネ*=1.2 香美市物部町神池=1.1 高知香南市野市町西野*=1.0 本山町本山*=0.9 高知香南市香我美町下分*=0.9 香美市土佐山田町宝町=0.9 高知香南市吉川町吉原*=0.8 香美市土佐山田町岩積*=0.8 香美市物部町大栃*=0.8 大豊町黒石*=0.7 大川村小松*=0.6			
		愛知県	1 静岡菊川市赤土*=0.6			
		滋賀県	1 半田市東洋町*=1.2 田原市福江町=1.0 一宮市緑*=0.5 西尾市一色町=0.5			
		京都府	1 近江八幡市桜宮町=0.9 甲賀市信楽町*=0.8 湖南市中央森北公園*=0.6 1 京丹後市弥栄町溝谷*=1.1 京丹後市峰山町*=0.8 京丹後市久美浜市民局*=0.7 与謝野町加悦*=0.7 福知山市大江町河守*=0.6 京丹後市久美浜町広瀬*=0.6 与謝野町四辻*=0.6 京都西京区大枝*=0.6 亀岡市安町=0.6 久御山町田井*=0.6 南山城村北大河原*=0.5 京丹後市大宮町*=0.5 八幡市八幡*=0.5			

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		鳥取県 岡山県 広島県 香川県 愛媛県	1 鳥取市福部町細川*=0.6 1 真庭市下方*=1.0 真庭市永津*=0.7 玉野市宇野*=0.7 里庄町里見*=0.7 真庭市蒜山下和*=0.6 瀬戸内市長船町*=0.6 岡山北区御津金川*=0.6 岡山南区片岡*=0.6 岡山南区浦安南町*=0.6 倉敷市下津井*=0.5 倉敷市児島小川町*=0.5 総社市小寺*=0.5 赤磐市上市=0.5 浅口市金光町*=0.5 尾道市瀬戸田町*=0.8 江田島市能美町*=0.7 大崎上島町東野*=0.7 神石高原町油木*=0.6 江田島市大柿町*=0.5 1 観音寺市坂本町=1.4 東かがわ市西村=1.3 さぬき市寒川町*=1.2 観音寺市瀬戸町*=1.2 直島町役場*=1.1 さぬき市志度*=1.1 三豊市高瀬町*=1.1 高松市庵治町*=1.0 高松市国分寺町*=1.0 さぬき市長尾総合公園*=1.0 小豆島町池田*=1.0 三豊市豊中町*=0.9 三豊市山本町*=0.9 三豊市三野町*=0.9 三豊市詫間町*=0.9 綾川町山田下*=0.9 高松市扇町*=0.9 東かがわ市湊*=0.9 東かがわ市南野*=0.8 土庄町淵崎=0.8 高松市伏石町=0.7 小豆島町馬木*=0.7 丸亀市綾歌町*=0.5 1 今治市大三島町*=1.3 今治市吉海町*=1.2 今治市大西町*=1.1 今治市上浦町*=0.9 上島町弓削*=0.9 久万高原町久万*=0.8 四国中央市新宮町*=0.6 四国中央市中曾根町*=0.5			
4	1 16 12	福島県中通り 福島県	37° 06.0' N	140° 39.6' E	12km	M: 3.1
		1 いわき市三和町=0.7 小野町中通*=0.6				
5	1 17 40	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 45.0' N	141° 58.1' E	55km	M: 3.6
		1 住田町世田米*=1.1 一関市千厩町*=1.0 釜石市中妻町*=0.8 大船渡市猪川町=0.7 一関市室根町*=0.7 陸前高田市高田町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 大槌町小鍬*=0.5 一関市大東町=0.5 釜石市只越町=0.5 1 石巻市桃生町*=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.0 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7 石巻市北上町*=0.7				
6	2 05 54	千葉県北西部 千葉県 東京都	35° 40.5' N	140° 07.6' E	68km	M: 3.3
		1 千葉花見川区花島町*=0.7 千葉緑区おゆみ野*=0.6 千葉中央区中央港=0.5 1 東京練馬区豊玉北*=0.8				
7	2 10 03	新島・神津島近海 東京都	34° 24.9' N	139° 11.1' E	10km	M: 2.4
		1 新島村本村*=0.7 新島村大原=0.6				
8	2 13 03	石川県能登地方 石川県	37° 26.8' N	137° 11.0' E	10km	M: 2.7
		1 珠洲市正院町*=0.6				
9	2 23 35	和歌山県北部 和歌山県	34° 06.0' N	135° 11.1' E	6km	M: 2.0
		1 有田市初島町*=0.9				
10	3 12 50	奄美大島近海 鹿児島県	28° 05.2' N	129° 21.4' E	39km	M: 2.9
		1 奄美市住用町西仲間*=0.5				
11	3 18 49	宗谷地方北部 北海道	45° 16.5' N	141° 48.8' E	20km	M: 2.3
		1 稚内市沼川*=0.7				
12	3 19 49	新潟県上越地方 新潟県	37° 01.4' N	138° 08.3' E	8km	M: 3.1
		2 上越市安塚区安塚*=2.3 上越市牧区柳島*=2.1 妙高市栄町*=2.1 妙高市田町*=2.0 上越市大手町=1.8 上越市中郷区藤沢*=1.8 上越市中ノ俣=1.7 上越市木田*=1.6 1 上越市板倉区針*=1.4 上越市三和区井ノ口*=1.1 上越市清里区荒牧*=1.1 妙高市関山*=1.1 上越市名立区名立大町*=1.0 上越市浦川原区釜淵*=1.0 上越市吉川区原之町*=0.8 糸魚川市大野*=0.8 上越市頸城区百間町*=0.8 上越市大潟区土底浜*=0.6				
13	3 23 52	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 47.4' N	129° 04.4' E	21km	M: 3.9
		1 南さつま市大浦町*=0.7 鹿児島市喜入町*=0.5				
14	4 05 14	能登半島沖 石川県	37° 31.0' N	137° 12.3' E	9km	M: 2.9
		1 珠洲市大谷町*=1.2				
15	4 17 31	群馬県南部 群馬県	36° 34.5' N	139° 22.9' E	4km	M: 3.1
		2 桐生市黒保根町*=1.9 みどり市東町*=1.5 1 前橋市粕川町*=0.9 前橋市鼻毛石町*=0.7 渋川市赤城町*=0.6				
16	4 22 16	根室半島南東沖 北海道	43° 01.5' N	145° 46.6' E	48km	M: 3.8
		1 根室市瑤瑤瑁*=0.9				
17	4 23 58	紀伊水道 和歌山県	33° 50.9' N	134° 59.2' E	11km	M: 3.3
		1 御坊市湯川*=0.7 御坊市藺=0.6 湯浅町青木*=0.6				
18	5 03 43	天草灘 長崎県	32° 33.0' N	129° 57.3' E	12km	M: 3.0
		1 長崎市元町*=0.7				
19	5 07 15	宗谷地方北部 北海道	45° 00.0' N	141° 57.0' E	9km	M: 2.0
		1 幌延町宮園町*=1.0				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
20	5 13 14	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 48.8' N	140° 54.2' E	12km	M: 3.3
		1 神栖市波崎*=0.7 1 銚子市小畑新町=0.5				
21	5 15 18	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 48.7' N	140° 54.0' E	11km	M: 3.4
		1 神栖市波崎*=0.9 1 銚子市小畑新町=1.0 銚子市若宮町*=0.8 銚子市川口町=0.7				
22	5 17 53	沖縄本島近海 沖縄県	26° 34.0' N	127° 55.2' E	12km	M: 2.8
		1 宜野座村宜野座*=1.2 恩納村恩納*=0.8 名護市港*=0.8 本部町役場*=0.7				
23	5 22 58	新潟県中越地方 長野県	36° 50.5' N	138° 45.1' E	4km	M: 2.5
		1 栄村小赤沢*=0.6				
24	5 23 45	十勝地方中部 北海道	42° 47.8' N	142° 46.3' E	116km	M: 4.0
		2 浦幌町桜町*=2.1 十勝大樹町生花*=1.6 安平町早来北進*=1.5 1 十勝池田町西1条*=1.4 豊頃町茂岩本町*=1.2 芽室町東2条*=1.0 幕別町本町*=0.9 厚真町鹿沼=0.9 千歳市若草*=0.9 帯広市東6条*=0.8 新得町2条*=0.8 幕別町忠類錦町*=0.8 本別町向陽町*=0.8 安平町追分柏が丘*=0.7 本別町北2丁目=0.7 むかわ町穂別*=0.7 平取町振内*=0.6 帯広市東4条=0.6 中札内村東2条*=0.6 十勝大樹町東本通*=0.6 更別村更別*=0.5 新ひだか町静内山手町=0.5				
25	6 02 10	福島県沖 宮城県	37° 49.7' N	141° 37.7' E	56km	M: 5.0
		4 石巻市桃生町*=3.6 3 涌谷町新町裏=3.1 東松島市矢本*=3.1 石巻市大街道南*=2.8 登米市南方町*=2.8 角田市角田*=2.7 登米市米山町（旧）*=2.7 石巻市前谷地*=2.7 東松島市小野*=2.7 登米市迫町*=2.7 利府町利府*=2.7 大崎市田尻*=2.7 丸森町鳥屋*=2.6 宮城美里町木間塚*=2.6 亘理町悠里*=2.5 山元町浅生原*=2.5 大崎市鹿島台*=2.5 2 栗原市築館*=2.4 栗原市志波姫*=2.4 栗原市若柳*=2.4 登米市中田町=2.4 名取市増田*=2.4 登米市石越町*=2.3 大崎市古川三日町=2.3 大崎市古川旭*=2.3 栗原市瀬峰*=2.3 岩沼市桜*=2.3 宮城川崎町前川*=2.3 松島町高城=2.3 七ヶ浜町東宮浜*=2.3 大郷町柏川*=2.3 登米市豊里町*=2.3 石巻市泉町=2.2 石巻市雄勝町*=2.2 大衡村大衡*=2.2 塩竈市今宮町*=2.2 大崎市松山*=2.2 大河原町新南*=2.1 栗原市栗駒=2.1 石巻市北上町*=2.1 蔵王町円田*=2.1 登米市東和町*=2.0 登米市登米町*=2.0 女川町女川*=2.0 栗原市高清水*=2.0 丸森町上滝=2.0 栗原市金成*=2.0 石巻市相野谷*=2.0 栗原市一迫*=2.0 仙台空港=2.0 気仙沼市笹が陣*=2.0 色麻町四竈*=1.9 気仙沼市赤岩=1.9 村田町村田*=1.9 宮城美里町北浦*=1.9 多賀城市中央*=1.9 仙台青葉区大倉=1.9 仙台青葉区作並*=1.9 仙台青葉区落合*=1.9 仙台泉区将監*=1.9 富谷市富谷*=1.9 仙台市古川大崎=1.9 仙台宮城野区苦竹*=1.8 仙台若林区遠見塚*=1.8 仙台太白区山田*=1.8 大崎市三本木*=1.8 大和町吉岡*=1.8 白石市亘理町*=1.8 宮城加美町中新田*=1.8 気仙沼市唐桑町*=1.8 柴田町船岡=1.8 石巻市鮎川浜*=1.6 登米市津山町*=1.6 仙台宮城野区五輪=1.6 南三陸町歌津*=1.5 石巻市大瓜=1.5 栗原市鷺沢*=1.5 1 宮城加美町小野田*=1.4 栗原市花山*=1.4 七ヶ宿町関*=1.3 仙台青葉区雨宮*=1.3 気仙沼市本吉町津谷*=1.3 大崎市鳴子*=1.2 大崎市岩出山*=1.1 宮城加美町宮崎*=1.0 気仙沼市本吉町西川内=0.8 南三陸町志津川=0.7 福島県 3 新地町谷地小屋*=2.8 福島伊達市霊山町*=2.7 田村市大越町*=2.5 相馬市中村*=2.5 2 大熊町大川原*=2.4 国見町藤田*=2.3 双葉町長塚*=2.2 飯館村伊丹沢*=2.2 南相馬市鹿島区西町*=2.2 福島市五老内町*=2.1 玉川村小高*=2.1 田村市船引町=2.1 浅川町浅川*=2.0 田村市常葉町*=2.0 福島伊達市梁川町*=2.0 福島伊達市保原町*=2.0 本宮市白岩*=2.0 南相馬市原町区三島町=2.0 二本松市油井*=1.9 二本松市針道*=1.9 桑折町谷地*=1.9 福島伊達市前川原*=1.9 福島伊達市月館町*=1.9 本宮市本宮*=1.9 檜葉町北田*=1.9 川内村下川内=1.9 浪江町幾世橋=1.9 福島市花園町=1.9 田村市都路町*=1.8 福島市桜木町*=1.8 郡山市朝日=1.8 白河市新白河*=1.8 須賀川市岩瀬支所*=1.8 天栄村下松本*=1.8 泉崎村泉崎*=1.8 南相馬市原町区高見町*=1.8 南相馬市小高区*=1.8 福島広野町下北迫大谷地原*=1.7 須賀川市八幡山*=1.7 二本松市金色*=1.7 郡山市開成*=1.7 小野町中通*=1.6 川俣町五百田*=1.6 郡山市湖南町*=1.5 鏡石町不時沼*=1.5 白河市大信*=1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 いわき市三和町=1.5 石川町長久保*=1.5 富岡町本岡*=1.5 川内村上川内早渡*=1.5 古殿町松川新桑原*=1.5 小野町小野新町*=1.5 葛尾村落合落合*=1.5 南相馬市鹿島区栲窪=1.5 田村市滝根町*=1.5 1 福島市飯野町*=1.4 須賀川市八幡町*=1.4 福島広野町下北迫苗代替*=1.4 大熊町野上*=1.4 南相馬市原町区本町*=1.4 白河市郭内=1.3 白河市表郷*=1.3 大玉村玉井*=1.3 矢吹町一本木*=1.2 いわき市平梅本*=1.2 白河市東*=1.2 川内村上川内小山平*=1.2 大玉村南小屋=1.2 平田村永田*=1.1 いわき市平四ツ波*=1.1 いわき市錦町*=1.0 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.9 矢祭町戸塚*=0.8 矢祭町東館*=0.8 三春町大町*=0.8 いわき市小名浜=0.8 二本松市小浜*=0.7 古殿町松川横川=0.6 岩手県 2 一関市千厩町*=2.1 一関市花泉町*=2.0 一関市藤沢町*=2.0 一関市室根町*=1.9 住田町世田米*=1.7 一関市東山町*=1.7 大船渡市大船渡町=1.6 奥州市前沢*=1.6 普代村銅屋（旧2）*=1.5 奥州市胆沢*=1.5 奥州市衣川*=1.5 釜石市中妻町*=1.5 平泉町平泉*=1.5 1 盛岡市薮川*=1.4 矢巾町南矢幅*=1.4 北上市相去町*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 一関市大東町=1.4 一関市竹山町*=1.4 花巻市東和町（旧4）*=1.3 陸前高田市高田町*=1.2 一関市川崎町*=1.2 金ヶ崎町西根（旧）*=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.1 奥州市江刺*=1.0 北上市柳原町=1.0 盛岡市山王町=1.0 宮古市五月町*=1.0 宮古市田老*=1.0 花巻市大迫町=1.0 大槌町小鎗*=1.0 盛岡市洺民*=0.9 宮古市区界*=0.9 奥州市水沢大鐘町=0.9 久慈市枝成沢=0.9 山田町大沢*=0.9				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		大船渡市猪川町=0.9 奥州市水沢佐倉河*=0.8 釜石市只越町=0.8 山田町八幡町=0.8 八幡平市田頭*=0.7 宮古市川井*=0.7 大船渡市盛町*=0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.7 久慈市川崎町=0.6 盛岡市馬場町*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.1 八戸市南郷*=1.0 青森南部町苫米地*=0.8 五戸町古館=0.7 秋田県 1 大仙市高梨*=0.9 山形県 1 中山町長崎*=1.4 米沢市林泉寺*=1.1 山形川西町上小松*=1.1 米沢市アルカディア=1.0 最上町向町*=1.0 天童市老野森*=1.0 山辺町緑ヶ丘*=1.0 白鷹町荒砥*=0.9 新庄市東谷地田町=0.9 戸沢村古口*=0.9 東根市中央*=0.9 河北町吉田=0.9 西川町大井沢*=0.9 村山市中央*=0.8 尾花沢市若葉町*=0.8 南陽市三間通*=0.8 高畠町高畠*=0.7 山形小国町岩井沢=0.7 上山市河崎*=0.7 米沢市駅前=0.7 長井市本町*=0.6 寒河江市西根*=0.6 大江町左沢*=0.6 舟形町舟形*=0.6 大石田町緑町*=0.6 白鷹町黒鴨=0.6 大蔵村肘折*=0.6 河北町役場*=0.6 米沢市金池*=0.6 山形市薬師町*=0.5 大蔵村清水*=0.5 寒河江市中央*=0.5 鮭川村佐渡*=0.5 茨城県 1 大子町池田*=1.3 日立市助川小学校*=1.2 日立市十王町友部*=1.1 笠間市石井*=1.1 東海村東海*=1.1 水戸市内原町*=1.0 日立市役所*=1.0 笠間市中央*=0.9 那珂市瓜連*=0.9 土浦市常名=0.9 水戸市千波町*=0.8 水戸市栗崎町*=0.8 笠間市笠間*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.7 北茨城市磯原町*=0.7 常陸大宮市北町*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 城里町石塚*=0.7 石岡市柿岡=0.7 桜川市真壁*=0.7 水戸市金町=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 笠間市下郷*=0.5 石岡市若宮*=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.2 大田原市湯津上*=1.1 栃木那珂川町小川*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 益子町益子=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.6				
26	6 14 50	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.5	37° 01.6' N	139° 22.1' E	6km	M: 1.2
27	6 16 46	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=0.9 志布志市志布志町志布志=0.9 錦江町田代支所*=0.8	31° 11.6' N	131° 28.6' E	39km	M: 3.5
28	7 05 35	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.1 大熊町大川原*=1.1	37° 15.2' N	141° 27.4' E	45km	M: 3.6
29	7 08 53	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8	29° 56.4' N	129° 59.9' E	12km	M: 2.8
30	7 12 55	トカラ列島近海 鹿児島県 3 鹿児島十島村中之島徳之尾=3.0 鹿児島十島村口之島出張所*=2.8 1 鹿児島十島村中之島出張所*=1.3 鹿児島十島村悪石島*=0.9	29° 56.4' N	130° 00.2' E	12km	M: 4.1
31	7 13 43	新潟県中越地方 新潟県 3 十日町市下条*=3.0 2 十日町市水口沢*=1.5 1 十日町市上山*=1.3 小千谷市旭町*=0.7 長岡市小国町法坂*=0.7 長岡市東川口*=0.6 十日町市千歳町*=0.6 小千谷市城内=0.6 南魚沼市塩沢小学校*=0.5	37° 12.0' N	138° 48.4' E	9km	M: 3.1
32	7 14 15	群馬県北部 群馬県 1 片品村鎌田*=0.7	36° 43.2' N	139° 20.4' E	7km	M: 2.3
33	7 18 59	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*=0.6	34° 13.1' N	135° 10.1' E	5km	M: 2.1
34	8 11 04	岐阜県飛騨地方 岐阜県 3 高山市高根町*=2.6 1 下呂市小坂町*=0.9 下呂市下呂小学校*=0.7 下呂市萩原町*=0.7 下呂市馬瀬*=0.6 郡上市八幡町旭*=0.5 長野県 2 木曽町開田高原西野*=1.5 1 王滝村鈴ヶ沢*=1.0 王滝村役場*=0.9 木曽町新開*=0.6	35° 59.4' N	137° 31.9' E	5km	M: 3.3
35	8 11 07	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=0.9	35° 59.3' N	137° 31.9' E	5km	M: 2.5
36	8 11 24	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 56.4' N	129° 59.8' E	12km	M: 2.3
37	8 14 51	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.9	37° 04.6' N	139° 21.4' E	8km	M: 2.4
38	8 16 52	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6	29° 56.6' N	130° 00.5' E	10km	M: 2.6
39	8 17 16	択捉島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑁*=0.6 標津町北2条*=0.5	44° 36.7' N	149° 24.2' E	30km F	M: 4.9

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
40	8 22 51	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.6 茨城鹿嶋市宮中※=0.5	36° 14.6′ N	141° 08.0′ E	29km	M: 3.6
41	9 17 53	福島県沖 宮城県 1 角田市角田※=0.5 福島県 1 田村市船引町=0.6	37° 42.4′ N	141° 34.8′ E	55km	M: 3.7
42	9 19 30	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 南阿蘇村中松=1.7 1 阿蘇市一の宮町※=1.3 阿蘇市内牧※=1.1 菊陽町久保田※=0.6 西原村小森※=0.5	32° 54.2′ N	131° 02.4′ E	6km	M: 2.9
43	9 19 56	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8	29° 56.6′ N	130° 00.2′ E	11km	M: 2.6
44	9 23 53	網走地方 北海道 2 羅臼町岬町※=1.7 斜里町ウトロ香川※=1.5 1 羅臼町緑町※=1.2	44° 05.6′ N	145° 07.7′ E	0km	M: 3.0
45	10 07 59	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑁※=1.4	43° 16.6′ N	146° 03.3′ E	49km	M: 3.9
46	10 10 00	神奈川県西部 東京都 3 東京千代田区大手町=2.8 町田市本町田※=2.6 2 東京大田区多摩川※=2.3 西東京市中町※=2.2 東京中野区中野※=2.2 東京世田谷区三軒茶屋※=2.0 東京千代田区麴町※=1.9 東京港区海岸=1.9 東京品川区北品川※=1.9 東京国際空港=1.9 東京杉並区桃井※=1.9 東京北区西ヶ原※=1.9 東京練馬区豊玉北※=1.9 調布市西つつじヶ丘※=1.9 東京新宿区百人町※=1.8 東京府中市朝日町※=1.8 東京渋谷区本町※=1.8 小平市小川町※=1.8 東京世田谷区世田谷※=1.7 国分寺市泉町※=1.7 あきる野市伊奈※=1.7 東京江東区青海=1.7 東京品川区平塚※=1.7 東京練馬区東大泉※=1.7 三鷹市野崎※=1.7 東京大田区本羽田※=1.7 東京中央区勝どき※=1.7 東京文京区大塚※=1.6 東京江東区越中島※=1.6 昭島市田中町※=1.6 町田市忠生※=1.6 日野市神明※=1.6 東大和市中央※=1.6 東京世田谷区中町※=1.6 東京港区白金※=1.6 町田市森野※=1.5 東京世田谷区成城※=1.5 東京渋谷区宇田川町※=1.5 東京江東区枝川※=1.5 東京江戸川区中央=1.5 東京千代田区富士見※=1.5 1 東京中央区築地※=1.4 東京新宿区上落合※=1.4 東京新宿区歌舞伎町※=1.4 東京文京区スポーツセンタ※=1.4 東京練馬区光が丘※=1.4 東京江戸川区船堀※=1.4 八王子市堀之内※=1.4 東京新宿区西新宿=1.3 東京文京区本郷※=1.3 東京品川区広町※=1.3 小金井市本町※=1.3 青梅市日向和田※=1.3 東京大田区蒲田※=1.2 東京大田区大森東※=1.2 東京杉並区阿佐谷=1.2 東京杉並区高井戸※=1.2 東京葛飾区立石※=1.2 東京江戸川区鹿骨※=1.2 武蔵野市吉祥寺東町※=1.2 国分寺市戸倉=1.2 青梅市東青梅=1.2 東京中央区日本橋兜町※=1.2 東京足立区伊興※=1.1 八王子市大横町=1.1 武蔵野市緑町※=1.1 東京府中市寿町※=1.1 東村山市本町※=1.1 東村山市美住町※=1.1 狛江市和泉本町※=1.1 稲城市東長沼※=1.1 東京港区芝公園※=1.1 東京江東区森下※=1.1 東京荒川区東尾久※=1.1 東京板橋区相生町※=1.1 東京足立区神明南※=1.1 東京中野区江古田※=1.0 東京北区赤羽南※=1.0 東京葛飾区金町※=1.0 多摩市関戸※=1.0 東京荒川区荒川※=0.9 調布市小島町※=0.9 東京港区南青山※=0.9 清瀬市中里※=0.9 清瀬市中清戸（旧2）※=0.9 東京台東区東上野※=0.9 東京江東区東陽※=0.9 檜原村本宿※=0.9 東京板橋区高島平※=0.8 日の出町平井※=0.8 東京足立区千住中居町※=0.8 東京豊島区南池袋※=0.8 東京墨田区吾妻橋※=0.7 東京墨田区東向島※=0.7 武蔵村山市本町※=0.7 羽村市緑ヶ丘※=0.6 神奈川県 3 厚木市中町※=2.6 愛川町角田※=2.6 相模原緑区中野※=2.6 2 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=2.4 横浜港北区日吉本町※=2.4 川崎川崎区宮前町※=2.4 藤沢市長後※=2.4 海老名市大谷※=2.4 横浜神奈川区神大寺※=2.3 川崎中原区小杉町※=2.3 綾瀬市深谷中※=2.2 清川村煤ヶ谷※=2.2 横浜港北区綱島西※=2.1 藤沢市辻堂西海岸※=2.0 相模原中央区水郷田名※=2.0 相模原緑区橋本※=2.0 横浜戸塚区鳥が丘※=1.9 横浜緑区鴨居※=1.9 秦野市菅屋=1.9 相模原緑区大島※=1.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.8 寒川町宮山※=1.8 横浜栄区小菅ヶ谷※=1.8 横浜泉区和泉町※=1.8 川崎中原区小杉陣屋町=1.8 横須賀市坂本町※=1.7 横浜都筑区池辺町※=1.7 横浜旭区上白根町※=1.6 川崎幸区戸手本町※=1.6 藤沢市打戻※=1.6 大磯町月京※=1.6 横浜鶴見区末広町※=1.6 厚木市下津古久※=1.6 横浜旭区今宿東町※=1.6 川崎川崎区千鳥町※=1.5 川崎宮前区宮前平※=1.5 川崎宮前区野川※=1.5 平塚市浅間町※=1.5 横浜神奈川区広台太田町※=1.5 二宮町中里※=1.5 横浜緑区十日市場町※=1.5 横浜瀬谷区中屋敷※=1.5 相模原緑区久保沢※=1.5 横浜瀬谷区三ツ境※=1.5 横浜栄区桂台南※=1.5 1 横浜鶴見区鶴見※=1.4 横浜中区山手町=1.4 横浜保土ヶ谷区神戸町※=1.4 横浜磯子区磯子※=1.4 横浜金沢区益利谷南※=1.4 横浜港北区大倉山※=1.4 横浜戸塚区戸塚町※=1.4 横浜都筑区茅ヶ崎※=1.4 藤沢市大庭※=1.4 中井町比奈窪※=1.4 横浜鶴見区馬場※=1.3 横浜中区山下町※=1.3 横浜港南区野庭町※=1.3 三浦市城山町※=1.3 大和市下鶴間※=1.3 座間市相武台※=1.3 秦野市平沢※=1.3 川崎川崎区中島※=1.2 鎌倉市御成町※=1.2 伊勢原市伊勢原※=1.2 南足柄市関本※=1.2 神奈川大井町金子※=1.2 相模原緑区小淵※=1.2 横浜磯子区洋光台※=1.1 横浜旭区大池町※=1.1 横浜泉区岡津町※=1.1 川崎高津区下作延※=1.1 川崎多摩区登戸※=1.1 小田原市荻窪※=1.1 湯河原町中央=1.1 相模原南区磯部※=1.1 川崎麻生区片平※=1.0 横須賀市光の丘=1.0 藤沢市朝日町※=1.0 横浜青葉区榎が丘※=0.9 箱根町湯本※=0.9 横浜西区みなとみらい※=0.9 山北町山北※=0.8 相模原緑区若柳=0.7 横浜港南区丸山台北部※=0.7 逗子市桜山※=0.7 小田原市久野=0.6 茨城県 2 坂東市岩井=1.9 水戸市内原町※=1.9 茨城古河市下大野※=1.7 笠間市石井※=1.6 笠間市中央※=1.5 1 坂東市馬立※=1.4 筑西市門井※=1.4 つくばみらい市福田※=1.4 つくばみらい市加藤※=1.3	35° 31.6′ N	139° 26.4′ E	105km	M: 4.2

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		取手市井野＊=1.3 筑西市舟生=1.3 つくば市小茎＊=1.3 常総市水海道諏訪町＊=1.2 守谷市大柏＊=1.2 取手市寺田＊=1.2 笠間市笠間＊=1.2 龍ヶ崎市役所＊=1.2 筑西市二木成＊=1.2 石岡市若宮＊=1.1 笠間市下郷＊=1.1 日立市十王町友部＊=1.1 桜川市真壁＊=1.1 常総市新石下＊=1.1 茨城町小堤＊=1.1 小美玉市堅倉＊=1.1 土浦市常名=1.1 石岡市柿岡=1.1 坂東市山＊=1.1 桜川市岩瀬＊=1.0 つくば市天王台＊=1.0 石岡市石岡＊=1.0 下妻市鬼怒＊=1.0 取手市藤代＊=1.0 常陸大宮市野口＊=0.9 茨城古河市仁連＊=0.9 つくば市研究学園＊=0.9 下妻市本城町（旧）＊=0.9 五霞町小福田＊=0.9 城里町石塚＊=0.9 常陸大宮市北町＊=0.9 石岡市八郷＊=0.9 坂東市役所＊=0.9 小美玉市小川＊=0.8 土浦市藤沢＊=0.8 常陸大宮市山方＊=0.8 日立市助川小学校＊=0.7 かすみがうら市上土田＊=0.7 牛久市中央＊=0.7 筑西市海老ヶ島＊=0.7 桜川市羽田＊=0.7 水戸市千波町＊=0.6 稲敷市江戸崎＊=0.6 利根町布川=0.6 2 下野市田中＊=1.9 宇都宮市明保野町=1.8 下野市笹原＊=1.7 佐野市高砂町＊=1.6 壬生町壬生甲＊=1.6 栃木市岩舟町静＊=1.6 真岡市石島＊=1.5 野木町丸林＊=1.5 1 鹿沼市晃望台＊=1.4 足利市大正町＊=1.3 佐野市田沼町＊=1.3 宇都宮市中岡本町＊=1.2 栃木市藤岡町藤岡＊=1.2 小山市神鳥谷＊=1.2 上三川町しらさぎ＊=1.2 栃木市大平町富田＊=1.1 栃木市旭町=1.1 高根沢町石末＊=1.0 佐野市中町＊=1.0 益子町益子=1.0 栃木市西方町本城＊=0.9 佐野市葛生東＊=0.9 宇都宮市中里町＊=0.9 宇都宮市旭＊=0.8 栃木市万町＊=0.8 小山市中央町＊=0.8 茂木町茂木＊=0.7 日光市足尾町中才＊=0.7 宇都宮市塙田＊=0.7 芳賀町祖母井＊=0.6 真岡市田町＊=0.6 鹿沼市口栗野＊=0.6 2 桐生市黒保根町＊=1.6 邑楽町中野＊=1.6 1 大泉町日の出＊=1.4 渋川市赤城町＊=1.2 前橋市粕川町＊=1.1 板倉町板倉=1.1 桐生市元宿町＊=1.0 太田市西本町＊=1.0 千代田町赤岩＊=1.0 みどり市東町＊=1.0 桐生市新里町＊=0.9 安中市安中＊=0.8 神流町生利＊=0.8 沼田市白沢町＊=0.8 高崎市吉井町吉井川＊=0.8 太田市粕川町＊=0.7 渋川市吹屋＊=0.7 沼田市西倉内町=0.7 桐生市錦町=0.6 神流町神ヶ原＊=0.6 群馬明和町新里＊=0.6 沼田市下久屋町＊=0.6 館林市城町＊=0.6 藤岡市鬼石＊=0.6 甘楽町小幡＊=0.5 伊勢崎市境＊=0.5 伊勢崎市東町＊=0.5 富岡市七日市=0.5 2 狭山市入間川＊=2.1 熊谷市大里＊=1.9 越生町越生＊=1.7 春日部市粕壁＊=1.6 春日部市谷原新田＊=1.6 富士見市鶴馬＊=1.6 さいたま緑区中尾＊=1.6 越谷市越ヶ谷＊=1.5 東松山市松葉町＊=1.5 ときがわ町桃木＊=1.5 宮代町笠原＊=1.5 川口市中青木分室＊=1.5 春日部市金崎＊=1.4 吉川市きよみ野＊=1.4 川島町下八ツ林＊=1.4 埼玉三芳町藤久保＊=1.3 さいたま北区宮原＊=1.3 さいたま南区別所＊=1.3 ふじみ野市福岡＊=1.3 熊谷市江南＊=1.3 加須市大利根＊=1.3 本庄市児玉町=1.3 東松山市市ノ川＊=1.2 鴻巣市吹上富士見＊=1.2 久喜市下早見=1.2 嵐山町杉山＊=1.2 吉見町下細谷＊=1.2 川口市三ツ和＊=1.2 志木市中宗岡＊=1.2 新座市野火止＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2 鴻巣市中央＊=1.1 深谷市川本＊=1.1 久喜市菖蒲＊=1.1 ときがわ町玉川＊=1.1 川越市旭町=1.1 所沢市北有楽町＊=1.1 蕨市中央＊=1.1 朝霞市本町＊=1.1 三郷市中央＊=1.1 毛呂山町中央＊=1.1 熊谷市妻沼＊=1.1 加須市騎西＊=1.1 さいたま見沼区堀崎＊=1.1 さいたま桜区道場＊=1.0 白岡市千駄野＊=1.0 飯能市名栗＊=1.0 草加市中央＊=1.0 和光市広沢＊=1.0 桶川市泉＊=1.0 幸手市東＊=1.0 鶴ヶ島市三ツ木＊=1.0 滑川町福田＊=1.0 伊奈町中央＊=1.0 小川町大塚＊=1.0 埼玉美里町木部＊=1.0 さいたま大宮区大門＊=1.0 さいたま中央区下落合＊=1.0 上尾市本町＊=0.9 深谷市仲町＊=0.9 入間市豊岡＊=0.9 久喜市青葉＊=0.9 ふじみ野市大井＊=0.9 秩父市上町=0.9 長瀬町野上下郷＊=0.9 北本市本町＊=0.9 坂戸市千代田＊=0.9 行田市南河原＊=0.9 戸田市上戸田＊=0.8 久喜市栗橋＊=0.8 加須市北川辺＊=0.8 東秩父村御堂＊=0.8 深谷市花園＊=0.8 熊谷市桜町=0.8 熊谷市宮町＊=0.8 埼玉神川町植竹＊=0.7 行田市本丸＊=0.7 秩父市近戸町＊=0.7 秩父市荒川＊=0.7 横瀬町横瀬＊=0.7 皆野町皆野＊=0.7 久喜市鷲宮＊=0.7 さいたま西区指扇＊=0.7 鴻巣市川里＊=0.7 蓮田市黒浜＊=0.6 日高市南平沢＊=0.6 松伏町松伏＊=0.5 秩父市熊木町＊=0.5 さいたま浦和区常盤＊=0.5 寄居町寄居＊=0.5 長瀬町本野上＊=0.5 鳩山町大豆戸=0.5 2 木更津市富士見＊=2.3 市川市大町＊=2.1 浦安市日の出=2.1 野田市鶴奉＊=2.0 印西市大森＊=1.9 館山市長須賀=1.8 市原市姉崎＊=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.7 南房総市谷向＊=1.6 習志野市鷺沼＊=1.5 印西市笠神＊=1.5 白井市復＊=1.5 南房総市富浦町青木＊=1.5 1 松戸市西馬橋＊=1.4 柏市旭町=1.4 柏市柏＊=1.4 八千代市大和田新田＊=1.4 我孫子市我孫子＊=1.4 浦安市猫実＊=1.4 館山市北条＊=1.3 南房総市白浜町白浜＊=1.3 南房総市岩糸＊=1.3 千葉花見川区花島町＊=1.3 市川市本行徳＊=1.3 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.3 流山市平和台＊=1.3 船橋市湊町＊=1.2 鋸南町下佐久間＊=1.2 柏市大島田＊=1.1 印西市美瀬＊=1.1 千葉美浜区ひび野=1.0 君津市久留里市場＊=1.0 君津市久保＊=1.0 富津市下飯野＊=1.0 四街道市鹿渡＊=0.9 千葉緑区おゆみ野＊=0.9 市川市八幡＊=0.9 野田市東宝珠花＊=0.9 長南町総合グラウンド=0.8 山武市埴谷＊=0.8 木更津市太田=0.8 千葉稲毛区園生町＊=0.8 東金市日吉台＊=0.7 千葉中央区中央港=0.7 千葉若葉区小倉台＊=0.7 南房総市千倉町瀬戸＊=0.7 鴨川市八色=0.5 鴨川市横渚＊=0.5 南房総市上堀=0.5 千葉美浜区稲毛海岸＊=0.5 多古町多古=0.5 2 上野原市役所＊=2.0 大月市御太刀＊=1.7 山梨北杜市長坂町＊=1.6 1 甲州市塩山上於曽＊=1.3 大月市大月=1.2 山梨市牧丘町窪平＊=0.9 山梨北杜市大泉町＊=0.9 山梨市小原西＊=0.8 甲州市役所＊=0.8 上野原市四方津=0.8 山中湖村山中＊=0.8 富士河口湖町長浜＊=0.8 丹波山村丹波＊=0.8 笛吹市境川町藤堂＊=0.7 笛吹市春日居町寺本＊=0.7 山梨北杜市高根町＊=0.7 甲州市大和町初鹿野＊=0.7 甲州市勝沼町勝沼＊=0.7 富士川町鯉沢＊=0.7 上野原市秋山＊=0.7 富士河口湖町船津=0.7 小菅村小菅小学校＊=0.7 甲州市塩山下於曽=0.6 甲府市飯田=0.5 甲府市相生＊=0.5 山梨北杜市健康ランド須玉＊=0.5 1 小海町豊里＊=1.1 佐久市中込＊=0.9 長野南牧村海ノ口＊=0.8 佐久穂町高野町＊=0.8 長野川上村大深山＊=0.7 佐久市下小田切=0.6 1 熱海市泉＊=1.0 東伊豆町奈良本＊=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡＊=0.7 熱海市網代=0.5				
47	10 10 54	土佐湾 高知県	33° 31.2' N	133° 43.2' E	30km	M: 4.3
		3 室戸市浮津＊=2.8 2 香美市香北町美良布＊=2.3 安芸市西浜=2.1 高知香南市吉川町吉原＊=2.1 高知香南市夜須町坪井＊=2.1				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		香美市物部町大栃＊=2.1 香美市土佐山田町岩積＊=1.9 安田町安田＊=1.8 田野町役場＊=1.8 大川村小松＊=1.7 安芸市矢ノ丸＊=1.7 高知香南市野市町西野＊=1.7 芸西村和食＊=1.7 香美市物部町神池=1.6 南国市オオソネ＊=1.6 東洋町生見＊=1.5 高知香南市香我美町下分＊=1.5 奈半利町役場＊=1.5 1 土佐町土居＊=1.4 高知市丸ノ内＊=1.3 日高村本郷＊=1.3 高知香南市赤岡支所＊=1.3 香美市土佐山田町宝町=1.3 室戸市室戸岬町=1.2 高知市本町=1.2 室戸市吉良川町=1.1 北川村野友＊=1.0 本山町本山＊=1.0 大豊町高須＊=1.0 土佐市蓮池＊=0.9 大豊町黒石＊=0.7 いの町長沢＊=0.7 四万十町大正＊=0.6 兵庫県 2 南あわじ市福良=1.5 1 南あわじ市広田＊=0.9 洲本市物部=0.9 南あわじ市市＊=0.7 淡路市志筑＊=0.6 赤穂市加里屋＊=0.5 上郡町大持＊=0.5 広島県 2 尾道市向島町＊=1.8 1 尾道市因島土生町＊=1.3 尾道市瀬戸田町＊=1.3 福山市内海町＊=1.2 呉市安浦町＊=1.2 府中町大通り＊=1.2 尾道市久保＊=1.2 三原市本郷南＊=1.1 三原市円一町=1.1 尾道市御調町＊=1.1 三原市久井町＊=1.1 竹原市中央＊=1.0 呉市二河町＊=1.0 呉市下蒲刈町＊=0.9 大崎上島町木江＊=0.9 大崎上島町東野＊=0.9 福山市松永町=0.9 福山市神辺町＊=0.8 呉市広＊=0.8 呉市川尻町＊=0.8 安芸高田市向原町＊=0.8 呉市豊町＊=0.8 東広島市黒瀬町=0.8 東広島市西条栄町＊=0.8 神石高原町油木＊=0.7 安芸高田市向原町長田＊=0.7 大崎上島町中野＊=0.7 呉市音戸町＊=0.7 江田島市大柿町＊=0.6 世羅町東神崎＊=0.5 江田島市能美町＊=0.5 徳島県 2 那賀町和食＊=2.2 美馬市木屋平＊=2.1 徳島三好市池田町サラダ=1.9 神山町神領＊=1.8 那賀町木頭和無田＊=1.8 吉野川市川島町＊=1.8 阿南市山口町＊=1.7 那賀町上那賀＊=1.6 石井町高川原＊=1.5 吉野川市山川町＊=1.5 1 つるぎ町半田＊=1.4 東みよし町加茂＊=1.4 牟岐町中村＊=1.4 那賀町延野＊=1.4 海陽町奥浦＊=1.3 徳島三好市三野町＊=1.3 美馬市穴吹町＊=1.3 美波町西の地＊=1.2 海陽町大里＊=1.2 つるぎ町貞光＊=1.2 徳島三好市山城町（旧）＊=1.2 板野町大寺＊=1.2 海陽町安喰浦＊=1.1 鳴門市鳴門町＊=1.1 徳島三好市西祖谷山村＊=1.1 美馬市穴吹ふれスポ公園=1.1 吉野川市鴨島町=1.0 東みよし町昼間＊=1.0 徳島市大和町=1.0 徳島市津田町＊=1.0 徳島三好市池田中学校＊=1.0 佐那河内村下＊=0.9 藍住町奥野＊=0.9 美波町奥河内＊=0.9 阿波市阿波町＊=0.9 鳴門市撫養町（旧2）=0.9 美馬市脇町=0.8 阿波市吉野町＊=0.8 徳島三好市東祖谷＊=0.8 阿南市那賀川町＊=0.8 上勝町旭＊=0.8 那賀町横石=0.7 吉野川市美郷＊=0.6 徳島三好市井川町＊=0.6 美馬市美馬町＊=0.6 勝浦町久国＊=0.5 阿波市市場町＊=0.5 香川県 2 観音寺市瀬戸町＊=2.0 綾川町山田下＊=1.7 高松市香川町＊=1.5 三豊市詫間町＊=1.5 1 高松市国分寺町＊=1.4 さぬき市志度＊=1.4 高松市牟礼町＊=1.3 土庄町湊崎=1.3 さぬき市長尾総合公園＊=1.3 さぬき市寒川町＊=1.3 小豆島町池田＊=1.3 観音寺市豊浜町＊=1.3 三豊市豊中町＊=1.3 三豊市仁尾町＊=1.3 琴平町榎井＊=1.2 高松市扇町＊=1.2 三豊市高瀬町＊=1.2 高松市香南町＊=1.2 坂出市久米町＊=1.1 多度津町家中=1.1 三豊市三野町＊=1.1 観音寺市大野原町＊=1.0 東かがわ市湊＊=1.0 三豊市財田町＊=1.0 直島町役場＊=1.0 東かがわ市西村=0.9 まんのう町吉野下＊=0.9 綾川町滝宮＊=0.9 三木町氷上＊=0.9 丸亀市新田町＊=0.9 丸亀市綾歌町＊=0.9 丸亀市飯山町＊=0.9 高松市伏石町=0.9 高松市庵治町＊=0.9 高松市番町＊=0.8 三豊市山本町＊=0.8 まんのう町生間＊=0.8 高松空港=0.7 宇多津町役場＊=0.7 高松市塩江町＊=0.7 丸亀市大手町＊=0.7 東かがわ市南野＊=0.5 小豆島町馬木＊=0.5 愛媛県 2 上島町弓削＊=2.0 今治市吉海町＊=2.0 今治市上浦町＊=1.7 今治市大西町＊=1.6 今治市大三島町＊=1.6 西条市新田＊=1.6 今治市宮窪町＊=1.6 1 今治市波方町＊=1.3 今治市伯方町＊=1.3 今治市菊間町＊=1.2 西条市丹原町鞍瀬=1.2 四国中央市金生町＊=1.2 西条市小松町＊=1.1 上島町生名＊=1.1 東温市南方＊=1.1 上島町魚島＊=1.0 久万高原町久万＊=0.9 四国中央市新宮町＊=0.8 松山市北条辻＊=0.8 今治市南宝来町二丁目=0.8 今治市朝倉北＊=0.8 四国中央市中曾根町＊=0.7 宇和島市丸穂＊=0.6 和歌山県 1 御坊市湯川＊=0.8 日高川町土生＊=0.6 島根県 1 川本町川本＊=0.5 岡山県 1 倉敷市児島小川町＊=1.1 浅口市天草公園=1.0 里庄町里見＊=1.0 倉敷市下津井＊=0.9 倉敷市船穂町＊=0.9 笠岡市笠岡＊=0.9 倉敷市真備町＊=0.8 倉敷市新田=0.8 岡山北区御津金川＊=0.8 玉野市宇野＊=0.8 倉敷市沖＊=0.7 岡山南区片岡＊=0.7 岡山南区浦安南町＊=0.7 笠岡市殿川＊=0.6 浅口市金光町＊=0.6 備前市東片上＊=0.6 和気町矢田＊=0.6 早島町前潟＊=0.6 矢掛町矢掛＊=0.5 瀬戸内市長船町＊=0.5 岡山美咲町久木＊=0.5 浅口市鴨方町＊=0.5 井原市井原町＊=0.5 総社市清音軽部＊=0.5 和気町尺所＊=0.5 倉敷市白楽町＊=0.5 山口県 1 岩国市横山＊=0.6				
48	10 14 25	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=1.0 伊仙町伊仙＊=0.8	27° 17.4' N	128° 25.9' E	48km	M: 3.6
49	10 14 31	能登半島沖 石川県 2 珠洲市正院町＊=1.6 1 珠洲市三崎町=0.5 珠洲市大谷町＊=0.5	37° 32.1' N	137° 16.6' E	11km	M: 3.1
50	10 19 10	千島列島 北海道 2 別海町常盤=2.1 標津町北2条＊=1.9 函館市新浜町＊=1.9 釧路町別保＊=1.8 標茶町塘路＊=1.7 白糠町西1条＊=1.7 別海町本別海＊=1.7 浦幌町桜町＊=1.5 1 釧路市音別町中園＊=1.4 厚岸町真栄＊=1.4 根室市落石東＊=1.4 根室市瑤瑤瑠＊=1.4 根室市厚床＊=1.3 釧路市阿寒町中央＊=1.3 浜中町茶内＊=1.2 清里町羽衣町＊=1.2 釧路市幸町=1.1 根室市牧の内＊=1.0 十勝大樹町生花＊=1.0 函館市泊町＊=1.0 羅臼町岬町＊=1.0 鶴居村鶴居東＊=0.9 標茶町川上＊=0.9 根室市弥栄=0.8 羅臼町緑町＊=0.8 厚岸町尾幌=0.7 浦河町潮見=0.7 標津町薫別＊=0.7 様似町栄町＊=0.7 浜中町湯沸=0.6 厚真町鹿沼=0.6 新ひだか町静内山手町=0.6 浦河町築地＊=0.5 新ひだか町静内御幸町＊=0.5 斜里町本町=0.5 標津町古多糠=0.5	45° 14.7' N	150° 44.9' E	130km	M: 5.9

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		青森県 2 八戸市南郷※=1.7 1 東北町上北南※=1.4 青森南部町苫米地※=1.3 階上町道仏※=1.2 東通村砂子又沢内※=1.2 七戸町森ノ上※=1.1 おいらせ町中下田※=1.1 五戸町古舘=1.1 むつ市大畑町中島※=1.0 青森南部町平※=0.9 八戸市内丸※=0.9 おいらせ町上明堂※=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.8 むつ市金曲=0.7 五戸町倉石中市※=0.7 八戸市湊町=0.7 六戸町大落瀬※=0.7 七戸町七戸※=0.6 外ヶ浜町蟹田※=0.6 六ヶ所村尾駁=0.6 三沢市桜町※=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川※=1.1 二戸市浄法寺町※=1.0 宮古市田老※=0.6 八幡平市田頭※=0.6 盛岡市山王町=0.5 宮城県 1 登米市迫町※=0.9 宮城美里町木間塚※=0.5				
51	10 19 27	千葉県東方沖 茨城県 千葉県 1 神栖市波崎※=0.9 1 旭市ニ※=0.8 銚子市小畑新町=0.6	35° 46.6' N	140° 50.5' E	12km	M: 3.1
52	11 02 44	京都府南部 京都府 2 京丹波町本庄※=1.7 1 京丹波町橋爪※=1.1 南丹市園部町小桜町※=1.1 京丹波町蒲生※=1.0 亀岡市安町=0.9 京都右京区京北周山町※=0.8 福知山市三和町千束※=0.7 綾部市若竹町※=0.6 南丹市八木町八木※=0.6 南丹市日吉町保野田※=0.5 福井県 1 高浜町宮崎=1.1 兵庫県 1 丹波市春日町※=1.1 三田市下里※=1.0 丹波篠山市杉※=1.0 丹波篠山市宮田※=0.9 丹波篠山市北新町=0.9	35° 14.9' N	135° 19.1' E	11km	M: 3.5
53	11 05 50	鹿児島湾 鹿児島県 4 大崎町仮宿※=4.1 曽於市大隅町中之内※=3.8 3 鹿屋市新栄町=3.2 鹿屋市札元※=3.2 鹿屋市串良町岡崎※=3.0 錦江町田代支所※=3.0 肝付町新富※=3.0 鹿児島市喜入町※=2.9 鹿屋市吾平町麓※=2.8 曽於市末吉町二之方※=2.8 錦江町田代麓=2.8 東串良町川西※=2.6 鹿児島市東郡元=2.6 肝付町北方※=2.6 垂水市田神※=2.6 鹿屋市輝北町上百引※=2.5 霧島市福山町牧之原※=2.5 志布志市有明町野井倉※=2.5 2 鹿児島市祇園之洲町※=2.4 始良市加治木町本町※=2.4 志布志市志布志町志布志=2.4 霧島市国分中央※=2.3 曽於市財部町南俣※=2.3 志布志市松山町新橋※=2.3 南大隅町佐多伊座敷※=2.2 鹿児島市桜島赤水新島※=2.2 いちき串木野市湊町※=2.2 鹿児島市下福元=2.2 始良市宮島町※=2.1 南大隅町根占※=2.1 指宿市十町※=2.1 薩摩川内市神田町※=2.1 霧島市霧島田口※=2.0 鹿児島市上谷口※=2.0 枕崎市高見町=2.0 錦江町城元※=2.0 南さつま市大浦町※=2.0 南九州市川辺町平山※=1.9 始良市蒲生町上久徳※=1.9 鹿児島空港=1.9 指宿市山川新生町=1.8 いちき串木野市緑町※=1.8 中種子町野間※=1.8 南九州市知覧町郡※=1.7 伊佐市菱刈前目※=1.7 日置市伊集院町郡※=1.7 鹿児島市本城※=1.7 三島村竹島※=1.7 南九州市穎娃町牧之内※=1.7 薩摩川内市入来町※=1.6 さつま町神子※=1.6 伊佐市大口鳥巢※=1.5 湧水町吉松※=1.5 日置市東市来町長里※=1.5 日置市吹上町中原※=1.5 霧島市隼人町内山田=1.5 指宿市開開十町※=1.5 西之表市役所※=1.5 薩摩川内市中郷=1.5 1 薩摩川内市祁答院町※=1.4 薩摩川内市東郷町※=1.4 薩摩川内市上甕町※=1.4 鹿児島市郡山※=1.3 薩摩川内市樋脇町※=1.3 湧水町栗野※=1.3 南さつま市加世田川畑※=1.3 霧島市横川町中ノ※=1.3 薩摩川内市下甕町青瀬=1.3 西之表市住吉=1.3 西之表市西之表=1.3 さつま町宮之城保健センタ※=1.2 南さつま市笠沙町片浦※=1.2 霧島市溝辺町有川※=1.2 霧島市牧園町宿窪田※=1.2 薩摩川内市里町※=1.2 さつま町宮之城屋地=1.2 南種子町西之※=1.2 枕崎市若葉町※=1.1 南種子町中之上※=1.1 南さつま市坊津町久志※=1.0 屋久島町尾之間※=1.0 屋久島町宮之浦※=1.0 阿久根市鶴見町※=0.8 薩摩川内市鹿島町※=0.7 南種子町中之下=0.7 屋久島町平内=0.5 3 都城市菖蒲原=3.4 都城市姫城町※=3.4 都城市高崎町大牟田※=3.2 三股町五本松※=3.0 宮崎市高岡町内山※=2.7 都城市山之口町花木 (旧2) =2.7 小林市野尻町東麓※=2.6 高原町西麓※=2.6 2 小林市真方=2.3 日南市吾田東※=2.3 宮崎市松橋※=2.2 都城市高城町穂満坊※=2.1 宮崎美郷町田代※=2.1 日南市南郷町南町 (旧2) ※=2.1 高千穂町三田井=2.0 西都市上の宮※=2.0 串間市都井※=2.0 高鍋町上江※=2.0 国富町本庄※=1.9 綾町南俣健康センター※=1.9 綾町役場※=1.9 日南市油津=1.9 宮崎市霧島=1.9 小林市中原※=1.9 宮崎市田野町体育館※=1.9 西都市聖陵町※=1.8 新富町上富田=1.7 川南町川南※=1.7 延岡市北方町卯※=1.7 延岡市北川町川内名白石※=1.6 門川町平城東※=1.6 椎葉村総合運動公園※=1.5 宮崎市田野支所※=1.5 宮崎市佐土原町下田島※=1.5 宮崎都農町役場※=1.5 串間市奈留=1.5 1 椎葉村下福良※=1.4 宮崎市清武町船引※=1.4 都城市高崎町江平=1.3 えびの市加久藤※=1.3 日向市大王谷運動公園=1.1 延岡市天神小路=1.1 日向市東郷町山陰※=1.0 延岡市北浦町古江※=1.0 延岡市東本小路※=1.0 高千穂町寺迫※=0.9 木城町高城※=0.9 日之影町七折※=0.8 延岡市北川町総合支所※=0.8 西米良村板谷※=0.7 西米良村村所※=0.7 宮崎美郷町神門※=0.7 諸塚村家代※=0.6 宮崎美郷町宇納間※=0.5 熊本県 2 宇城市豊野町※=2.1 熊本美里町馬場※=1.9 宇城市小川町※=1.8 あさぎり町岡原※=1.8 熊本美里町永富※=1.7 あさぎり町須恵※=1.7 多良木町多良木=1.7 錦町一武※=1.7 あさぎり町免田東※=1.7 芦北町芦北=1.6 あさぎり町上※=1.6 多良木町上球磨消防署※=1.5 津奈木町小津奈木※=1.5 1 産山村山鹿※=1.4 宇城市松橋町=1.4 あさぎり町深田※=1.3 湯前町役場※=1.2 八代市平山新町=1.2 八代市新地町※=1.2 人吉市西間下町=1.1 熊本高森町高森※=1.0 人吉市蟹作町※=0.9 西原村小森※=0.8 水上村岩野※=0.8 山都町浜町※=0.6 熊本西区春日=0.6 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦=2.1 佐伯市春日町※=1.5 1 佐伯市上浦※=1.4 佐伯市米水津※=1.4 臼杵市臼杵※=1.2 津久見市宮本町※=1.1 大分市新春日町※=1.1 竹田市直入町※=1.1 佐伯市鶴見※=1.0 佐伯市弥生※=1.0 大分市佐賀関※=0.9 豊後大野市緒方町※=0.9 豊後大野市清川町※=0.8 国東市田深※=0.7 豊後大野市三重町=0.7 佐伯市宇目※=0.7 津久見市立花町※=0.6 佐伯市直川※=0.6 竹田市竹田小学校※=0.6 国東市鶴川=0.6 徳島県 1 徳島市大和町=0.5	31° 19.7' N	130° 48.2' E	104km	M: 5.0

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		香川県 愛媛県 高知県 山口県 佐賀県 長崎県	1 東かがわ市西村=1.0 土庄町湍崎=0.6 1 愛南町船越*=1.1 宇和島市三間町*=0.9 宇和島市吉田町*=0.9 愛南町一本松*=0.9 愛南町柏*=0.7 宇和島市住吉町=0.7 愛南町城辺*=0.6 松野町松丸*=0.5 1 宿毛市桜町*=1.2 高知市丸ノ内*=1.2 宿毛市片島=1.0 高知市本町=0.9 1 防府市西浦*=0.5 山口市阿知須*=0.5 1 神埼市千代田*=0.7 白石町有明*=0.6 1 南島原市口之津町*=0.8			
54	11 12 24	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.8' N	135° 14.6' E	4km	M: 1.4 1 湯浅町青木*=0.5
55	11 19 49	宮古島北西沖 沖縄県	25° 49.9' N	125° 33.1' E	14km	M: 4.8 1 宮古島市城辺福北=0.5
56	11 22 02	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.0' N	130° 00.4' E	13km	M: 4.3 4 鹿児島十島村中之島徳之尾=3.5 3 鹿児島十島村口之島出張所*=2.7 2 鹿児島十島村中之島出張所*=2.0 1 鹿児島十島村悪石島*=1.0 屋久島町口永良部島公民館*=1.0 屋久島町宮之浦*=0.6 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=0.6 屋久島町平内=0.5
57	11 22 07	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.0' N	129° 59.9' E	13km	M: 2.9 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3
58	11 22 26	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.3' N	130° 00.3' E	11km	M: 2.3 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.0
59	11 22 30	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.5' N	130° 00.7' E	9km	M: 2.9 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3 鹿児島十島村口之島出張所*=0.7
60	11 22 57	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 55.6' N	130° 00.7' E	13km	M: 2.8 2 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.8 1 鹿児島十島村口之島出張所*=0.5
61	12 01 34	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.0' N	129° 59.8' E	14km	M: 3.0 2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.0 鹿児島十島村口之島出張所*=1.7
62	12 02 24	東海道南方沖 東京都 静岡県	33° 38.7' N	138° 31.8' E	33km	M: 4.5 1 神津島村金長=0.6 神津島村役場*=0.6 東京利島村東山=0.6 1 東伊豆町奈良本*=1.2 南伊豆町入間*=0.8 南伊豆町下賀茂*=0.8 河津町田中*=0.6 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6
63	12 04 39	青森県東方沖 青森県 岩手県	40° 42.9' N	141° 53.1' E	66km	M: 3.6 1 八戸市湊町=0.8 東通村白糠*=0.6 東通村砂子又沢内*=0.6 八戸市内丸*=0.6 三戸町在府小路町*=0.6 五戸町倉石中市*=0.5 1 軽米町軽米*=0.9 久慈市枝成沢=0.7
64	12 07 12	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.8' N	130° 00.8' E	8km	M: 2.3 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8
65	12 19 31	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 55.9' N	130° 00.6' E	12km	M: 2.9 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3 鹿児島十島村口之島出張所*=1.0
66	12 20 31	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.3' N	130° 00.4' E	11km	M: 3.2 3 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.5 2 鹿児島十島村口之島出張所*=1.7 1 鹿児島十島村中之島出張所*=0.6
67	12 21 23	岐阜県飛騨地方 岐阜県	35° 59.1' N	137° 32.0' E	7km	M: 2.2 1 高山市高根町*=0.7
68	13 11 37	愛媛県東予 香川県	34° 00.6' N	133° 38.5' E	7km	M: 2.5 1 観音寺市瀬戸町*=0.6 観音寺市豊浜町*=0.6
69	13 12 04	愛媛県東予 香川県 愛媛県	34° 00.6' N	133° 38.4' E	6km	M: 2.6 1 観音寺市瀬戸町*=0.7 観音寺市豊浜町*=0.6 1 四国中央市新宮町*=1.2 四国中央市金生町*=1.0
70	13 16 44	熊本県熊本地方 熊本県	32° 52.4' N	130° 52.5' E	11km	M: 3.0 2 大津町大津*=1.8 1 大津町引水*=1.4 菊池市旭志*=1.3 菊陽町久保田*=1.0 西原村小森*=0.9 合志市竹迫*=0.9 熊本東区佐土原*=0.9 益城町惣領*=0.8 熊本西区春日=0.7 菊池市泗水町*=0.5 山鹿市老人福祉センター*=0.5 菊池市隈府*=0.5

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
71	14 11 59	群馬県南部 群馬県	36° 34.5' N	139° 22.9' E	4km	M: 2.9
		1 桐生市黒保根町*=1.2 みどり市東町*=0.6				
72	14 14 44	長野県北部 長野県	36° 30.5' N	137° 46.1' E	1km	M: 1.6
		1 大町市役所=0.8				
73	14 16 25	福島県沖 福島県	37° 13.0' N	141° 26.0' E	76km	M: 3.9
		2 浪江町幾世橋=2.1 葛尾村落合落合*=2.0 檜葉町北田*=1.8 田村市常葉町*=1.6 双葉町長塚*=1.5 田村市船引町=1.5 川内村下川内=1.5 1 田村市都路町*=1.4 川内村上川内早渡*=1.4 飯館村伊丹沢*=1.4 南相馬市鹿島区栢窪=1.4 南相馬市原町区高見町*=1.4 大熊町大川原*=1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 福島広野町下北迫大谷地原*=1.2 川俣町五百田*=1.2 白河市新白河*=1.1 玉川村小高*=1.1 新地町谷地小屋*=1.1 二本松市油井*=1.1 相馬市中村*=1.1 二本松市針道*=1.1 富岡町本岡*=1.1 福島伊達市梁川町*=1.0 福島伊達市霊山町*=1.0 小野町中通*=1.0 小野町小野新町*=1.0 田村市大越町*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=1.0 いわき市三和町=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 二本松市金色*=0.9 石川町長久保*=0.8 浅川町浅川*=0.7 大玉村玉井*=0.7 川内村上川内小山平*=0.7 大玉村南小屋=0.6 矢祭町戸塚*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 大熊町野上*=0.5 郡山市開成*=0.5 いわき市小名浜=0.5 鏡石町不時沼*=0.5 宮城県 1 山元町浅生原*=1.4 角田市角田*=1.2 岩沼市桜*=1.0 宮城川崎町前川*=0.8 亘理町悠里*=0.8 名取市増田*=0.7 仙台空港=0.6 石巻市桃生町*=0.6 柴田町船岡=0.6 丸森町上滝=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.7 北茨城市磯原町*=0.7 大子町池田*=0.7				
74	14 20 42	根室半島南東沖 北海道	43° 09.8' N	145° 34.9' E	51km	M: 4.0
		2 根室市厚床*=2.0 根室市牧の内*=1.7 根室市落石東*=1.5 1 浜中町茶内*=1.4 別海町本別海*=1.2 根室市瑤瑤瑠*=1.2 標津町北2条*=1.0 標茶町塘路*=0.9 別海町常盤=0.7 根室市弥栄=0.5				
75	15 01 37	茨城県北部 茨城県	36° 29.0' N	140° 31.0' E	58km	M: 3.1
		1 笠間市石井*=1.0 ひたちなか市東石川*=0.9 城里町石塚*=0.9 水戸市千波町*=0.8 常陸大宮市野口*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 日立市助川小学校*=0.6 水戸市金町=0.5 桜川市真壁*=0.5				
76	15 02 14	宮城県沖 岩手県	38° 52.1' N	141° 38.6' E	61km	M: 2.7
		1 一関市千厩町*=0.5				
77	15 05 59	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 15.6' N	130° 35.5' E	6km	M: 2.4
		2 指宿市十町*=1.5 1 指宿市開聞十町*=0.7				
78	15 07 58	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 15.7' N	130° 35.4' E	7km	M: 2.5
		2 指宿市十町*=1.8 1 指宿市開聞十町*=0.9 南九州市頰娃町牧之内*=0.7 鹿児島市喜入町*=0.5				
79	15 15 29	根室半島南東沖 北海道	43° 01.5' N	145° 44.6' E	46km	M: 3.4
		1 根室市瑤瑤瑠*=0.8				
80	15 15 54	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.6' N	129° 59.8' E	11km	M: 2.2
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5				
81	15 16 27	宮城県北部 宮城県	38° 46.7' N	140° 41.1' E	5km	M: 2.5
		2 大崎市鳴子*=1.7				
82	16 03 15	新島・神津島近海 東京都	34° 25.0' N	139° 13.2' E	10km	M: 2.5
		1 新島村大原=0.9 東京利島村東山=0.7 新島村本村*=0.7				
83	16 03 21	新島・神津島近海 東京都	34° 25.0' N	139° 12.9' E	11km	M: 3.2
		2 新島村本村*=2.1 新島村大原=2.0 東京利島村東山=1.6				
84	16 03 22	新島・神津島近海 東京都	34° 24.4' N	139° 12.5' E	10km	M: 3.0
		1 新島村大原=0.6				
85	16 03 25	新島・神津島近海 東京都	34° 25.1' N	139° 12.9' E	10km	M: 2.5
		1 新島村大原=1.1 新島村本村*=0.9 東京利島村東山=0.8				
86	16 04 31	新島・神津島近海 東京都	34° 25.0' N	139° 13.4' E	10km	M: 2.6
		2 新島村大原=1.6 新島村本村*=1.5 1 東京利島村東山=1.0				
87	16 05 43	紀伊水道 和歌山県	33° 49.6' N	134° 58.7' E	13km	M: 3.3
		1 日高川町土生*=1.4 御坊市湯川*=1.2 御坊市藺=1.0 由良町里*=0.6				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
88	16 11 38	新島・神津島近海 東京都	34° 25.1' N	139° 13.0' E	9km	M: 3.0 1 新島村大原=1.4 新島村本村*=1.2 東京利島村東山=1.1
89	16 12 28	福島県沖 福島県	36° 55.9' N	141° 11.0' E	52km	M: 4.0 2 泉崎村泉崎*=2.1 白河市新白河*=1.6 矢祭町東館*=1.6 いわき市錦町*=1.6 川内村下川内=1.6 浅川町浅川*=1.5 1 白河市郭内=1.4 白河市東*=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 天栄村下松本*=1.3 小野町小野新町*=1.3 田村市都路町*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 西郷村熊倉*=1.2 田村市船引町=1.1 白河市大信*=1.1 鏡石町不時沼*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 玉川村小高*=1.0 小野町中通*=1.0 田村市常葉町*=0.9 矢祭町戸塚*=0.9 いわき市三和町=0.9 檜葉町北田*=0.9 石川町長久保*=0.9 大熊町大川原*=0.9 郡山市開成*=0.9 いわき市小名浜=0.8 郡山市湖南町*=0.8 いわき市平四ツ波*=0.8 葛尾村落合落合*=0.7 郡山市朝日=0.7 須賀川市八幡山*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 川俣町五百田*=0.6 田村市大越町*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 二本松市油井*=0.6 茨城県
		茨城県				1 北茨城市磯原町*=1.3 日立市十王町友部*=1.2 大子町池田*=1.2 常陸大宮市野口*=1.2 高萩市安良川*=1.1 笠間市石井*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 水戸市栗崎町*=0.9 水戸市内原町*=0.8 笠間市笠間*=0.8 東海村東海*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.8 土浦市常名=0.8 水戸市千波町*=0.8 高萩市本町*=0.7 北茨城市中郷町*=0.7 城里町石塚*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 鉾田市汲上*=0.7 水戸市金町=0.6 笠間市中央*=0.6 常陸太田市中大町*=0.6 行方市麻生*=0.6 桜川市真壁*=0.6 筑西市門井*=0.5 日立市役所*=0.5 栃木県
		栃木県				1 那須町寺子*=1.0 栃木那珂川町小川*=0.5
90	16 13 47	宮城県沖 岩手県	38° 58.2' N	142° 05.1' E	52km	M: 3.8 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市室根町*=1.2 一関市千厩町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 釜石市只越町=0.7 大槌町小鎚*=0.7 釜石市中妻町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 北上市相去町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5 宮城県
		宮城県				1 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.9 登米市東和町*=0.7
91	17 19 49	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.3' N	130° 00.6' E	11km	M: 2.3 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1
92	18 01 34	宮城県沖 岩手県	38° 53.4' N	141° 58.2' E	49km	M: 3.7 1 大船渡市大船渡町=1.0 一関市千厩町*=0.9 一関市室根町*=0.8 大船渡市猪川町=0.7 釜石市中妻町*=0.5 住田町世田米*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5 宮城県
		宮城県				1 気仙沼市笹が陣*=1.3 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市唐桑町*=0.8 登米市東和町*=0.7 石巻市北上町*=0.6
93	18 02 25	茨城県北部 茨城県	36° 19.3' N	140° 35.0' E	59km	M: 3.4 1 ひたちなか市南神敷台*=1.2 日立市助川小学校*=0.9 大子町池田*=0.9 鉾田市汲上*=0.8 大洗町磯浜町*=0.7 笠間市石井*=0.7 水戸市千波町*=0.7 土浦市常名=0.6 常陸大宮市北町*=0.6
94	18 07 55	宮城県沖 宮城県	38° 33.0' N	142° 04.9' E	52km	M: 3.9 2 大崎市田尻*=1.8 石巻市桃生町*=1.7 石巻市雄勝町*=1.5 1 登米市南方町*=1.4 石巻市大街道南*=1.4 大崎市古川大崎=1.2 石巻市泉町=1.2 登米市豊里町*=1.2 登米市米山町（旧）*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.1 涌谷町新町裏=1.1 登米市東和町*=1.1 大崎市古川三日町=1.0 大崎市古川旭*=1.0 石巻市北上町*=1.0 大郷町粕川*=1.0 気仙沼市笹が陣*=0.9 岩沼市桜*=0.9 宮城美里町北浦*=0.9 松島町高城=0.9 登米市中田町=0.9 石巻市前谷地*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 石巻市鮎川浜*=0.7 栗原市栗駒=0.7 登米市迫町*=0.7 宮城加美町中新田*=0.7 東松島市小野*=0.7 東松島市矢本*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 南三陸町歌津*=0.6 栗原市築館*=0.6 登米市津山町*=0.6 女川町女川*=0.6 気仙沼市本吉町津谷*=0.5 岩手県
		岩手県				1 釜石市只越町=1.3 住田町世田米*=1.3 一関市千厩町*=1.1 大船渡市猪川町=1.0 釜石市中妻町*=1.0 一関市室根町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 北上市相去町*=0.9 一関市大東町=0.9 陸前高田市高田町*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 一関市東山町*=0.6 大槌町小鎚*=0.5
95	18 14 46	渡島地方北部 北海道	42° 03.7' N	140° 25.6' E	9km	M: 2.8 1 厚沢部町木間内*=0.9 渡島森町上台町*=0.7 八雲町上の湯=0.7
96	18 17 27	熊本県熊本地方 熊本県	32° 32.1' N	130° 40.8' E	9km	M: 3.1 2 八代市泉支所*=1.6 1 八代市平山新町=1.0 八代市泉町=0.8 八代市新地町*=0.7 八代市千丁町*=0.7 八代市東陽町*=0.7 甲佐町豊内*=0.6 八代市鏡町*=0.5 熊本美里町永富*=0.5 宇城市不知火町*=0.5 宇城市小川町*=0.5 氷川町島地*=0.5
97	18 22 48	愛媛県東予 愛媛県	34° 00.5' N	133° 38.5' E	7km	M: 3.0 2 四国中央市新宮町*=1.7 1 四国中央市金生町*=1.2 香川県
		香川県				1 観音寺市瀬戸町*=1.4 観音寺市豊浜町*=1.4 観音寺市坂本町=0.7
98	18 22 49	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 56.0' N	130° 00.5' E	12km	M: 3.8 3 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.9 2 鹿児島十島村口之島出張所*=2.4

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 鹿児島十島村中之島出張所*=1.3 鹿児島十島村恵石島*=0.7				
99	19 02 41	北海道東方沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑁*=1.1 羅臼町岬町*=0.8 別海町常盤=0.7	43° 29.2' N	147° 16.5' E	73km	M: 4.8
100	19 08 00	茨城県南部 茨城県 1 笠間市笠間*=0.5 栃木県 1 佐野市葛生東*=1.0 下野市笹原*=0.7 佐野市高砂町*=0.7 群馬県 1 桐生市元宿町*=1.0 埼玉県 1 加須市大利根*=0.5	36° 08.0' N	139° 50.1' E	50km	M: 3.0
101	19 08 28	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 56.3' N	130° 00.5' E	13km	M: 2.9
102	19 09 54	徳島県南部 徳島県 2 那賀町上那賀*=2.0 牟岐町中村*=1.5 1 石井町高川原*=1.2 那賀町和食*=1.2 美波町西の地*=1.2 那賀町延野*=1.1 那賀町木沢*=1.1 海陽町穴喰浦*=1.1 阿南市山口町*=1.0 美馬市木屋平*=1.0 那賀町木頭和無田*=0.9 海陽町大里*=0.9 徳島市津田町*=0.9 徳島市大和町=0.6 佐那河内村下*=0.6 阿南市富岡町=0.6 海陽町奥浦*=0.5 美馬市穴吹町*=0.5 高知県 2 東洋町生見*=1.8 1 馬路村馬路*=0.9 香美市物部町大栃*=0.6	33° 53.1' N	134° 16.0' E	33km	M: 3.4
103	19 19 13	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.2	37° 30.8' N	137° 18.2' E	13km	M: 2.6
104	19 20 57	伊豆半島東方沖 神奈川県 1 湯河原町中央=1.0 静岡県 1 熱海市泉*=1.4 熱海市中央町*=1.1 熱海市網代=0.9 三島市東本町=0.5	35° 04.2' N	139° 08.8' E	7km	M: 2.9
105	19 21 41	伊豆半島東方沖 神奈川県 1 湯河原町中央=0.6 静岡県 1 熱海市泉*=1.3	35° 04.3' N	139° 09.3' E	8km	M: 2.4
106	20 00 02	新潟県上越地方 新潟県 1 妙高市田口*=0.6	36° 55.7' N	138° 15.7' E	3km	M: 2.2
107	20 03 41	滋賀県北部 岐阜県 1 揖斐川町東杉原*=0.6 揖斐川町東津汲*=0.5	35° 30.6' N	136° 22.0' E	11km	M: 2.6
108	20 05 24	沖縄本島近海 沖縄県 1 南城市佐敷字佐敷*=1.1 南城市知念久手堅*=0.9 うるま市みどり町*=0.7	25° 58.1' N	128° 27.4' E	39km	M: 4.7
109	20 05 39	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市笠利町里*=0.9	28° 48.7' N	129° 55.7' E	31km	M: 3.9
110	20 06 01	青森県東方沖 青森県 4 七戸町森ノ上*=4.0 野辺地町田狭沢*=3.8 東北町上北南*=3.8 八戸市湊町=3.7 青森南部町苔米地*=3.6 八戸市内丸*=3.5 3 八戸市南郷*=3.4 東北町塔ノ沢山*=3.4 五戸町倉石中市*=3.4 東通村砂子又沢内*=3.4 三沢市桜町*=3.3 むつ市金谷*=3.3 五戸町古館=3.3 平内町小湊=3.2 むつ市金曲=3.2 七戸町七戸*=3.1 青森南部町平*=3.1 おいらせ町中下田*=3.1 六戸町大落瀬*=3.1 横浜町寺下*=3.1 むつ市大畑町中島*=3.1 階上町道仏*=3.0 横浜町林ノ脇*=3.0 青森南部町沖田面*=2.9 むつ市川内町*=2.9 おいらせ町上明堂*=2.9 東通村砂子又蒲谷地=2.8 六ヶ所村尾駸=2.8 青森市花園=2.8 十和田市西十二番町*=2.8 三戸町在府小路町*=2.7 青森市中央*=2.6 東通村尻屋*=2.6 十和田市西二番町*=2.6 六ヶ所村出戸=2.6 平内町東田沢*=2.6 外ヶ浜町蟹田*=2.6 十和田市奥瀬*=2.5 東通村白糠*=2.5 2 五所川原市栄町=2.4 蓬田村蓬田*=2.2 むつ市脇野沢*=2.2 佐井村長後*=2.2 つがる市市柏*=2.1 五所川原市相内*=2.0 つがる市車力町*=2.0 つがる市木造*=2.0 藤崎町水木*=2.0 むつ市大畑町奥薬研=2.0 青森市浪岡*=2.0 五所川原市金木町*=1.9 鶴田町鶴田*=1.9 中泊町中里*=1.9 藤崎町西豊田*=1.9 田舎館村田舎館*=1.9 八戸市島守=1.9 七戸町北天間館=1.9 田子町田子*=1.9 新郷村戸来*=1.9 五所川原市敷島町*=1.9 つがる市稲垣町*=1.8 今別町今別*=1.8 板柳町板柳*=1.7 つがる市森田町*=1.7 黒石市市ノ町*=1.7 大間町大間*=1.5 弘前市城東中央*=1.5 平川市猿賀*=1.5 1 弘前市弥生=1.4 風間浦村易国間*=1.4 外ヶ浜町平館*=1.3 鯉ヶ沢町舞戸町鳴戸=1.3 外ヶ浜町三厩*=1.2 弘前市賀田*=1.2 深浦町深浦岡町=1.2 西目屋村田代*=1.2 平川市柏木町*=1.2 鯉ヶ沢町舞戸町小夜*=1.1 五所川原市太田=1.0 中泊町小泊*=1.0 大鰐町大鰐*=0.9 佐井村佐井*=0.8 弘前市五所*=0.8 弘前市和田町=0.7 深浦町深浦中沢*=0.6 平川市碓ヶ関*=0.5 深浦町長慶平=0.5 深浦町岩崎*=0.5 北海道 3 函館市泊町*=3.1 様似町栄町*=3.1 函館市新浜町*=2.9 浦幌町桜町*=2.9 新冠町北星町*=2.7 むかわ町松風*=2.7 えりも町えりも岬*=2.7 浦河町潮見=2.5 2 十勝大樹町東本通*=2.4 厚真町鹿沼=2.3 釧路市音別町中園*=2.3 新ひだか町静内山手町=2.3 浦河町築地*=2.3 千歳市若草*=2.2 安平町早来北進*=2.2 函館市日ノ浜町*=2.2	41° 10.0' N	142° 17.5' E	52km	M: 5.9

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		幕別町忠類錦町※=2.1 新ひだか町静内御幸町※=2.0 新ひだか町三石旭町※=2.0 浦河町野深=2.0 苫小牧市旭町※=2.0 帯広市東4条=2.0 札幌東区元町※=2.0 厚真町京町※=2.0 広尾町並木通=2.0 新千歳空港=2.0 釧路町別保※=2.0 白糠町西1条※=2.0 室蘭市寿町※=2.0 江別市緑町※=1.9 函館市大森町※=1.9 千歳市北栄=1.9 木古内町木古内※=1.9 むかわ町穂別※=1.9 芽室町東2条※=1.9 新篠津村第4 7線※=1.9 更別村更別※=1.8 北広島市共栄※=1.8 南幌町栄町※=1.8 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=1.8 長沼町中央※=1.8 渡島北斗市中央※=1.8 安平町追分柏が丘※=1.8 標津町北2条※=1.8 苫小牧市末広町=1.8 帯広市東6条※=1.8 音更町元町※=1.8 十勝清水町南4条=1.8 日高地方日高町門別※=1.8 平取町振内※=1.8 十勝池田町西1条※=1.8 広尾町白樺通=1.7 釧路市阿寒町中央※=1.7 恵庭市京町※=1.7 函館市川汲町※=1.7 千歳市支笏湖温泉※=1.7 七飯町本町※=1.7 中札内村東2条※=1.7 別幌町常盤=1.7 函館市美原=1.7 福島町福島※=1.7 知内町重内※=1.7 胆振伊達市大滝区本町※=1.6 白老町大町=1.6 壮瞥町滝之町※=1.6 札幌清田区平岡※=1.6 幕別町本町※=1.6 鹿追町東町※=1.6 新得町2条※=1.6 厚沢部町新町※=1.6 新ひだか町静内御園=1.6 標茶町塘路※=1.5 栗山町松風※=1.5 北見市南仲町※=1.5 胆振伊達市梅本=1.5 豊頃町茂岩本町※=1.5 上士幌町上士幌※=1.5 七飯町桜町=1.5 札幌北区篠路※=1.5 渡島森町砂原※=1.5 岩見沢市北村赤川※=1.5 札幌北区太平※=1.5 士幌町士幌※=1.5 登別市桜木町※=1.5 札幌厚別区もみじ台※=1.5 1 札幌北区新琴似※=1.4 札幌白石区北郷※=1.4 札幌手稲区前田※=1.4 恵庭市漁平=1.4 鹿部町宮浜※=1.4 上ノ国町大留※=1.4 夕張市若菜=1.4 岩見沢市鳩が丘※=1.4 岩見沢市栗沢町東本町※=1.4 三笠市幸町※=1.4 中富良野町本町※=1.4 洞爺湖町洞爺町※=1.4 えりも町本町=1.4 えりも町目黒※=1.4 上士幌町清水谷※=1.4 本別町向陽町※=1.4 厚岸町真栄※=1.4 浜中町茶内※=1.3 乙部町緑町※=1.3 留寿都村留寿都※=1.3 登別市鉾山=1.3 渡島森町上台町※=1.3 本別町北2丁目=1.2 江別市高砂町=1.2 釧路市音別町尺別=1.2 美唄市西5条=1.2 ニセコ町中央通※=1.2 別海町本別海※=1.2 当別町白樺※=1.2 洞爺湖町栄町※=1.2 倶知安町南1条=1.2 倶知安町北4条※=1.2 日高地方日高町日高※=1.2 長万部町平里※=1.2 岩見沢市5条=1.2 厚沢部町木間内※=1.2 渡島北斗市本町※=1.1 真狩村真狩※=1.1 石狩市花川=1.1 渡島森町御幸町=1.1 函館市尾札部町=1.1 根室市厚床※=1.1 根室市瑠瑠瑠※=1.0 月形町円山公園※=1.0 札幌南区石山※=1.0 弟子屈町弟子屈※=1.0 釧路市幸町=1.0 平取町本町※=1.0 新ひだか町静内農屋※=1.0 南富良野町役場※=1.0 鶴居村鶴居東※=1.0 知内町小谷石=1.0 由仁町新光※=1.0 札幌豊平区月寒東※=0.9 富良野市若松町=0.9 滝川市大町=0.9 滝川市新町※=0.9 標茶町川上※=0.9 占冠村中央※=0.9 美幌町東3条=0.9 湧別町栄町※=0.9 豊浦町大岸※=0.9 喜茂別町喜茂別※=0.9 赤井川村赤井川※=0.9 小樽市勝納町=0.8 樽江江差町姥神=0.8 弟子屈町美里=0.8 室蘭市山手町=0.8 芦別市旭町=0.8 石狩市聚富=0.8 足寄町上蝦湾=0.8 幕別町忠類明和=0.8 黒松内町黒松内※=0.7 札幌中央区南4条※=0.7 札幌西区琴似※=0.7 渡島松前町福山=0.7 平取町仁世宇=0.7 札幌中央区北2条=0.7 厚岸町尾幌=0.7 中標津町養老牛=0.6 北竜町竜西=0.5 北見市留辺蘂町栄町※=0.5 浜中町湯沸=0.5 根室市牧の内※=0.5 置戸町拓殖※=0.5 余市町浜中町※=0.5 3 盛岡市薮川※=2.9 軽米町軽米※=2.9 二戸市浄法寺町※=2.8 久慈市枝成沢=2.6 八幡平市田頭※=2.6 2 岩手洋野町種市=2.4 一戸町高善寺※=2.3 盛岡市渋民※=2.2 二戸市福岡=2.2 岩手町五日市※=2.2 矢巾町南矢幅※=2.2 盛岡市山王町=2.1 八幡平市野駄（旧2）※=2.1 野田村野田※=2.0 岩手洋野町大野※=2.0 二戸市石切所※=2.0 八幡平市叭田※=2.0 九戸村伊保内※=2.0 紫波町紫波中央駅前※=2.0 滝沢市鶴飼※=2.0 宮古市田老※=1.9 普代村銅屋（旧2）※=1.9 葛巻町葛巻元木=1.9 八幡平市大更=1.9 宮古市区界※=1.8 宮古市五月町※=1.7 宮古市川井※=1.7 久慈市川崎町=1.7 花巻市大迫町=1.7 遠野市青笹町※=1.7 花巻市石鳥谷町※=1.6 北上市相去町※=1.6 久慈市長内町※=1.6 奥州市胆沢※=1.6 花巻市材木町※=1.5 釜石市中妻町※=1.5 一関市千厩町※=1.5 一関市室根町※=1.5 奥州市江刺※=1.5 住田町世田米※=1.5 大槌町小鍵※=1.5 1 宮古市鍛ヶ崎=1.4 久慈市山形町※=1.4 山田町大沢※=1.4 盛岡市馬場町※=1.4 北上市柳原町=1.4 金ヶ崎町西根（旧）※=1.4 奥州市前沢※=1.4 大船渡市大船渡町=1.3 葛巻町消防分署※=1.3 平泉町平泉※=1.3 宮古市茂市※=1.3 山田町八幡町=1.3 遠野市宮守町（旧）※=1.2 一関市花泉町※=1.2 一関市藤沢町※=1.2 奥州市水沢大鐘町=1.2 奥州市水沢佐倉河※=1.2 雫石町千刈田=1.1 葛巻町役場※=1.1 奥州市衣川※=1.1 西和賀町沢内川舟※=1.0 釜石市只越町=1.0 花巻市大迫総合支所※=1.0 一関市大東町=0.9 田野畑村役場※=0.9 西和賀町沢内太田（旧）※=0.9 雫石町西根上駒木野=0.8 宮古市長沢=0.8 一関市竹山町※=0.8 岩泉町大川※=0.8 一関市東山町※=0.8 岩泉町岩泉※=0.8 大船渡市猪川町=0.7 西和賀町川尻※=0.7 田野畑村田野畑=0.7 大船渡市盛町※=0.6 陸前高田市高田町※=0.6 2 登米市迫町※=2.1 石巻市桃生町※=1.8 涌谷町新町裏=1.7 登米市米山町（旧）※=1.7 登米市南方町※=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 気仙沼市笹が陣※=1.4 登米市登米町※=1.4 石巻市前谷地※=1.4 気仙沼市唐桑町※=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市若柳※=1.3 登米市中田町=1.3 登米市豊里町※=1.3 大崎市古川旭※=1.3 栗原市志波姫※=1.2 栗原市一迫※=1.2 宮城美里町木間塚※=1.2 大崎市古川三日町=1.2 大崎市田尻※=1.2 丸森町鳥屋※=1.2 石巻市大街道南※=1.2 松島町高城=1.2 大河原町新南※=1.1 東松島市矢本※=1.1 大崎市松山※=1.0 大崎市鹿島台※=1.0 角田市角田※=1.0 岩沼市桜※=1.0 石巻市相野谷※=1.0 栗原市築館※=1.0 亘理町悠里※=0.9 宮城美里町北浦※=0.9 宮城加美町中新田※=0.9 利府町利府※=0.8 名取市増田※=0.8 栗原市高清水※=0.8 栗原市花山※=0.7 栗原市金成※=0.7 蔵王町円田※=0.7 登米市東和町※=0.7 色麻町四竈※=0.7 大崎市古川大崎=0.7 栗原市鶯沢※=0.7 石巻市北上町※=0.6 仙台宮城野区苦竹※=0.5 2 鹿角市花輪※=1.7 井川町北川尻※=1.5 1 小坂町小坂砂森※=1.3 三種町森岳※=1.2 大館市桜町※=1.2 北秋田市新田目※=1.2 大館市比内町扇田※=1.0 大館市早口※=1.0 北秋田市花園町=1.0 横手市大雄※=1.0 大仙市高梨※=1.0 能代市二ツ井町上台※=0.9 潟上市昭和大久保※=0.9 秋田市河辺和田※=0.9 由利本荘市前郷※=0.9 大仙市大曲花園町※=0.9 能代市常盤山谷=0.8 能代市上町※=0.8 藤里町藤蔭※=0.8 羽後町西馬音内※=0.8 大仙市刈和野※=0.8 仙北市西木町上桧木内※=0.8 由利本荘市西目町沼田※=0.7 大館市比内町味噌内=0.7 湯沢市沖鶴=0.7 秋田美郷町六郷東根=0.6 北秋田市米内町※=0.6 横手市雄物川町今宿=0.6 北秋田市阿仁水無※=0.5				
		岩手県				
		宮城県				
		秋田県				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山形県 1 中山町長崎*=1.2 酒田市飛鳥*=0.9 酒田市山田*=0.7				
111	20 14 01	青森県東方沖 41° 33.4' N 142° 06.6' E 52km M: 3.6 青森県 1 東通村砂子又沢内*=0.8				
112	21 00 38	トカラ列島近海 29° 56.3' N 130° 00.0' E 12km M: 2.4 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6				
113	21 06 26	福島県沖 37° 46.3' N 141° 49.6' E 44km M: 4.0 福島県 1 檜葉町北田*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8				
114	22 02 03	青森県東方沖 40° 54.5' N 142° 06.7' E 55km M: 3.5 青森県 1 八戸市湊町=0.8 八戸市内丸*=0.7				
115	22 11 03	奄美大島近海 28° 08.5' N 130° 22.2' E 23km M: 3.6 鹿児島県 2 喜界町滝川=1.7				
116	22 12 34	石川県能登地方 37° 29.3' N 137° 12.4' E 11km M: 2.6 石川県 1 珠洲市正院町*=0.5				
117	22 13 06	薩摩半島西方沖 31° 35.1' N 130° 15.9' E 5km M: 2.7 鹿児島県 2 日置市日吉町日置*=2.1 1 鹿児島市下福元=0.8 日置市吹上町中原*=0.7 鹿児島市上谷口*=0.6 鹿児島市東郡元=0.5				
118	22 23 07	伊予灘 33° 19.2' N 131° 43.7' E 86km M: 3.5 山口県 1 周防大島町東和総合支所*=1.0 周防大島町平野*=0.8 大分県 1 臼杵市臼杵*=0.7 豊後大野市犬飼町黒松*=0.6				
119	23 02 23	山形県最上地方 38° 43.8' N 140° 16.7' E 9km M: 3.7 山形県 3 新庄市堀端町*=2.6 2 新庄市東谷地田町=2.4 大蔵村清水*=2.1 舟形町舟形*=2.0 新庄市住吉町*=1.9 戸沢村古口*=1.8 1 大蔵村肘折*=1.2 鮭川村佐渡*=1.1 庄内町狩川*=0.9 真室川町新町*=0.8 大石田町緑町*=0.8 最上町向町*=0.6 庄内町清川*=0.5 宮城県 1 大崎市田尻*=0.8 大崎市鳴子*=0.6 秋田県 1 仙北市西木町上桧木内*=0.6				
120	23 05 59	岩手県沖 39° 19.7' N 142° 07.8' E 55km M: 3.2 岩手県 1 住田町世田米*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5				
121	23 13 25	十勝地方南部 42° 26.2' N 143° 06.6' E 58km M: 3.4 北海道 1 浦幌町桜町*=1.3				
122	23 13 46	茨城県沖 36° 24.5' N 141° 04.1' E 42km M: 3.6 茨城県 1 高萩市安良川*=1.3 日立市助川小学校*=1.2 水戸市栗崎町*=0.8 水戸市千波町*=0.8 水戸市内原町*=0.8 水戸市金町=0.7 高萩市本町*=0.7 東海村東海*=0.7 茨城町小堤*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.5 日立市役所*=0.5 笠間市石井*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 土浦市常名=0.5				
123	24 05 24	静岡県東部 35° 11.6' N 138° 34.1' E 14km M: 2.1 静岡県 1 富士宮市野中*=0.8				
124	24 23 53	西表島付近 24° 14.8' N 123° 46.5' E 17km M: 2.7 沖縄県 1 竹富町大原=0.8				
125	25 10 40	岩手県沖 39° 38.8' N 142° 06.5' E 48km M: 3.2 岩手県 1 釜石市只越町=0.6 大槌町小鍬*=0.5				
126	25 10 54	茨城県北部 36° 27.7' N 140° 36.1' E 55km M: 4.1 福島県 2 矢祭町東館*=1.8 1 白河市東*=1.4 玉川村小高*=1.4 浅川町浅川*=1.3 棚倉町棚倉中居野=1.2 矢祭町戸塚*=1.2 田村市都路町*=1.0 いわき市錦町*=0.9 石川町長久保*=0.9 白河市新白河*=0.9 鏡石町不時沼*=0.8 田村市船引町=0.8 小野町中通*=0.7 茨城県 2 常陸大宮市北町*=2.4 東海村東海*=2.0 日立市助川小学校*=2.0 大子町池田*=1.8 常陸太田市金井町*=1.7 笠間市石井*=1.7 水戸市金町=1.7 土浦市常名=1.6 ひたちなか市南神敷台*=1.6 水戸市千波町*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 1 水戸市内原町*=1.4 水戸市栗崎町*=1.4 日立市役所*=1.4 常陸太田市町屋町=1.4 笠間市笠間*=1.4 石岡市柿岡=1.4 桜川市岩瀬*=1.4 ひたちなか市東石川*=1.3 筑西市門井*=1.3 常陸太田市高柿町*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 北茨城市中郷町*=1.3 日立市十王町友部*=1.3 城里町徳蔵*=1.2 土浦市田中*=1.2 常陸大宮市中富町=1.1 鉾田市造谷*=1.1 那珂市瓜連*=1.1 石岡市若宮*=1.1 城里町阿波山*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 常陸太田市大中町*=1.1 桜川市真壁*=1.1 石岡市石岡*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 ひたちなか市山ノ上町=1.0 小美玉市堅倉*=1.0 笠間市下郷*=1.0 常陸大宮市野口*=1.0 北茨城市磯原町*=1.0				

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		笠間市中央※=0.9 那珂市福田※=0.9 高萩市安良川※=0.9 小美玉市小川※=0.9 小美玉市上玉里※=0.9 常陸太田市町田町※=0.9 桜川市羽田※=0.8 常陸大宮市高部※=0.8 取手市寺田※=0.8 高萩市本町※=0.8 茨城鹿嶋市宮中※=0.8 稲敷市江戸崎甲※=0.8 茨城町小堤※=0.8 かすみがうら市上土田※=0.8 行方市麻生※=0.8 土浦市藤沢※=0.8 大洗町磯浜町※=0.8 筑西市海老ヶ島※=0.7 筑西市二木成※=0.6 鉾田市鉾田=0.6 つくば市研究学園※=0.6 美浦村受領※=0.5 阿見町中央※=0.5 守谷市大柏※=0.5 つくば市天王台※=0.5 行方市玉造※=0.5 筑西市舟生=0.5 つくば市小茎※=0.5 栃木県 2 市貝町市塙※=1.8 1 益子町益子=1.4 栃木那珂川町馬頭※=1.4 真岡市田町※=1.3 真岡市荒町※=1.3 茂木町茂木※=1.3 栃木那珂川町小川※=1.2 大田原市湯津上※=1.1 芳賀町祖母井※=1.1 宇都宮市中里町※=0.9 真岡市石島※=0.9 那須烏山市神長=0.8 那須烏山市大金※=0.7 那須烏山市役所※=0.7 壬生町壬生甲※=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 埼玉県 1 春日部市粕壁※=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉※=0.6				
127	25 14 27	豊後水道 高知県 1 宿毛市桜町※=0.9 宿毛市片島=0.5	32° 50.7' N	132° 34.9' E	32km	M: 3.1
128	25 20 26	熊本県熊本地方 熊本県 1 益城町惣領※=1.0 大津町大津※=0.5	32° 47.9' N	130° 49.8' E	7km	M: 2.4
129	25 23 32	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校※=1.9 常陸大宮市北町※=1.8 1 笠間市石井※=1.4 東海村東海※=1.4 桜川市真壁※=1.4 ひたちなか市東石川※=1.2 日立市役所※=1.2 水戸市金町=1.1 水戸市千波町※=1.1 水戸市栗崎町※=1.1 常陸大宮市山方※=1.1 常陸大宮市野口※=1.1 石岡市柿岡=1.1 筑西市門井※=1.0 桜川市岩瀬※=1.0 ひたちなか市南神敷台※=1.0 水戸市内原町※=1.0 大子町池田※=0.9 常陸大宮市高部※=0.9 笠間市笠間※=0.9 城里町阿波山※=0.9 大洗町磯浜町※=0.8 鉾田市汲上※=0.8 筑西市海老ヶ島※=0.8 笠間市下郷※=0.7 常陸太田市高柿町※=0.7 常陸太田市町屋町=0.7 那珂市瓜連※=0.6 笠間市中央※=0.6 常陸太田市大中町※=0.6 常陸太田市町田町※=0.5 鉾田市造谷※=0.5 北茨城市中郷町※=0.5 筑西市二木成※=0.5 かすみがうら市大和田※=0.5 常陸太田市金井町※=0.5 小美玉市堅倉※=0.5 福島県 1 浅川町浅川※=1.2 矢祭町東館※=1.1 白河市新白河※=0.9 矢祭町戸塚※=0.8 田村市都路町※=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 栃木県 1 栃木那珂川町馬頭※=1.1 真岡市田町※=0.7 茂木町茂木※=0.7 市貝町市塙※=0.7 宇都宮市中里町※=0.6 栃木那珂川町小川※=0.6 日光市鬼怒川温泉大原※=0.5 芳賀町祖母井※=0.5	36° 32.5' N	140° 39.0' E	57km	M: 3.7
130	26 09 02	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.4	34° 45.6' N	139° 16.2' E	0km	M: 3.0
131	26 10 47	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町※=2.1 涌谷町新町裏=1.8 松島町高城=1.8 登米市南方町※=1.5 登米市迫町※=1.5 1 登米市米山町（旧）※=1.3 石巻市相野谷※=1.2 登米市登米町※=1.1 登米市中田町=1.1 登米市豊里町※=1.1 石巻市前谷地※=1.1 石巻市大街道南※=1.0 宮城美里町木間塚※=0.9 大崎市古川三日町=0.9 大崎市鹿島台※=0.9 東松島市矢本※=0.9 大崎市田尻※=0.9 石巻市北上町※=0.8 岩沼市桜※=0.8 大崎市松山※=0.7 利府町利府※=0.7 宮城美里町北浦※=0.7 栗原市高清水※=0.7 栗原市若柳※=0.7 東松島市小野※=0.6 石巻市泉町=0.6 大崎市古川大崎=0.6 登米市東和町※=0.5 栗原市築館※=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川※=1.2 一関市藤沢町※=0.8 大船渡市大船渡町=0.6 一関市千厩町※=0.6 釜石市中妻町※=0.6 盛岡市山王町=0.5 福島県 1 国見町藤田※=1.0 浪江町幾世橋=0.9 檜葉町北田※=0.8 福島伊達市霊山町※=0.6 大熊町大川原※=0.5	37° 51.1' N	142° 31.6' E	42km	M: 4.8
132	26 13 31	与那国島近海 沖縄県 2 与那国町久部良=1.5 与那国町役場※=1.5 1 与那国町祖納=0.9	23° 58.0' N	122° 26.2' E	23km	M: 5.2
133	26 18 39	沖縄本島北西沖 鹿児島県 2 与論町茶花※=1.7 1 天城町平土野※=1.1 伊仙町伊仙※=0.8 知名町瀬利寛=0.7 和泊町国頭=0.6 沖縄県 2 渡名喜村渡名喜※=2.3 国頭村奥=1.9 久米島町謝名堂=1.9 本部町役場※=1.8 名護市港※=1.7 国頭村辺土名※=1.7 今帰仁村仲宗根（旧）※=1.6 恩納村恩納※=1.6 久米島町比嘉※=1.6 座間味村座間味※=1.5 1 沖縄市美里※=1.4 北谷町桑江※=1.4 西原町与那城※=1.4 粟国村浜=1.3 北中城村喜舎場※=1.3 読谷村座喜味=1.3 糸満市潮崎町※=1.2 東村平良※=1.2 中城村当間※=1.2 名護市豊原=1.2 うるま市みどり町※=1.2 うるま市石川石崎※=1.2 うるま市与那城平安座※=1.2 南城市玉城字玉城（旧）=1.2 与那原町上与那原※=1.1 渡嘉敷村渡嘉敷※=1.1 宜野座村宜野座※=1.1 宜野湾市野嵩※=1.1 嘉手納町嘉手納※=1.1 南城市佐敷字佐敷※=1.1 南城市知念久手堅※=1.0 八重瀬町東風平※=1.0 南風原町兼城※=0.9 那覇空港=0.9 那覇市港町※=0.9 久米島町山城=0.9 大宜味村大宜味※=0.8 久米島町仲泊※=0.8 名護市宮里=0.7 金武町金武※=0.7 南城市大里仲間※=0.7 南城市佐敷字新里※=0.7 浦添市安波茶※=0.7 伊平屋村我喜屋=0.6	26° 58.0' N	126° 59.0' E	104km	M: 5.0
134	27 02 05	日向灘 高知県 1 宿毛市桜町※=0.6	32° 18.7' N	132° 08.9' E	23km	M: 3.8

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
135	27 03 25	宮崎県 1 門川町平城東* 川南町川南* 宮崎都農町役場* 高鍋町上江*				
		福島県沖 宮城県 1 石巻市桃生町* 1 岩沼市桜* 亶理町悠里* 山元町浅生原* 名取市増田* 角田市角田* 大河原町新南* 柴田町船岡* 宮城川崎町前川* 仙台空港* 色麻町四竈* 利府町利府* 登米市迫町* 蔵王町円田* 大衡村大衡* 大崎市田尻* 東松島市矢本* 仙台宮城野区苦竹* 登米市中田町* 石巻市大街道南* 仙台宮城野区五輪* 松島町高城* 白石市亶理町*	37° 41.1' N	141° 36.3' E	57km	M: 4.1
		福島県 2 田村市常葉町* 田村市大越町* 川内村上川内早渡* 大熊町大川原* 相馬市中村* 浪江町幾世橋* 田村市船引町* 楡葉町北田* 川内村下川内* 1 田村市都路町* 新地町谷地小屋* 南相馬市原町区高見町* 葛尾村落合落合* 小野町小野新町* 南相馬市原町区三島町* 川内村上川内小山平* 南相馬市小高区* いわき市三和町* 天栄村下松本* 福島広野町下北迫大谷地原* 泉崎村泉崎* 玉川村小高* 白河市新白河* 田村市滝根町* 福島伊達市霊山町* 双葉町長塚* 棚倉町棚倉中居野* 鏡石町不時沼* 浅川町浅川* 南相馬市鹿島区西町* 国見町藤田* 石川町長久保* 須賀川市八幡山* 大熊町野上* 川俣町五百田* 飯館村伊丹沢* 南相馬市鹿島区柝窪* 福島伊達市梁川町* 須賀川市岩瀬支所* 本宮市本宮* 小野町中通* 富岡町本岡* 二本松市油井* いわき市平四ツ波* 二本松市針道* 郡山市湖南町* 郡山市朝日* 郡山市開成*				
		茨城県 1 笠間市石井*				
136	27 10 08	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾	29° 56.3' N	130° 00.2' E	12km	M: 2.2
137	27 15 37	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋* 村上市寒川*	38° 29.8' N	139° 27.2' E	11km	M: 3.0
138	28 05 35	遠州灘 福島県 1 浪江町幾世橋	34° 25.5' N	137° 43.9' E	303km	M: 4.7
139	28 06 14	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾	29° 56.0' N	130° 00.6' E	12km	M: 2.4
140	28 15 56	国後島付近 北海道 2 別海町常盤* 根室市牧の内* 根室市落石東* 根室市瑠璃瑠* 1 標津町北2条* 別海町本別海* 根室市厚床* 標茶町塘路* 根室市豊里	43° 39.8' N	146° 11.1' E	116km	M: 4.0
141	29 02 34	沖縄本島北西沖 沖縄県 1 渡名喜村渡名喜*	26° 56.5' N	126° 50.8' E	110km	M: 4.0
142	29 07 09	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*	36° 57.6' N	139° 22.8' E	3km	M: 1.9
143	29 11 47	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地* 宮古島市平良池間* 宮古島市平良狩俣* 宮古島市伊良部前里添* 宮古島市平良下里* 宮古島市平良西里*	25° 07.3' N	125° 35.0' E	31km	M: 4.3
144	29 14 33	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町*	32° 24.0' N	130° 29.2' E	11km	M: 2.4
145	29 16 56	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*	31° 28.5' N	130° 34.8' E	6km	M: 2.5
146	29 22 48	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 21.4' N	129° 27.5' E	12km	M: 3.3
147	30 00 48	千葉県南東沖 千葉県 1 富津市下飯野* 館山市北条* 館山市長須賀* 一宮町一宮* 神奈川県 1 横浜中区山手町	35° 03.4' N	140° 14.9' E	73km	M: 3.9
148	30 01 43	山口県北部 山口県 1 萩市川上*	34° 28.0' N	131° 38.5' E	11km	M: 3.1
149	30 16 02	十勝地方北部 北海道 1 北見市留辺蘂町栄町*	43° 34.9' N	143° 45.2' E	6km	M: 3.0
150	30 16 16	宮崎県南部平野部 宮崎県 1 宮崎市松橋*	31° 55.2' N	131° 27.0' E	11km	M: 1.5
151	30 19 53	駿河湾 静岡県 1 牧之原市静波* 御前崎市御前崎* 藤枝市岡出山* 富士宮市野中*	34° 44.0' N	138° 31.1' E	26km	M: 3.3

令和 5 年11月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
152	30 20 35	奄美大島近海 鹿児島県	28° 03.6' N	129° 03.5' E	15km	M: 3.7
		2 瀬戸内町請島*=1.6 瀬戸内町与路島*=1.6 1 瀬戸内町加計呂麻島*=1.4 天城町平土野*=1.1 伊仙町伊仙*=1.1 瀬戸内町古仁屋*=0.7				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 〈令和4年（2022年）12月～令和5年（2023年）11月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和4年（2022年）											
12月	89	38	11	3						141	石川県能登地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：9回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
令和5年（2023年）											
1月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
2月	63	24	11		1					99	25日 釧路沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）
3月	70	30	8	4						112	石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）
4月	90	43	12	2						147	石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む） 父島近海の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度3：2回、震度2：2回、震度1：15回）
5月	249	111	27	11	3	2		1		404	5日 能登半島沖（震度6強、震度5強） （石川県能登地方の地震活動、5月中：震度6強：1回、震度5強：1回、震度4：5回、震度3：10回、震度2：35回、震度1：69回、能登半島沖で発生した地震67回及び富山湾で発生した地震6回を含む） 11日 千葉県南部（震度5強） 13日 トカラ列島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：5回、震度2：26回、震度1：63回） 22日 新島・神津島近海（震度5弱） （5月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：13回、震度1：42回） 26日 千葉県東方沖（震度5弱） 八丈島近海の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回）
6月	106	48	14	2	1					171	11日 苫小牧沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （6月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震12回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （6月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、震度1：22回）
7月	87	33	7	2						129	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震6回を含む）
8月	82	29	10	1						122	石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震4回、富山湾で発生した地震1回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：10回）
9月	323	111	33	4						471	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （9月中：震度4：2回、震度3：25回、震度2：82回、震度1：237回）
10月	97	32	9	1						139	石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回及び富山湾で発生した地震1回を含む）
11月	105	34	9	4						152	トカラ列島近海（口之島・中之島付近）の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）
2023年計	1363	524	149	33	5	2	0	1	0	2077	
過去1年計	1452	562	160	36	5	2	0	1	0	2218	（令和4年12月～令和5年11月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 <令和4年(2022年)12月～令和5年(2023年)11月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和4年(2022年)								
12月	350	67	9	1		427	77	13日 奄美大島近海 (M6.0)
令和5年(2023年)								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖 (M6.0)
3月	326	81	7	1		415	89	28日 青森県東方沖 (M6.2)
4月	331	60	7			398	67	
5月	598	111	24	4		737	139	1日 沖縄本島近海 (M6.4) 5日 能登半島沖 (M6.5) 26日 千葉県東方沖 (M6.2) 30日 硫黄島近海 (M6.5)
6月	335	78	12	2		427	92	11日 苫小牧沖 (M6.2) 28日 日本海北部 (M6.3)
7月	296	66	11			373	77	
8月	354	66	7	2		429	75	11日 青森県東方沖 (M6.2) 25日 三陸沖 (M6.0)
9月	496	76	12	3		587	91	18日 宮古島北西沖 (M6.5) 19日 鳥島近海 (M6.1) 29日 択捉島南東沖 (M6.2)
10月	416	161	29	5		611	195	3日 鳥島近海 (M6.4) 4日 鳥島近海 (M6.2) 5日 鳥島近海 (M6.5) 6日 鳥島近海 (M6.0) 16日 宮古島近海 (M6.0)
11月	333	62	7		1	403	70	24日 マリアナ諸島 (M7.5)
2023年計	4124	883	134	18	1	5160	1036	
過去1年計	4474	950	143	19	1	5587	1113	(令和4年12月～令和5年11月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年11月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和5年11月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0		11

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動 階級1	室内にいたほとんどの 人が揺れを感じる。驚 く人もいる。	ブラインドなど吊り下げ もの大きく揺れる。	—
	長周期地震動 階級2	室内で大きな揺れを感じ、 物につかまりたいと感じる。 物につかまらな いと歩くことが難 しいなど、行動に支障 を感じる。	キャスター付き什器がわ ずかに動く。棚にある食 器類、書棚の本が落ちる ことがある。	—
	長周期地震動 階級3	立っていることが困難 になる。	キャスター付き什器が大 きく動く。固定していな い家具が移動することが あり、不安定なものは倒 れることがある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が入るこ とがある。
	長周期地震動 階級4	立っていることができ ず、はわないと動くこ とができない。揺れに ほんろうされる。	キャスター付き什器が大 きく動き、転倒するもの がある。固定していない 家具の大半が移動し、倒 れるものもある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が多くな る。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和4年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202212/202212furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年11月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は61回であった。

平成19年10月～令和5年11月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)		17(762)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。